

令和6年度  
(2024年度)

# 事業報告書



学校法人 愛知医科大学



# ◆ 目 次

| 【内 容】                              | 【頁数】 |                                   | 【頁数】 |
|------------------------------------|------|-----------------------------------|------|
| <b>1 理事長あいさつ</b>                   | 1    | <b>4 財務状況等</b>                    | 87   |
| <b>2 法人概要</b>                      | 5    | (1) 概要の推移                         | 89   |
| (1) 沿革                             | 7    | (2) 財務状況概要                        | 91   |
| (2) 組織機構図                          | 8    | (3) 学校法人会計財務三表                    | 93   |
| (3) 役員・評議員                         | 9    | (4) 資金収支の状況                       | 94   |
| (4) 学長・副学長                         | 10   | (5) 活動区分資金収支計算書の状況                | 100  |
| (5) 設置学校等                          | 10   | (6) 事業活動収支の状況                     | 102  |
| (6) 建学の精神                          | 11   | (7) 貸借対照表の状況                      | 106  |
| (7) 職員数                            | 14   | (8) 財務状況の年次推移                     | 108  |
| (8) 大学院                            | 14   | (9) 財務比率の状況(主要比率)                 | 112  |
| (9) 医学部医学科                         | 15   | (10) 借入金の状況                       | 114  |
| (10) 看護学部看護学科                      | 16   | (11) 寄付金の受入状況                     | 114  |
| (11) 研究員数                          | 17   | (12) 補助金の受入状況                     | 114  |
| (12) 国際交流の状況                       | 17   | (13) 学納金の状況                       | 114  |
| (13) 総合学術情報センター(図書館部門)             | 18   | (14) 外部資金受入の状況                    | 115  |
| (14) 公開講座                          | 18   | (15) 財産目録                         | 116  |
| (15) 大学病院概要                        | 19   | (16) 監査報告書                        | 119  |
| (16) 大学病院業務統計                      | 20   | <b>5 当面の課題</b>                    | 121  |
| (17) 高度救命救急センター                    | 27   | ※この報告書は、令和6年5月1日現在のデータを基に作成しています。 |      |
| (18) 大学病院病床数・患者数等                  | 28   |                                   |      |
| (19) 大学病院分析指標(主要比率)                | 29   |                                   |      |
| (20) 愛知医科大学メディカルセンター概要             | 30   |                                   |      |
| (21) 愛知医科大学メディカルセンター業務統計           | 31   |                                   |      |
| (22) 愛知医科大学メディカルセンター病床数・患者数        | 34   |                                   |      |
| (23) 愛知医科大学メディカルセンター分析指標<br>(主要比率) | 35   |                                   |      |
| (24) 眼科クリニックM i R A I 概要           | 36   |                                   |      |
| (25) 眼科クリニックM i R A I 患者数等         | 38   |                                   |      |
| (26) 運動療育センター                      | 38   |                                   |      |
| (27) 施設の概要                         | 39   |                                   |      |
| <b>3 事業概要</b>                      | 43   |                                   |      |
| ・大学の理念・目的                          | 45   |                                   |      |
| ・学是「具眼考究」                          | 45   |                                   |      |
| ・はじめに                              | 46   |                                   |      |
| ・中期的な計画及び事業の進捗・達成状況                | 47   |                                   |      |
| 1. 教育・研究関連事業                       | 52   |                                   |      |
| 2. 医療活動関連事業                        | 66   |                                   |      |
| 3. 大学運営関連事業                        | 71   |                                   |      |
| 4. 学部・大学院関係                        | 79   |                                   |      |
| 5. 診療実態関係                          | 81   |                                   |      |
| 6. 附属施設関係                          | 81   |                                   |      |
| 7. 経営状況の分析、経営上の成果と課題<br>今後の方針・対応方策 | 82   |                                   |      |
| 8. 法人・会議関係                         | 83   |                                   |      |





# 1 理事長あいさつ



現代の医療と教育を取り巻く環境は、かつてない速度で変化を遂げています。人口動態の変化に伴う地域医療のあり方の見直し、科学技術の進展による新たな教育手法の導入、さらには国際社会との接続を求められる研究体制の構築など、私立医科大学に課せられる責務は、日々多様化・高度化しています。こうした中、変化を柔軟に受け止め、未来に向けた構造的転換を積極的に進めることが、今ほど求められている時代はないのではないのでしょうか。

愛知医科大学は、1972年の開学以来、「時代と地域に求められる医療人の育成」を一貫した理念として掲げてきました。開学50周年を経た現在、教育・研究・診療の各領域においてこれまで培ってきた実績を土台に、次の半世紀を見据えた変革への挑戦を加速させています。

本学が拠点を構える長久手市は、文化的・学術的資源に恵まれ、自然と都市機能が調和する住環境として、全国的にも注目を集めています。2022年に開業した「ジブリパーク」の影響もあり、県内有数の人口増加地域として活気に満ちており、本学の教育・研究活動にとっても恵まれた土壌となっています。

令和6年度は、「中期計画2028（イノベーション・ストラテジー2028）」の始動年度として、学内外の課題に対しより実効性のある戦略的取り組みが求められた一年でした。本計画では、①財政基盤の確立、②部署別中期目標の策定と評価、③働き方改革の実質化、④地域医療の革新、⑤世界を見据えた教育・研究の推進、⑥DX（デジタルトランスフォーメーション）推進による経営改革の6項目を重点課題とし、各部署が主体的にPDCAサイクルを回しながら具体的な成果の創出に努めています。

特に「地域医療への貢献」は、医科大学としての公共的使命を果たす上で重要な柱です。高齢化に伴う疾病構造の変化により、慢性疾患や高齢者救急の対応、さらには地域における継続的な医療支援の在り方が根本的に問い直されています。本学では、大学病院および岡崎市に立地するメディカルセンターを活用し、「循環型医療モデル」を提唱・推進しています。本院の専門医と地域の総合医が連携して2人主治医のような形で、普段はクリニックに受診しながら、半年から1年に1回程度、病態診断と治療方針などの評価のため本院に受診してもらうことで、慢性疾患の進行を抑制する新たな地域医療モデルとして注目を集めています。

教育分野においても、時代に即した人材育成が進んでいます。看護学研究科では、令和6年度に博士後期課程（PhDコースおよびDNPコース）を開設し、次世代の指導的看護職の育成を本格化させました。医療の複雑性が増す現代においては、チーム医療を担う高度専門職の果たす役割がますます重要となっており、実践力と理論を兼ね備えた看護指導者の養成は、社会的要請にも応える重要な取り組みと認識しています。

また、次世代医療教育の基盤として整備を進めてきた「シミュレーションセンター」の拡張も完了し、OSCE（客観的臨床能力試験）を中心とする実技教育の質のさらなる向上を実現しました。加えて、医師国家試験・看護師国家試験における高い合格率（それぞれ98%、100%）は、学生の努力と教育体制の成果の現れであり、引き続き教育の質保証と個別支援の充実に努めてまいります。

研究においては、バイオバンクやブレインバンクなどの医学生命科学の基盤構築が進み、世界的視野をもった研究体制が形成されつつあります。特に、本学附置の加齢医科学研究所における6,000例を超える脳組織標本の収集と、日本造血細胞移植データセンターに集積された12万例超の患者データは、いずれも国際的にも稀有な研究リソースとなっており、国内外の研究者から注目されています。これらのデータを活用したトランスレーショナルリサーチの展開が、次世代の医療に新たな知見をもたらすことを期待しています。

## 1 理事長あいさつ

一方、私立医科大学を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いています。令和6年度、全国の大学病院のうちおよそ3分の2が赤字決算と報じられるなか、本学も例外ではなく、医療材料費や人件費、光熱費の高騰などによるコスト圧力が継続しています。こうした中でも、「医療収入の健全な確保」と「質を伴った医療提供」の両立を図るべく、診療部門の機能強化やリハビリテーション部門の拡張、診療体制の見直しなどを推進してまいりました。加えて、部門別モニタリングやKPIに基づいた運営指標の明確化を通じて、経営の可視化と効率化を進めております。

救急・災害医療体制についても改革が進んでおり、救急管理棟やTACU（経過観察病棟）、ハイブリッドERの整備、さらには災害医療研究センターの活動強化など、多層的な医療提供体制の構築に取り組んでいます。災害時対応力の強化は、南海トラフ地震をはじめとする巨大災害への備えとして、大学病院の社会的責任のひとつと認識しています。

私たちは、大学を「学びの場」にとどめず、社会変革の拠点として位置づけています。医療・教育・研究のあらゆる場面において、革新と共創を推し進めると同時に、地域社会との信頼関係を深め、選ばれる大学づくりに全力を尽くしてまいります。

次の50年に向けて、学校法人愛知医科大学は「地域から、そして世界から信頼される医療系総合大学」として、社会の期待に応え続けることをお約束します。今後とも皆様の変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

学校法人 愛知医科大学

理事長 祖父江 元

## 2 法 人 概 要



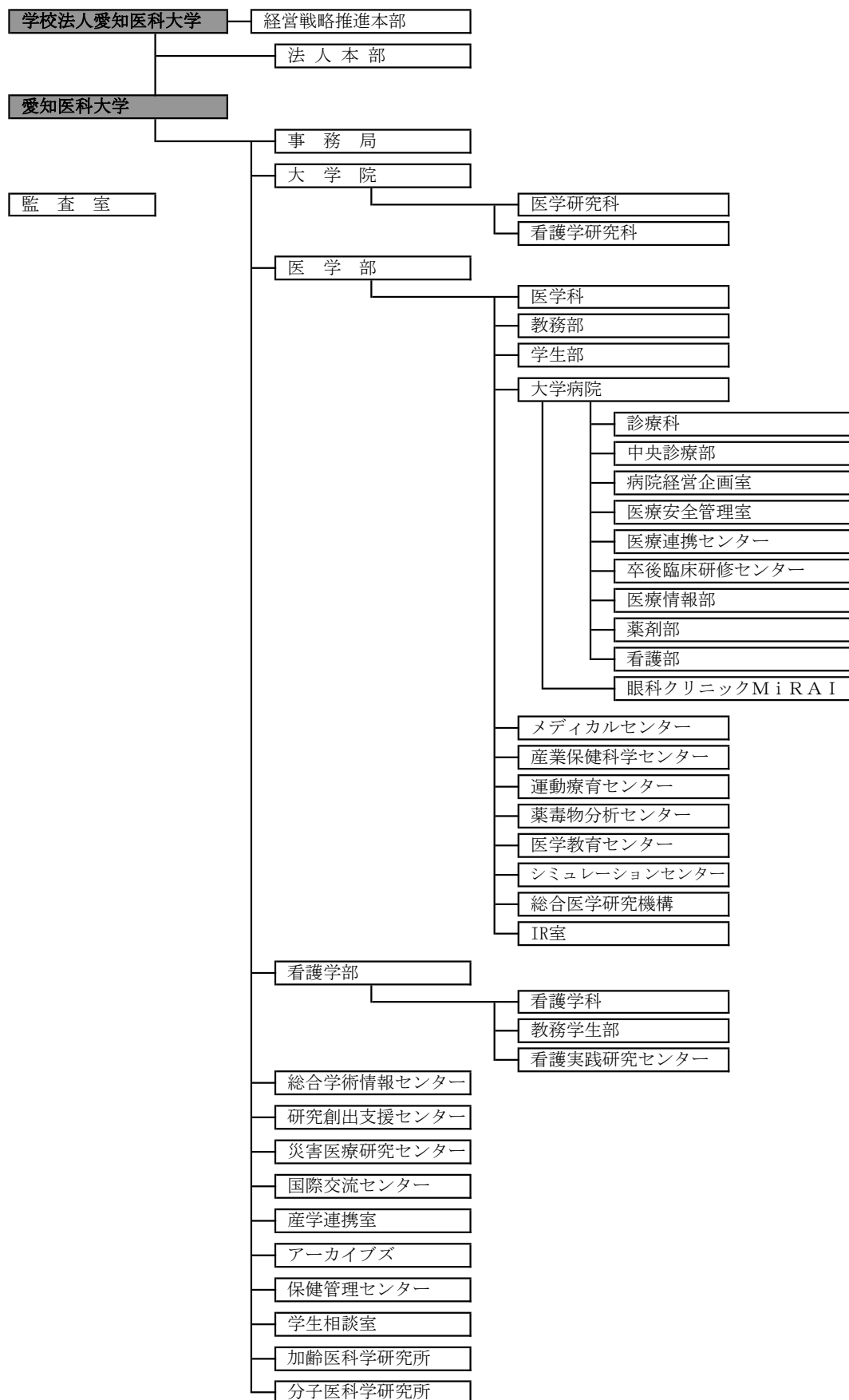
## 2 法人概要

### (1) 沿革

|              |                                                                                         |              |                                                                |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------------------------------------------------------|
| 昭和46. 12. 25 | 愛知医科大学(医学部医学科)設置認可                                                                      | 平成 8. 3. 28  | 附属病院救命救急センターが高度救命救急センターに指定                                     |
| 昭和47. 1. 28  | 附属病院(暫定病院)開設許可(名古屋市守山区森孝新田字元補11番地)                                                      | 平成11. 12. 22 | 看護学部看護学科設置認可                                                   |
| 昭和47. 2. 1   | 附属病院(暫定病院)使用許可                                                                          | 平成12. 4. 5   | 看護学部第1回入学式                                                     |
| 昭和47. 4. 11  | 医学部第1回入学式                                                                               | 平成13. 6. 16  | 薬毒物分析センター設置                                                    |
| 昭和49. 1. 28  | 新附属病院開設許可(愛知県愛知郡長久手町大字岩作字雁又21番地)                                                        | 平成14. 1. 1   | 学際的痛みセンター設置                                                    |
| 昭和49. 5. 30  | 新附属病院使用許可                                                                               | 平成14. 4. 26  | 看護専門学校廃止認可                                                     |
| 昭和49. 9. 9   | 高等看護学院設置認可                                                                              | 平成15. 11. 27 | 大学院看護学研究科設置認可                                                  |
| 昭和49. 9. 20  | 高等看護学院第1回入学式                                                                            | 平成16. 4. 1   | 医学教育センター設置                                                     |
| 昭和51. 9. 20  | 高等看護学院を看護専門学校と改称                                                                        | 平成16. 4. 7   | 大学院看護学研究科第1回入学式                                                |
| 昭和52. 12. 5  | 法人名を学校法人愛知医科大学と改称                                                                       | 平成17. 4. 1   | 病院名を愛知医科大学病院と改称                                                |
| 昭和54. 7. 1   | 附属病院救命救急センター開設                                                                          | 平成20. 4. 1   | 総合医学研究機構設置<br>臨床試験センター設置<br>先端医学・医療研究拠点設置<br>看護実践研究センター設置      |
| 昭和55. 3. 26  | 大学院医学研究科設置認可                                                                            | 平成22. 4. 1   | 総合医学研究機構を改組(動物実験センター, 核医学センター, 研究機器センター, 臨床試験センターを同機構の部門として統合) |
| 昭和55. 6. 4   | 大学院医学研究科第1回入学式                                                                          | 平成24. 1. 4   | 長久手市市制施行に伴う所在地名地番の変更(愛知県長久手市岩作雁又1番地1)                          |
| 昭和56. 3. 30  | 看護専門学校入学定員変更(30名→50名)                                                                   | 平成24. 3. 31  | 先端医学・医療研究拠点廃止                                                  |
| 昭和56. 4. 23  | 情報処理センター設置                                                                              | 平成24. 4. 1   | 先端医学研究センター設置                                                   |
| 昭和58. 4. 1   | 加齢医科学研究所設置                                                                              | 平成26. 4. 23  | 新病院(中央棟)使用許可                                                   |
| 昭和58. 4. 20  | メディカルクリニック開設許可(名古屋市中区東桜2丁目12番1号)                                                        | 平成26. 11. 1  | 災害医療研究センター設置                                                   |
| 昭和58. 12. 21 | 附属動物実験施設設置                                                                              | 平成27. 4. 1   | 国際交流センター設置<br>シミュレーションセンター設置                                   |
| 昭和60. 4. 1   | 看護専門学校課程変更(2年課程昼間定時制→3年課程全日制)                                                           | 平成28. 4. 1   | 先端医学研究センター廃止<br>研究創出支援センター設置                                   |
| 昭和62. 10. 1  | 運動療育センター設置                                                                              | 平成29. 4. 1   | 医学情報センター(図書館)廃止<br>情報処理センター廃止<br>総合学術情報センター設置                  |
| 昭和63. 4. 1   | 核医学センター設置<br>研究機器センター設置<br>分子医科学研究所設置<br>附属図書館を医学情報センター(図書館)と改称<br>附属動物実験施設を動物実験センターと改称 | 令和 3. 2. 25  | メディカルセンター開設許可(愛知県岡崎市仁木町字川越17番地33)                              |
| 平成 4. 3. 24  | 看護専門学校入学定員変更(50名→100名)                                                                  | 令和 3. 3. 18  | メディカルセンター使用許可                                                  |
| 平成 5. 6. 16  | 産業保健科学センター設置                                                                            | 令和 4. 6. 1   | メディカルクリニックを眼科クリニックMiRAIと改称                                     |
| 平成 6. 2. 1   | 附属病院が特定機能病院に承認                                                                          | 令和 4. 7. 1   | 学際的痛みセンター廃止                                                    |

## (2) 組織機構図

(R6.7.1現)





### (3) 役員・評議員

#### ◆ 役員

(R6. 6. 1現)

| 区 分 | 氏 名   | 主 な 役 職              |
|-----|-------|----------------------|
| 理事長 | 祖父江 元 | 理事長，学長               |
| 理 事 | 伊藤 恭彦 | 経営戦略推進本部兼医学部特命教授     |
| 理 事 | 岩船 徹雄 | 経営戦略推進事務室長           |
| 理 事 | 笠井 謙次 | 副学長，医学部長，医学部教授       |
| 理 事 | 島田 孝一 | 法人本部長                |
| 理 事 | 道勇 学  | 副学長，病院長，医学部教授        |
| 理 事 | 羽生田正行 | メディカルセンター病院長，医学部特命教授 |
| 理 事 | 羽根田雅巳 | 事務局長                 |
| 理 事 | 若杉 里実 | 副学長，看護学部長，看護学部教授     |
| 理 事 | 内海 眞  | 非常勤                  |
| 理 事 | 齋藤 勉  | 非常勤                  |
| 理 事 | 高柳 友子 | 医学部後援会会長，非常勤         |
| 理 事 | 福澤 嘉孝 | 医学部同窓会理事長，非常勤        |
| 理 事 | 柵木 充明 | 非常勤                  |
| 理 事 | 真能 秀久 | 非常勤                  |
| 監 事 | 岡田 忠  | 非常勤                  |
| 監 事 | 林 清博  | 非常勤                  |

#### ◆ 役員賠償責任保険

保険期間：令和6年4月1日午後4時から令和7年4月1日午後4時まで

補償内容：役員に関する補償 10億円（支払限度額）

#### ◆ 評議員

(R6. 6. 1現)

| 氏 名   | 主 な 役 職              | 氏 名   | 主 な 役 職        |
|-------|----------------------|-------|----------------|
| 天野 哲也 | 副院長，医学部教授            | 伊藤 健吾 | 非常勤            |
| 泉 雅之  | 看護学部長補佐，看護学部教授       | 内海 眞  | 非常勤            |
| 伊藤 恭彦 | 経営戦略推進本部兼医学部特命教授     | 加藤 宏泰 | 看護学部父母会会長，非常勤  |
| 井上 里恵 | 副院長，看護部長             | 加藤 雅通 | 医学部後援会副会長，非常勤  |
| 岩船 徹雄 | 経営戦略推進事務室長           | 金森 俊輔 | 非常勤            |
| 笠井 謙次 | 副学長，医学部長，医学部教授       | 木下 登  | 非常勤            |
| 佐藤 元彦 | 副学長，医学部教授            | 齋藤 勉  | 非常勤            |
| 島田 孝一 | 法人本部長                | 祖父江 元 | 理事長，学長         |
| 道勇 学  | 副学長，病院長，医学部教授        | 高安 正和 | 非常勤            |
| 羽生田正行 | メディカルセンター病院長，医学部特命教授 | 高柳 友子 | 医学部後援会会長，非常勤   |
| 羽根田雅巳 | 事務局長                 | 服部 達哉 | 非常勤            |
| 細川 好孝 | 医学部教授                | 早川 真人 | 非常勤            |
| 若杉 里実 | 副学長，看護学部長，看護学部教授     | 柵木 充明 | 非常勤            |
| 福澤 嘉孝 | 医学部同窓会理事長，非常勤        | 真能 秀久 | 非常勤            |
| 藤澤 恵児 | 看護学部同窓会会長，看護師        | 八島 妙子 | 非常勤            |
| 早稲田勝久 | 医学部同窓会副理事長，医学部教授     | 山田 晴生 | 医学部同窓会副理事長，非常勤 |

#### (4) 学長・副学長

| 職 名   | 氏 名                          |
|-------|------------------------------|
| 学 長   | 祖父江 元                        |
| 副 学 長 | 笠井 謙次 若杉 里実 道勇 学 春日井邦夫 佐藤 元彦 |

#### (5) 設置学校等

※ 平成24. 1. 4 長久手市市制施行に伴い、住所表示変更：長久手市岩作雁又1番地1

##### ◆ 学 校

| 名 称       | 開設年月日       | 所在地                    | 備 考                                         |
|-----------|-------------|------------------------|---------------------------------------------|
| 医学部医学科    | 昭和47. 4. 1  | 愛知郡長久手町<br>大字岩作字雁又21   |                                             |
| 看護学部看護学科  | 平成12. 4. 1  | 同上                     |                                             |
| 大学院医学研究科  | 昭和55. 4. 1  | 同上                     |                                             |
| 大学院看護学研究科 | 平成16. 4. 1  | 同上                     |                                             |
| 高等看護学院    | 昭和49. 9. 20 | 愛知郡長久手町<br>大字岩作字丸根78-1 | S51. 9. 20 看護専門学校に改称<br>H14. 3. 31 看護専門学校廃止 |

##### ◆ 病 院

(R6. 5. 1現)

| 名 称           | 開設年月日       | 所在地                  | 備 考                                          |
|---------------|-------------|----------------------|----------------------------------------------|
| 医学部附属病院（暫定病院） | 昭和47. 2. 1  | 名古屋市守山区<br>森孝新田字元補11 |                                              |
| 医学部附属病院       | 昭和49. 5. 30 | 愛知郡長久手町<br>大字岩作字雁又21 | H 6. 2. 1 特定機能病院に承認<br>H17. 4. 1 愛知医科大学病院に改称 |
| 附属病院救命救急センター  | 昭和54. 7. 1  | 同上                   | H 8. 3. 28 高度救命救急センターに指定                     |
| メディカルクリニック    | 昭和58. 6. 1  | 名古屋市東区東桜<br>2-12-1   | R4. 6. 1 眼科クリニックMiRAIに改称                     |
| メディカルセンター     | 令和3. 4. 1   | 岡崎市仁木町字川越17<br>番地33  |                                              |

##### ◆ 附属施設

(R6. 5. 1現)

| 名 称          | 開設年月日        | 所在地                  | 備 考                                                              |
|--------------|--------------|----------------------|------------------------------------------------------------------|
| 附属図書館        | 昭和47. 4. 1   | 愛知郡長久手町<br>大字岩作字雁又21 | S63. 4. 1 医学情報センター(図書館)に改称<br>H29. 4. 1 廃止                       |
| 情報処理センター     | 昭和56. 4. 23  | 同上                   | H29. 4. 1 廃止                                                     |
| 加齢医科学研究所     | 昭和58. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |
| 附属動物実験施設     | 昭和58. 12. 21 | 同上                   | S63. 4. 1 動物実験センターに改称                                            |
| 運動療育センター     | 昭和62. 10. 1  | 同上                   |                                                                  |
| 視聴覚教材センター    | 昭和63. 4. 1   | 同上                   | H17. 3. 31 廃止                                                    |
| 核医学センター      | 昭和63. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |
| 研究機器センター     | 昭和63. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |
| 分子医科学研究所     | 昭和63. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |
| 産業保健科学センター   | 平成 5. 6. 16  | 同上                   |                                                                  |
| 薬毒物分析センター    | 平成13. 6. 16  | 同上                   |                                                                  |
| 学際的痛みセンター    | 平成14. 1. 1   | 同上                   | R4. 7. 1 廃止                                                      |
| 医学教育センター     | 平成16. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |
| 総合医学研究機構     | 平成20. 4. 1   | 同上                   | H22. 4. 1 改組<br>(動物実験センター、核医学センター、研究機器センター、臨床試験センターを同機構の部門として統合) |
| 臨床試験センター     | 平成20. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |
| 先端医学・医療研究拠点  | 平成20. 4. 1   | 同上                   | H24. 3. 31 廃止                                                    |
| 看護実践研究センター   | 平成20. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |
| 先端医学研究センター   | 平成24. 4. 1   | 長久手市岩作雁又1番地1         | H28. 4. 1 廃止                                                     |
| 災害医療研究センター   | 平成26. 11. 1  | 同上                   |                                                                  |
| 国際交流センター     | 平成27. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |
| シミュレーションセンター | 平成27. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |
| 研究創出支援センター   | 平成28. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |
| 総合学術情報センター   | 平成29. 4. 1   | 同上                   |                                                                  |

## (6) 建学の精神

本学が創設された際に定められた「建学の精神」では、「よき臨床医をつくる」、「大学自体が地域社会に役立つ」、「発展途上国の医学・医療の援助を行う」の三項目を挙げ、患者からも、地域からも、国際社会からも頼りにされる医師の養成を理想とされました。「建学の精神」は不変であるものの、建学から既に50年近く経過していること、大学を取り巻く環境も大きく変動していること、医学教育分野別評価（国際認証）の受審が決定したこと等から、大学職員等にとってシンプルで、理解しやすい、共感できる「学是（基本理念）」が全学的な議論を踏まえ、平成29年3月の理事会・評議員会に提議され、更に同窓会等関係方面への説明を経て平成29年5月の理事会・評議員会で制定されました。

### ◆ 建学の精神

本学は、新時代の医学知識、技術を身につけた教養豊かな臨床医、特に時代の要請に応じて地域社会に奉仕できる医師を養成し、あわせて医療をよりよく発展向上させるための医学指導者を養成することを目的とする。

そのため、医学を中心とした広汎な基礎的知識を授け、深い専門的技術を教授研究し、心身ともに健康なる医師を養育し、その知的、道徳的能力及び社会的有用性の向上を期している。

なお、私学の特性に鑑み、その自主性を重んじ、公共性を高めることによって、私立医科大学の健全なる発展を図り、社会福祉、殊に地域医療に貢献するとともに、東南アジアその他発展途上国の医療の進歩、向上に協力せんとする。

本学の修業年限は6年で、その間の教育に一貫性を期するとともに、研究の交流を図るために、その組織を基礎科学、基礎医学、臨床医学の各部門に分ち、それぞれの緊密なる連携を図ることとした。この点本学が新しい構想のもとに企画したところであり、本学の特色とするところである。かくして新しい「カリキュラム」をもって人間形成及び創造性の啓発を図り、人命の尊厳を守り、ヒューマニズムに徹し、各自の自主的、自発的勉学を尊重し、人間としての自覚にたった医学教育を目指しているのである。

### ◆ 学是

#### — 具眼考究(ぐがんこうきゅう) —

「具眼」とは、江戸中期の画家で近年脚光を浴びている伊藤若冲の言葉として知られていますが、「確かな眼」、「見通す眼」、「眼力」、「慧眼」といった意味であり、医学的には「正しくみる」ことを意味します。「みる」とは「診る」、「看る」、「見る」、「観る」、「視る」のすべてを含み、個々の患者の正確な病態とともに生物学的、心理学的、経済的、社会的なすべての視点に立った包括的、全人的に患者を把握する感性を意味します。さらに卓越した研究・教育それに大学の正しい未来の方向性の洞察には「具眼」が必要です。

「考究」とは、「具眼」によって得た神髄を深く考え、それに対して正しく対処して究めることを指します。

## ◆ 医学部の教育理念・目標

### 【教育理念】

医学部の教育理念は、医学知識や技術の修得はもとより、医学を志す者として教養豊かな人間性を涵養することです。

すなわち、建学の精神及び学是に基づいた科学的・倫理的判断力、社会貢献の自覚を養い、情緒と品格を兼ね備えた医療人を育成することです。

### 【教育目標】

ヒューマンズムに徹し、医学・医療の社会的使命を進んで果たす医師を養成すること。

- 1 将来の医学・医療の様々な分野に共通して必要な基本的知識、技能、態度を身につけ、生涯にわたる学修の基礎をつくります。
- 2 自主性・創造性を身につけ、問題解決能力を高めます。そして、医学の進歩と、医療をめぐる社会情勢の変化に対応できる能力を涵養します。
- 3 医療を予防・診断・治療から社会復帰までの包括的なものとして捉え、自然科学のみならず、その背景にある心理的・社会的諸問題をも含めて総合的に対応できる能力を涵養します。

## ◆ 看護学部教育理念・目標

### 令和4年度以降入学生適用

本学部は建学の精神、設置の主旨、学是に則り、人間尊重を基盤とした豊かな人間性(Humanity)、社会と人々の暮らしや健康を支える地域性(Community)、国内外の多様な文化と価値観を尊重する国際性(Internationality)、社会の変化や多様な状況・場に対応できる看護実践能力(Professionalism)の4つをコア・コンセプトと位置づけ、看護の発展に貢献し続ける実践者を育成することを理念としています。

本学看護学部教育理念に基づく教育目標は以下の4つです。

- 1 人間尊重を基盤とした豊かな人間性(Humanity)  
人を全人的に捉え、尊厳と権利を尊重し、健康と幸福を追求する能力を育成します。
- 2 社会と人々の暮らしや健康を支える地域性(Community)  
社会の環境と地域で暮らす人々の多様な生活課題を理解し、健康増進に貢献できる能力を育成します。また、保健医療福祉の連携・協働のもと、看護の機能や役割を発揮できる能力を育成します。
- 3 国内外の多様な文化と価値観を尊重する国際性(Internationality)  
グローバルな視点を持ち、多様化する文化的背景や異なる価値観を理解し、多文化共生社会に貢献できる能力を育成します。
- 4 社会の変化や多様な状況・場に対応できる看護実践能力(Professionalism)  
地域社会の健康課題から高度急性期医療に至る多様な状況に対応し、科学的根拠に基づく看護を実践できる基礎的能力を育成します。また、看護専門職者として主体的に研鑽を積み、生涯にわたり専門性を発展させていく能力を育成します。

### 令和3年度以前入学生適用

人間の尊厳を重んじる豊かな感性と思考力を持ち、対象となる人々と共に健康と幸福を追求し人間的に成長する看護を提供できる専門職者を育成します。

科学の進歩と国内外の社会・医療環境の変化に幅広く対応できる質の高い実践者を育成します。また、教育・研究者としての資質を有し、看護学の発展に貢献する看護専門職者を育成します。

本学看護学部教育理念に基づく教育目標は次のとおりです。

- 1 思いやりのある豊かな人間性を持ち、人間の尊厳と権利を擁護する倫理的判断力を持つ人材を育成します。
- 2 科学的に分析し、明瞭かつ批判的・発展的・論理的に思考するクリティカルシンキング能力を持つ人材を育成します。
- 3 看護専門職者として、対象となる人々の健康と幸福を追求し、科学的根拠に基づく看護を提供できる能力を育成します。
- 4 看護専門職者としての自律性を育むとともに、保健・医療・福祉の連携・協働に取り組む能力を育成します。
- 5 グローバルな視点を持ち、地域社会の健康増進に貢献する人材を育成します。
- 6 生涯学習に主体的に取り組み、教育・研究者としての資質を持ち、実践科学としての看護学の発展に貢献しうる人材を育成します。

#### ◆ 医学研究科の教育理念・目標

##### 【教育理念】

愛知医科大学医学研究科は建学の精神に則り、最新の豊かな学識と研究能力を身につけ、医学研究及び医師育成に指導的な役割を担う国際的医学研究者を養成することにより、医学・医療の発展を通して社会に貢献することを目指す。

##### 【教育目標】

- 1 自ら研鑽に励み、各専門分野の先端的な知識・技術を習得し、専門性や社会性を身に付け、独力で研究プロジェクトを立案・遂行できる人材を育成する。
- 2 国際的な視野に立ち、先駆的な研究の展開を目指す人材を育成する。
- 3 チームのリーダーとしてふさわしいコミュニケーション能力を身に付け、医学研究・医療分野の指導的な役割を担うことができる人材を育成する。
- 4 研究倫理について十分に理解して、それを遵守でき、見識を持って社会的貢献に努めようとする人材を育成する。

#### ◆ 看護学研究科の教育理念・目標

看護現象に根ざした人間存在の原理的・統合的・全人的理解を基盤として、学際的・国際的な視点を加味した看護学を教授し、卓越した看護実践能力及び研究・教育・管理能力を持つ高度実践看護者を育成するとともに、研究・教育を通して看護学の発展に寄与する。

本学看護学研究科の教育理念に基づく教育目標は次のとおりです。

- 1 高度な知識・技術と卓越した実践能力を持つ高度専門職業人を育成する。
- 2 看護の質向上に寄与する研究・教育・管理能力を持つ高度専門職業人を育成する。
- 3 国際的視野を持って、看護・看護学を探究しつづける人材を育成する。
- 4 看護学の学問的発展に寄与できる研究者・教育者を育成する。

## (7) 職員数

(単位：人)

| 区 分   |         | 教職員数  |
|-------|---------|-------|
| 学 長   |         | 0     |
| 教育職員  | 教授      | 71    |
|       | 教授(特任)  | 48    |
|       | 准教授     | 55    |
|       | 准教授(特任) | 17    |
|       | 講師      | 87    |
|       | 助教      | 176   |
|       | 医員助教    | 95    |
| 事務職員他 | 専修医     | 106   |
|       | 事務職員    | 285   |
|       | 技術技能職員  | 107   |
|       | 業務職員    | 28    |
|       | 医療職員    | 517   |
|       | 看護職員    | 1203  |
| 合 計   |         | 2,795 |

## (8) 大学院

### ◆ 学生数

(単位：人)

| 研究科名         | 収容定員 | 入学定員 | 在籍学生数 |       |       |       |     |
|--------------|------|------|-------|-------|-------|-------|-----|
|              |      |      | 1 学年次 | 2 学年次 | 3 学年次 | 4 学年次 | 計   |
| 医学研究科(博士課程)  | 120  | 30   | 25    | 26    | 18    | 35    | 104 |
| 看護学研究科(修士課程) | 30   | 15   | 15    | 18    |       |       | 33  |

### ◆ 学位授与者数 (R06年度)

(単位：人)

| 研究科名   | 課程博士 | 論文博士 | 課程修士 |
|--------|------|------|------|
| 医学研究科  | 24   | 10   |      |
| 看護学研究科 |      |      | 17   |

### ◆ 大学院研究生数

(単位：人)

| 研究科名  | 研究生数 |
|-------|------|
| 医学研究科 | 7    |

# (9) 医学部医学科

## ◆ 学生数

(単位：人)

| 収容定員 | 入学定員 | 学年 | 在籍学生数 |      |      |      |      |      | 計   | 卒業者数 |
|------|------|----|-------|------|------|------|------|------|-----|------|
|      |      |    | 1学年次  | 2学年次 | 3学年次 | 4学年次 | 5学年次 | 6学年次 |     |      |
| 690  | 115  | 男  | 65    | 70   | 69   | 71   | 66   | 70   | 411 | 64   |
|      |      | 女  | 56    | 57   | 50   | 46   | 49   | 43   | 301 | 37   |
|      |      | 計  | 121   | 127  | 119  | 117  | 115  | 113  | 712 | 101  |

## ◆ 学生数(年次推移)

(単位：人)

| 年 度    | 収容定員 | 入学定員 | 在籍学生数 |      |      |      |      |      | 計   | 卒業者数 |
|--------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|
|        |      |      | 1学年次  | 2学年次 | 3学年次 | 4学年次 | 5学年次 | 6学年次 |     |      |
| R 02年度 | 688  | 115  | 128   | 122  | 115  | 119  | 108  | 126  | 718 | 104  |
| R 03年度 | 690  | 115  | 133   | 120  | 108  | 119  | 116  | 123  | 719 | 109  |
| R 04年度 | 690  | 115  | 137   | 119  | 108  | 115  | 114  | 131  | 724 | 102  |
| R 05年度 | 690  | 115  | 132   | 120  | 119  | 109  | 116  | 125  | 721 | 120  |
| R 06年度 | 690  | 115  | 121   | 127  | 119  | 117  | 115  | 113  | 712 | 101  |

## ◆ 入試状況

(単位：人)

| 年 度    | 一 般 選 抜 |       |      |      | 大学入学共通テスト利用選抜 |      |      |      |      | 愛知県地域特別枠 |      |      |      |      | 学校推薦型選抜 |      |      |      |      | 国際バカロレア選抜 |      |      |      |
|--------|---------|-------|------|------|---------------|------|------|------|------|----------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|-----------|------|------|------|
|        | 志願者数    | 受験者数  | 合格者数 | 入学者数 | 区分            | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 区分       | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 区分      | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 志願者数      | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
| R 02年度 | 2,360   | 2,304 | 242  | 65   | 前期            | 955  | 947  | 61   | 15   | A方式      | 14   | 14   | 5    | 5    | 公募制     | 88   | 88   | 20   | 20   | 3         | 3    | 3    | 2    |
|        |         |       |      |      | 後期            | 68   | 65   | 10   | 5    | B方式      | 33   | 33   | 15   | 5    |         |      |      |      |      |           |      |      |      |
| R 03年度 | 2,244   | 2,179 | 275  | 66   | 前期            | 713  | 705  | 81   | 15   | A方式      | 25   | 25   | 5    | 5    | 公募制     | 106  | 105  | 20   | 20   | 3         | 3    | 2    | 0    |
|        |         |       |      |      | 後期            | 63   | 62   | 13   | 5    | B方式      | 35   | 35   | 13   | 5    |         |      |      |      |      |           |      |      |      |
| R 04年度 | 2,040   | 1,989 | 325  | 63   | 前期            | 603  | 594  | 60   | 16   | A方式      | 12   | 12   | 2    | 2    | 公募制     | 96   | 95   | 20   | 20   | 2         | 2    | 2    | 1    |
|        |         |       |      |      | 後期            | 57   | 57   | 8    | 6    | B方式      | 41   | 41   | 25   | 8    |         |      |      |      |      |           |      |      |      |
| R 05年度 | 1,392   | 1,327 | 219  | 65   | 前期            | 809  | 803  | 64   | 15   | A方式      | 12   | 12   | 4    | 4    | 公募制     | 79   | 77   | 20   | 20   | 5         | 5    | 2    | 1    |
|        |         |       |      |      | 後期            | 116  | 114  | 7    | 5    | B方式      | 47   | 47   | 12   | 6    |         |      |      |      |      |           |      |      |      |
| R 06年度 | 2,212   | 2,157 | 305  | 64   | 前期            | 872  | 866  | 46   | 15   | A方式      | 13   | 13   | 5    | 5    | 公募制     | 84   | 83   | 20   | 20   | 5         | 5    | 3    | 2    |
|        |         |       |      |      | 後期            | 77   | 76   | 5    | 4    | B方式      | 41   | 41   | 10   | 5    |         |      |      |      |      |           |      |      |      |

## ◆ 医師国家試験合格者数及び合格率

| 年 度    | 新卒者     |        | 既卒者     |        | 総数      |        |
|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
|        | 合格者数(人) | 合格率(%) | 合格者数(人) | 合格率(%) | 合格者数(人) | 合格率(%) |
| R 02年度 | 107     | 98.2   | 8       | 61.5   | 115     | 94.3   |
| R 03年度 | 96      | 94.1   | 2       | 33.3   | 98      | 90.7   |
| R 04年度 | 115     | 100    | 4       | 50     | 119     | 96.7   |
| R 05年度 | 118     | 98.3   | 0       | 0.0    | 118     | 96.7   |
| R 06年度 | 99      | 98.0   | 2       | 33.3   | 101     | 94.4   |

# (10) 看護学部看護学科

## ◆ 学生数

(単位：人)

| 収容定員 | 入学定員 | 在 学 生 数 |       |       |       |       |     | 卒業者数 |
|------|------|---------|-------|-------|-------|-------|-----|------|
|      |      | 学年      | 1 学年次 | 2 学年次 | 3 学年次 | 4 学年次 | 計   |      |
| 400  | 100  | 男       | 8     | 11    | 3     | 6     | 28  | 6    |
|      |      | 女       | 122   | 104   | 94    | 94    | 414 | 93   |
|      |      | 計       | 130   | 115   | 97    | 100   | 442 | 99   |

## ◆ 学生数(年次推移)

(単位：人)

| 年 度    | 収容定員 | 入学定員 | 在 学 生 数 |       |       |       |     | 卒業者数 |
|--------|------|------|---------|-------|-------|-------|-----|------|
|        |      |      | 1 学年次   | 2 学年次 | 3 学年次 | 4 学年次 | 計   |      |
| R 02年度 | 400  | 100  | 103     | 102   | 104   | 105   | 414 | 102  |
| R 03年度 | 400  | 100  | 104     | 107   | 96    | 106   | 413 | 105  |
| R 04年度 | 400  | 100  | 107     | 107   | 100   | 96    | 410 | 95   |
| R 05年度 | 400  | 100  | 103     | 110   | 99    | 100   | 412 | 97   |
| R 06年度 | 400  | 100  | 130     | 115   | 97    | 100   | 442 | 99   |

## ◆ 入試状況(一般選抜・学校推薦型選抜)

(単位：人)

| 年 度    | 一 般 選 抜 |      |      |      | 学 校 推 薦 型 選 抜 |      |      |      |      |
|--------|---------|------|------|------|---------------|------|------|------|------|
|        | 志願者数    | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 区分            | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
| R 02年度 | 519     | 515  | 217  | 66   | 指 定 校 制       | 17   | 17   | 17   | 17   |
|        |         |      |      |      | 公 募 制         | 59   | 59   | 13   | 13   |
| R 03年度 | 522     | 516  | 218  | 70   | 指 定 校 制       | 17   | 17   | 17   | 17   |
|        |         |      |      |      | 公 募 制         | 45   | 45   | 15   | 15   |
| R 04年度 | 470     | 465  | 208  | 64   | 指 定 校 制       | 17   | 17   | 17   | 17   |
|        |         |      |      |      | 公 募 制         | 46   | 46   | 14   | 14   |
| R 05年度 | 421     | 416  | 232  | 57   | 指 定 校 制       | 17   | 17   | 17   | 17   |
|        |         |      |      |      | 公 募 制         | 36   | 36   | 15   | 15   |
| R 06年度 | 400     | 396  | 213  | 66   | 指 定 校 制       | 12   | 12   | 12   | 12   |
|        |         |      |      |      | 公 募 制         | 45   | 44   | 20   | 20   |

## ◆ 入試状況(社会人・大学入学共通テスト利用選抜)

(単位：人)

| 年 度    | 社会人等特別選抜 |      |      |      | 大学入学共通テスト利用選抜 |      |      |      |
|--------|----------|------|------|------|---------------|------|------|------|
|        | 志願者数     | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 志願者数          | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
| R 02年度 | 3        | 3    | 0    | 0    | A 方式          | 280  | 279  | 83   |
|        |          |      |      |      | B 方式          | 189  | 189  | 69   |
| R 03年度 | 1        | 1    | 0    | 0    | A 方式          | 298  | 298  | 84   |
|        |          |      |      |      | B 方式          | 191  | 189  | 79   |
| R 04年度 | 2        | 2    | 2    | 2    | A 方式          | 217  | 217  | 114  |
|        |          |      |      |      | B 方式          | 136  | 135  | 79   |
| R 05年度 | 3        | 2    | 1    | 1    | A 方式          | 266  | 266  | 170  |
|        |          |      |      |      | B 方式          | 179  | 178  | 119  |
| R 06年度 | 1        | 1    | 1    | 1    | A 方式          | 246  | 246  | 176  |
|        |          |      |      |      | B 方式          | 169  | 167  | 128  |

## ◆ 国家試験合格者数及び合格率

| 年 度    | 看護師国家試験 |     |        |     | 保健師国家試験 |     |        |     |
|--------|---------|-----|--------|-----|---------|-----|--------|-----|
|        | 合格者数(人) |     | 合格率(%) |     | 合格者数(人) |     | 合格率(%) |     |
|        | 新卒者     | 既卒者 | 新卒者    | 既卒者 | 新卒者     | 既卒者 | 新卒者    | 既卒者 |
| R 02年度 | 101     | —   | 99     | —   | 15      | 0   | 100    | 0   |
| R 03年度 | 105     | 0   | 100    | 0   | 15      | —   | 100    | —   |
| R 04年度 | 95      | —   | 100    | —   | 15      | —   | 100    | —   |
| R 05年度 | 96      | —   | 99     | —   | 15      | —   | 100    | —   |
| R 06年度 | 99      | 1   | 100    | 100 | 15      | 0   | 100    | 0   |



## (11) 研究員数

### ◆ 研究員数 (単位：人)

| 名 称    | 研究員数 |
|--------|------|
| 研究員    | 328  |
| 客員研究員  | 50   |
| 外国人研究員 | 9    |

## (12) 国際交流の状況

### ◆ 大学

| 大学名       | 国 名         | 開始年月日    | 交流内容      |
|-----------|-------------|----------|-----------|
| 東亜大学校医科大学 | 大韓民国        | 平成27年6月  | 学生・研究者の交流 |
| ウッチ医科大学   | ポーランド共和国    | 平成28年2月  | 学生・研究者の交流 |
| バーモント大学   | アメリカ合衆国     | 平成29年11月 | 学生・研究者の交流 |
| シーラーズ医科大学 | イラン・イスラム共和国 | 令和元年8月   | 学生・研究者の交流 |
| キユー医科大学   | ウクライナ       | 令和2年3月   | 学生・研究者の交流 |
| ボズナン医科大学  | ポーランド共和国    | 令和2年4月   | 学生・研究者の交流 |

### ◆ 医学部

| 大学名                    | 国 名      | 開始年月日    | 交流内容      |
|------------------------|----------|----------|-----------|
| 南イリノイ大学医学部             | アメリカ合衆国  | 平成19年4月  | 学生の短期留学   |
| コンケン大学医学部              | タイ王国     | 平成23年11月 | 学生・研究者の交流 |
| ルール大学医学部               | ドイツ連邦共和国 | 平成24年1月  | 学生の短期留学   |
| タマサート大学チュラポーン<br>国際医学部 | タイ王国     | 令和5年4月   | 学生・研究者の交流 |

### ◆ 看護学部

| 大学名                                     | 国 名       | 開始年月日    | 交流内容                           |
|-----------------------------------------|-----------|----------|--------------------------------|
| サンディエゴ大学<br>ハーン看護健康科学学部                 | アメリカ合衆国   | 平成14年7月  | 教育・研究に関する情報交換                  |
| オウル大学<br>医学部健康科学センター<br>看護科学学科          | フィンランド    | 平成16年6月  | 教育・研究に関する情報交換                  |
| ケース・ウェスタン・<br>リザーブ大学<br>看護学部            | アメリカ合衆国   | 平成21年3月  | 学生の短期留学<br>教員・研究者の交流           |
| マハサラカム大学<br>看護学部                        | タイ王国      | 平成29年10月 | 共同研究<br>学生の短期交換留学<br>教員・研究者の交流 |
| シンガポール国立大学<br>ヨン・ルー・リン医学部<br>アリス・リー看護学科 | シンガポール共和国 | 令和3年8月   | 共同研究<br>学生の短期交換留学<br>教員・研究者の交流 |

### (13) 総合学術情報センター(図書館部門)

#### ◆ 蔵書数(R7.3.31現)

(単位：冊)

(単位：種)

| 区 分 | 医学・<br>看護学書 | 一般教養書  | 製本雑誌   | 視聴覚資料 | 計      | カ レ ン ト 雑 誌 |         |
|-----|-------------|--------|--------|-------|--------|-------------|---------|
|     |             |        |        |       |        | プリント版       | 電子ジャーナル |
| 和 書 | 39,491      | 17,125 | 14,016 | 713   | 71,345 | 372         | 1,737   |
| 洋 書 | 14,220      | 1,572  | 8,076  | 3     | 23,871 | 12          | 2,881   |
| 計   | 53,711      | 18,697 | 22,092 | 716   | 95,216 | 384         | 4,618   |

#### ◆ 月別入館者数推移(R7.3.31現)

(単位：人)

| 月   | 4月    | 5月    | 6月    | 7月     | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 計      |
|-----|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 入館者 | 5,970 | 6,673 | 7,773 | 11,713 | 4,750 | 6,486 | 7,782 | 6,492 | 7,206 | 5,653 | 3,993 | 1,254 | 75,745 |

#### ◆ 年間入館者数内訳(R7.3.31現)

(単位：人)

|      |        |
|------|--------|
| 学生   | 68,348 |
| 教職員  | 6,934  |
| 卒業生  | 43     |
| 学外者  | 61     |
| 高大連携 | 359    |

### (14) 公開講座

#### ◆ 公開講座概要

- ・ 講 座 名 愛知医科大学公開講座
- ・ 開催時期 9月の土曜日(全3回)
- ・ 開催時間 午前10時から午後0時30分
- ・ 開催場所 たちばなホール(大学本館2階)
- ・ 開催回数 3回
- ・ 講 師 本学教員(1回につき3名)

#### ◆ 公開講座年次推移

(単位：人)

| 年度    | 講 座 名                | 申込者数  | 受講者延数 |     |    |
|-------|----------------------|-------|-------|-----|----|
|       |                      |       | 男性    | 女性  | 不明 |
| R02年度 | 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止 | —     | —     | —   | —  |
| R03年度 | コロナ時代の健康講座           | 1,509 | ※964  |     |    |
| R04年度 | 創立50周年記念公開講座         | 200   | 153   | 151 | 96 |
| R05年度 | 知ってお得なこれからの医療        | 229   | 145   | 129 | 66 |
| R06年度 | 楽しく学べる健康講座           | 191   | 99    | 152 | 21 |

※ 受講者の平均年齢層は70歳代

※ R3はYouTubeによる動画公開形式で開催し、  
受講者延数は視聴回数です。

## (15) 大学病院概要

### ◆ 特 徴

昭和47年12月愛知医科大学附属病院として開院、昭和54年7月救命救急センターを開設し、地域の重篤救急患者の医療確保に対応、昭和61年1月特定承認保険医療機関として高度先進医療を開始し、平成6年2月特定機能病院として承認されている。

加えて、平成8年3月に中部地区で初の高度救命救急センターに認定、平成14年1月からドクターヘリ事業が開始され、地域の救急医療の重責を担っている。

平成8年10月にはエイズ拠点病院、同年11月に災害拠点病院、平成11年2月に難病医療拠点病院に指定されている。

平成17年4月に愛知医科大学病院へ改称。同年10月に(公財)日本医療機能評価機構の認定を受け、平成22年10月に更新。

平成18年9月に基幹災害拠点病院に指定され、平成20年10月にはDMAT指定医療機関として災害派遣医療チームを編成し待機させている。

また、平成22年4月肝疾患診療連携拠点病院、同年6月愛知県がん診療拠点病院、平成23年4月救急告示病院、平成25年4月地域周産期母子医療センター、同年9月愛知県認知症疾患医療センター、平成31年4月地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム連携病院、小児がん連携病院に指定された。

当院は、約27万平米の敷地に、延床面積約8万7000平米、地上15階、地下1階で、基幹災害拠点病院基幹災害拠点病院として診療機能を維持できる高性能免震構造となっている。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入している。

### ◆ 理 念

特定機能病院として、診療・教育・研究のすべての領域において、医療を基盤とした社会貢献を目指す

- ・社会の信頼に応えうる医療機関
- ・人間性豊かな医療人を育成できる教育機関
- ・新しい医療の開発と社会還元が可能な研究機関

### ◆ 基本方針

1. 患者の人間性を尊重した全人的医療の提供
2. 信頼関係を大切に安全で良質な医療の実践
3. 豊かな人間性と優れた医療技術を持った医療人の育成
4. 先進的医療技術の開発・導入・実践の推進
5. 災害・救急医療への発展的取り組み
6. 地域医療への貢献と連携推進

### ◆ 許可病床数

(単位：床)

| 一 般 | 精 神 | 計   |
|-----|-----|-----|
| 853 | 47  | 900 |

### ◆ 診療科・部門

|         |       |
|---------|-------|
| 診療科     | 36科   |
| 中央診療部門等 | 46部門等 |

(事務部門除く)

### ◆ 職員数

| 区 分  |         | 職員数   |
|------|---------|-------|
| 医師   |         | 467   |
| 歯科医師 |         | 16    |
| 看護職員 | 助産師     | 31    |
|      | 看護師     | 1,035 |
|      | 准看護師    | 1     |
| 医療職員 | 薬剤師     | 84    |
|      | 臨床検査技師  | 69    |
|      | 診療放射線技師 | 67    |
|      | 理学療法士   | 55    |
|      | 作業療法士   | 18    |
|      | 言語聴覚士   | 10    |
|      | 栄養士     | 21    |
|      | 歯科技工士   | 4     |

(単位：人)

| 区 分   |         | 職員数   |
|-------|---------|-------|
| 医療職員  | 歯科衛生士   | 5     |
|       | 視能訓練士   | 9     |
|       | 臨床工学技士  | 28    |
|       | 臨床心理士   | 6     |
|       | 精神保健福祉士 | 2     |
|       | 社会福祉士   | 11    |
| 事務職員  | 事務職員    | 106   |
| 技術職員  | 臨床技術員   | 7     |
|       | 医療技術員   | 4     |
| 技能職員  | 調理師     | 26    |
| 業務職員  | 看護補助員   | 1     |
| その他   |         | 6     |
| 合 計   |         | 2,089 |
| 臨床研修医 |         | 65    |

## (16) 大学病院業務統計

◆ 各中央診療部門等の業務統計 (R06年度)

(R7. 3. 31)

(単位：件)

| 業 務 名                  |            | 件 数       | 計         |
|------------------------|------------|-----------|-----------|
| 手術件数                   |            | 14,508    | 14,508    |
| 分娩件数                   | 正常分娩       | 116       | 292       |
|                        | 異常分娩       | 176       |           |
| 放射線取扱件数                | 診断         | 242,953   | 278,016   |
|                        | 治療         | 31,595    |           |
|                        | R・I        | 3,468     |           |
| 調剤件数                   |            | 1,439,385 | 1,439,385 |
| 注射薬処方件数                |            | 761,432   | 761,432   |
| 院外処方件数                 |            | 9,178     | 9,178     |
| 病理検査件数                 | 病理組織検査     | 12,760    | 32,625    |
|                        | 術中組織検査     | 712       |           |
|                        | 病理診断       | 11,526    |           |
|                        | 細胞診断       | 7,627     |           |
| 輸血業務                   | 輸血検査       | 65,496    | 110,943   |
|                        | 同種血輸血(単位)  | 44,475    |           |
|                        | 自己血輸血(単位)  | 377       |           |
|                        | 自己血貯血(単位)  | 576       |           |
|                        | 細胞採取(回)    | 19        |           |
| 臨床検査件数                 | 微生物学的検査    | 111,750   | 6,562,846 |
|                        | 免疫血清学的検査   | 406,249   |           |
|                        | 血液学的検査     | 675,757   |           |
|                        | 生理機能検査     | 69,441    |           |
|                        | 一般検査       | 205,269   |           |
|                        | 遺伝子検査      | 12,287    |           |
|                        | 生化学的検査     | 4,805,505 |           |
|                        | 緊急検査       | 87,753    |           |
|                        | 外注検査       | 188,835   |           |
| リハビリテーション患者延数          | 外来患者(人)    | 14,798    | 99,788    |
|                        | 入院患者(人)    | 84,990    |           |
| 腎センター患者延数              | 外来患者(人)    | 1,830     | 7,681     |
|                        | 入院患者(人)    | 5,851     |           |
| 睡眠科患者延数                | 外来患者(人)    | 10,890    | 11,974    |
|                        | 入院患者(人)    | 1,084     |           |
| 内視鏡センター検査件数            | 上部消化管内視鏡   | 4,295     | 9,237     |
|                        | 下部消化管内視鏡   | 3,617     |           |
|                        | カプセル消化管内視鏡 | 49        |           |
|                        | 胆・膵消化管内視鏡  | 972       |           |
|                        | 気管支鏡       | 274       |           |
|                        | 小腸         | 30        |           |
| 生殖・周産期母子<br>医療センター患者延数 | N I C U(人) | 2,014     | 3,903     |
|                        | G C U(人)   | 1,889     |           |
| 病理解剖                   | 件数         | 26        | 26        |
|                        | 剖検率(%)     | 2.9       | 2.9       |

**(16) 大学病院業務統計**

## ◆ 各中央診療部門等の業務統計 (R06年度)

(R7. 3. 31)

| 業 務 名 | 内 容                                 |
|-------|-------------------------------------|
| 先進医療  | ・ ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断 (PCR法) |

## 〔法令による医療機関の指定〕

(R7. 3. 31)

| 法令等の名称                   |          | 年月日         |
|--------------------------|----------|-------------|
| 医療法第 7 条第 1 項による開設許可(承認) |          | S47. 11. 28 |
| 特定機能病院の名称の使用承認           |          | H6. 2. 1    |
| 労働者災害補償保険法               |          | S49. 6. 1   |
| 地方公務員災害補償法               |          |             |
| 被爆者援護法                   | 一般疾病     |             |
| 戦傷病者特別援護法                |          |             |
| 母子保健法                    | 妊婦乳児健康診査 |             |
|                          | 療育医療機関   | H19. 6. 20  |
| 生活保護法                    |          | S49. 6. 18  |
| 障害者総合支援法                 | 育成医療     | S49. 6. 1   |
|                          | 更生医療     |             |
|                          |          | 精神通院医療      |
| 臨床修練指定病院(外国医師，外国歯科医師)    |          | S63. 3. 29  |
| 基幹災害医療センター指定             |          | H18. 9. 25  |
| D P C の導入                |          | H15. 7. 1   |
| 消防法（救急病院）                |          | H23. 4. 1   |
| 小児慢性特定疾患治療研究事業           |          | H27. 1. 1   |
| 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業       |          | H1. 4. 1    |

## ◆ 各中央診療部門等の業務統計 (R06年度)

(R7. 3. 31)

## 〔東海北陸厚生局への届出事項〕

| 診療料 (基本診療料)      | 年月日        |
|------------------|------------|
| 名称               |            |
| 医療D X推進体制整備加算    | R6. 6. 1   |
| 地域歯科診療支援病院歯科初診料  | H22. 4. 1  |
| 歯科外来診療医療安全対策加算 2 | H30. 9. 1  |
| 歯科外来診療感染対策加算 3   | H30. 9. 1  |
| 歯科外来診療感染対策加算 4   | R6. 6. 1   |
| 特定機能病院入院基本料      | R5. 3. 1   |
| 救急医療管理加算         | R2. 4. 1   |
| 超急性期脳卒中加算        | H20. 4. 1  |
| 診療録管理体制加算 3      | H13. 4. 1  |
| 医師事務作業補助体制加算 2   | R4. 10. 1  |
| 急性期看護補助体制加算      | R4. 9. 1   |
| 看護職員夜間配置加算       | R4. 9. 1   |
| 療養環境加算           | H26. 5. 1  |
| 重症者等療養環境特別加算     | H27. 8. 1  |
| 無菌治療室管理加算 1      | R2. 6. 1   |
| 緩和ケア診療加算         | H26. 7. 1  |
| 精神科身体合併症管理加算     | H28. 7. 1  |
| 精神科リエゾンチーム加算     | H28. 6. 1  |
| 摂食障害入院医療管理加算     | R4. 4. 1   |
| 栄養サポートチーム加算      | H23. 8. 1  |
| 医療安全対策加算 1       | H20. 4. 1  |
| 感染対策向上加算 1       | R4. 4. 1   |
| 患者サポート体制充実加算     | H24. 4. 1  |
| 報告書管理体制加算        | R4. 4. 1   |
| 褥瘡ハイリスク患者ケア加算    | H19. 10. 1 |
| ハイリスク妊娠管理加算      | H20. 4. 1  |
| ハイリスク分娩管理加算      | H20. 4. 1  |
| 呼吸ケアチーム加算        | H24. 10. 1 |
| 術後疼痛管理チーム加算      | R6. 6. 1   |
| 病棟薬剤業務実施加算 1     | R4. 7. 1   |
| 病棟薬剤業務実施加算 2     | H28. 4. 1  |
| データ提出加算          | H24. 10. 1 |
| 入退院支援加算          | R4. 9. 1   |
| 精神科入退院支援加算       | R6. 6. 1   |
| せん妄ハイリスク患者ケア加算   | R4. 11. 1  |
| 精神疾患診療体制加算       | H28. 4. 1  |
| 精神科急性期医師配置加算     | R2. 4. 1   |
| 排尿自立支援加算         | R2. 9. 1   |
| 地域医療体制確保加算       | R4. 8. 1   |
| 地域歯科診療支援病院入院加算   | H20. 4. 1  |
| 救命救急入院料 3        | R4. 8. 1   |
| 救命救急入院料 4        | R5. 1. 1   |
| 特定集中治療室管理料 2     | R4. 12. 1  |
| 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 | R6. 7. 1   |
| 新生児特定集中治療室管理料 1  | H26. 8. 1  |
| 新生児治療回復室入院医療管理料  | H26. 5. 1  |
| 小児入院医療管理料 2      | R4. 4. 1   |

| 診療料 (特掲診療料)                                              | 年月日        |
|----------------------------------------------------------|------------|
| 名称                                                       |            |
| 外来栄養食事指導料の注 2 に規定する基準                                    | R2. 4. 1   |
| 心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に規定する遠隔モニタリング加算                       | R2. 4. 1   |
| 糖尿病合併症管理料                                                | H22. 4. 1  |
| がん性疼痛緩和指導管理料                                             | H22. 4. 1  |
| がん患者指導管理料イ                                               | R4. 7. 1   |
| がん患者指導管理料ロ                                               | H26. 5. 1  |
| がん患者指導管理料ハ                                               | H26. 4. 1  |
| がん患者指導管理料ニ                                               | R2. 4. 1   |
| 外来緩和ケア管理料                                                | H26. 7. 1  |
| 移植後患者指導管理料 (臓器移植後)                                       | H25. 11. 1 |
| 移植後患者指導管理料 (造血幹細胞移植後)                                    | R1. 7. 1   |
| 糖尿病透析予防指導管理料                                             | H24. 4. 1  |
| 婦人科特定疾患治療管理料                                             | R2. 10. 1  |
| 腎代替療法指導管理料                                               | R2. 4. 1   |
| 二次性骨折予防継続管理料 1                                           | R7. 1. 1   |
| 二次性骨折予防継続管理料 3                                           | R7. 1. 1   |
| 下肢創傷処置管理料                                                | R4. 9. 1   |
| 院内トリアージ実施料                                               | H24. 4. 1  |
| 外来放射線照射診療料                                               | H24. 4. 1  |
| 外来腫瘍化学療法診療料 1                                            | R4. 4. 1   |
| 連携充実加算                                                   | R4. 4. 1   |
| 外来腫瘍化学療法診療料の注 9 に規定するがん薬物療法体制充実加算                        | R6. 6. 1   |
| ニコチン依存症管理料                                               | R1. 7. 1   |
| がん治療連携計画策定料                                              | H22. 11. 1 |
| がん治療連携指導料                                                | H29. 4. 1  |
| 外来排尿自立指導料                                                | R2. 9. 1   |
| ハイリスク妊産婦連携指導料 1                                          | H30. 4. 1  |
| ハイリスク妊産婦連携指導料 2                                          | H30. 4. 1  |
| 肝炎インターフェロン治療計画料                                          | H22. 4. 1  |
| こころの連携指導料 (Ⅱ)                                            | R4. 4. 1   |
| 薬剤管理指導料                                                  | H22. 4. 1  |
| 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料                                  | H28. 4. 1  |
| 医療機器安全管理料 1                                              | H20. 4. 1  |
| 医療機器安全管理料 2                                              | H20. 4. 1  |
| 医療機器安全管理料 (歯科)                                           | H20. 4. 1  |
| 精神科退院時共同指導料 1 及び 2                                       | R2. 4. 1   |
| 歯科治療時医療管理料                                               | H18. 4. 1  |
| 在宅患者歯科治療時医療管理料                                           | H22. 4. 1  |
| 救急搬送診療料の注 4 に規定する重症患者搬送加算                                | R4. 4. 1   |
| 救急患者連携搬送料                                                | R6. 10. 1  |
| 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に規定する遠隔モニタリング加算                      | H30. 4. 1  |
| 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料                                          | R2. 10. 1  |
| 持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合) 及び皮下連続式グルコース測定 | H26. 4. 1  |
| 持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)               | R2. 5. 1   |
| 遺伝学的検査の注 1 に規定する施設基準                                     | H28. 4. 1  |
| 骨髓微小残存病変量測定                                              | H30. 6. 1  |
| B R C A 1 / 2 遺伝子検査                                      | R4. 4. 1   |

◆ 各中央診療部門等の業務統計(R06年度)

(R7. 3. 31)

## 〔東海北陸厚生局への届出事項〕

| 診療料（特掲診療料）                                   | 年月日       |
|----------------------------------------------|-----------|
| 名称                                           |           |
| がんゲノムプロファイリング検査                              | R4. 4. 1  |
| 先天性代謝異常症検査                                   | R2. 4. 1  |
| 抗アデノ随伴ウイルス9型（AAV9）抗体                         | R4. 4. 1  |
| 抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）         | H31. 4. 1 |
| HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）                 | H26. 4. 1 |
| ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（SARS-CoV-2核酸）               | R2. 4. 1  |
| ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（髄液）                         | R6. 8. 1  |
| 検体検査管理加算（IV）                                 | H22. 4. 1 |
| 国際標準検査管理加算                                   | H30. 2. 1 |
| 遺伝カウンセリング加算                                  | H20. 4. 1 |
| 遺伝性腫瘍カウンセリング加算                               | R2. 4. 1  |
| 心臓カテテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算                      | H20. 4. 1 |
| 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト                       | H24. 4. 1 |
| 胎児心エコー法                                      | H31. 1. 1 |
| ヘッドアップティルト試験                                 | H24. 4. 1 |
| 人工臓臓検査、人工臓臓療法                                | H30. 2. 1 |
| 長期継続頭蓋内脳波検査                                  | H12. 4. 1 |
| 単線維筋電図                                       | R2. 4. 1  |
| 終夜睡眠ポリグラフィー（安全精度管理下で行うもの）                    | R2. 8. 1  |
| 脳波検査判断料1                                     | H30. 4. 1 |
| 神経学的検査                                       | H20. 4. 1 |
| 補聴器適合検査                                      | H12. 6. 1 |
| ロービジョン検査判断料                                  | H29. 8. 1 |
| コンタクトレンズ検査料1                                 | H28. 6. 1 |
| 小児食物アレルギー負荷検査                                | H18. 4. 1 |
| 内服・点滴誘発試験                                    | H22. 4. 1 |
| 前立腺針生検法（MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの）               | R5. 12. 1 |
| CT透視下気管支鏡検査加算                                | H24. 4. 1 |
| 有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査                        | R2. 5. 1  |
| 精密触覚機能検査                                     | H30. 5. 1 |
| 画像診断管理加算4                                    | R5. 4. 1  |
| 遠隔画像診断                                       | R6. 1. 1  |
| ポジトロン断層撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。）         | H26. 5. 1 |
| ポジトロン断層撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。）         | R6. 6. 1  |
| ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合） | H26. 5. 1 |
| ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合） | R6. 6. 1  |
| CT撮影及びMRI撮影                                  | H27. 1. 1 |
| 冠動脈CT撮影加算                                    | H27. 1. 1 |
| 血流予備量比コンピューター断層撮影                            | R4. 4. 1  |
| 外傷全身CT加算                                     | H27. 1. 1 |
| 心臓MRI撮影加算                                    | H27. 1. 1 |
| 乳房MRI撮影加算                                    | H28. 4. 1 |
| 小児鎮静下MRI撮影加算                                 | H30. 4. 1 |
| 頭部MRI撮影加算                                    | R1. 11. 1 |
| 全身MRI撮影加算                                    | R2. 4. 1  |
| 抗悪性腫瘍処方管理加算                                  | H22. 4. 1 |

| 診療料（特掲診療料）                                     | 年月日        |
|------------------------------------------------|------------|
| 名称                                             |            |
| 外来化学療法加算1                                      | H21. 5. 1  |
| 無菌製剤処理料                                        | H20. 4. 1  |
| 心大血管疾患リハビリテーション料（I）                            | H25. 6. 1  |
| 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）                            | H24. 4. 1  |
| 運動器リハビリテーション料（I）                               | H24. 4. 1  |
| 呼吸器リハビリテーション料（I）                               | H24. 4. 1  |
| がん患者リハビリテーション料                                 | H28. 11. 1 |
| リンパ浮腫複合的治療料                                    | R3. 9. 1   |
| 歯科口腔リハビリテーション料2                                | H26. 4. 1  |
| 経頭蓋磁気刺激療法                                      | R4. 10. 1  |
| 救急患者精神科継続支援料                                   | R6. 10. 1  |
| 精神科作業療法                                        | R7. 3. 1   |
| 抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）         | H26. 4. 1  |
| 医療保護入院等診療料                                     | H17. 9. 1  |
| 静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）                           | R2. 4. 1   |
| 硬膜外自家血注入                                       | H30. 5. 1  |
| 人工腎臓                                           | H30. 4. 1  |
| 導入期加算3及び腎代替療法実績加算                              | R4. 8. 1   |
| 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算                          | R3. 9. 1   |
| 難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレンシ療法 | R4. 11. 1  |
| 移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法                       | R4. 4. 1   |
| ストーマ合併症加算                                      | R6. 6. 1   |
| 手術用顕微鏡加算                                       | H28. 11. 1 |
| 歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算                      | R6. 6. 1   |
| CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー                          | H28. 1. 1  |
| 歯科技工加算1及び2                                     | H22. 4. 1  |
| 皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算                            | H22. 4. 1  |
| 皮膚移植術（死体）                                      | H30. 4. 1  |
| 自家脂肪注入                                         | R4. 4. 1   |
| 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）                  | H25. 8. 19 |
| 四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算            | R6. 11. 1  |
| 骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法                     | R6. 7. 1   |
| 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。）））  | H28. 4. 1  |
| 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）                 | H26. 3. 3  |
| 人工股関節置換術（手術支援装置を用いるもの）                         | R6. 6. 1   |
| 後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）                           | H30. 4. 1  |
| 椎間板内酵素注入療法                                     | R2. 4. 1   |
| 腫瘍脊椎骨全摘術                                       | H24. 4. 1  |
| 緊急穿頭血腫除去術                                      | R6. 6. 1   |
| 内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術                         | R4. 4. 1   |
| 脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術                             | H12. 4. 1  |
| 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術                           | H12. 4. 1  |
| 癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）                    | R4. 4. 1   |
| 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便失禁）                  | R5. 4. 1   |
| 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱）                | H30. 4. 1  |
| 角結膜悪性腫瘍切除術                                     | R4. 4. 1   |

◆ 各中央診療部門等の業務統計 (R06年度)

(R7. 3. 31)

## 【東海北陸厚生局への届出事項】

| 診 療 料 (特掲診療料)                                                                  | 年月日        |
|--------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 名 称                                                                            |            |
| 緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))                                            | H26. 4. 1  |
| 緑内障手術 (緑内障手術 (流出路再建術 (眼内法) 及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))                               | R4. 4. 1   |
| 緑内障手術 (濾過胞再建術 (needle法))                                                       | R4. 4. 1   |
| 網膜再建術                                                                          | R1. 10. 1  |
| 経外耳道の内視鏡下鼓室形成術                                                                 | R4. 8. 1   |
| 植込型骨導補聴器 (直接振動型) 植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術                          | H26. 3. 3  |
| 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型 (拡大副鼻腔手術) 及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 (頭蓋底郭清、再建を伴うもの)                     | H26. 4. 1  |
| 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)                                                    | R2. 8. 1   |
| 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合) | R6. 7. 1   |
| 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術                                                                    | R2. 8. 1   |
| 上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)                            | H24. 4. 1  |
| 内視鏡下甲状腺部分切除、腫瘍摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘 (亜全摘) 術 (両葉)、内視鏡下副甲状腺 (上皮小体) 腫瘍摘出術             | R2. 8. 1   |
| 内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術                                                                  | R4. 6. 1   |
| 頭頸部悪性腫瘍光線力学療法                                                                  | R4. 4. 1   |
| 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)                                            | H22. 4. 1  |
| 乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)                                            | H22. 4. 1  |
| ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)                                                      | H25. 8. 19 |
| 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                 | R2. 4. 1   |
| 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                | H30. 4. 1  |
| 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                | H30. 4. 1  |
| 胸腔鏡下肺切除術 (区域切除及び肺葉切除術又は 1 肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                           | R6. 6. 1   |
| 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                            | R1. 6. 1   |
| 肺悪性腫瘍手術 (壁側・臓側胸膜全切除 (横隔膜、心膜合併切除を伴うもの) に限る。)                                    | H28. 5. 1  |
| 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は 1 肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                               | R1. 6. 1   |
| 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)                                                      | R4. 4. 1   |
| 内視鏡下筋層切開術                                                                      | R2. 10. 1  |
| 食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、等                  | R3. 4. 1   |
| 経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)                                                       | R2. 4. 1   |
| 胸腔鏡下弁形成術                                                                       | H30. 4. 1  |
| 胸腔鏡下弁置換術                                                                       | H30. 4. 1  |
| 経カテーテル弁置換術 (経心尖大動脈弁置換術及び経皮的太動脈弁置換術)                                            | H29. 6. 1  |
| 経皮的僧帽弁クリップ術                                                                    | R5. 4. 1   |
| 不整脈手術左心耳閉鎖術 (胸腔鏡下によるもの)                                                        | R4. 7. 1   |
| 経皮的中等心筋焼灼術                                                                     | H20. 12. 1 |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術                                                         | H10. 4. 1  |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)                                          | H30. 4. 1  |
| 両心室ペースメーカー移植術 (経静脈電極の場合) 及び両心室ペースメーカー交換術 (経静脈電極の場合)                            | H19. 1. 1  |
| 植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術 (その他のもの) 及び経静脈電極抜去術       | H15. 2. 1  |
| 両室ベージング機能付き植込型除細動器移植術 (経静脈電極の場合) 及び両室ベージング機能付き植込型除細動器交換術 (経静脈電極の場合)            | H20. 4. 1  |
| 大動脈バルーンパンピング法 (I A B P 法)                                                      | H10. 4. 1  |
| 経皮的循環補助法 (ポンプカテーテルを用いたもの)                                                      | H31. 2. 1  |
| 補助人工心臓                                                                         | H29. 6. 1  |
| 経皮的下肢動脈形成術                                                                     | R2. 4. 1   |
| 腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (側方)                                                              | R4. 4. 1   |
| 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等                                           | H20. 7. 1  |
| 腹腔鏡下十二指腸局所切除術 (内視鏡処置を併施するもの)                                                   | R2. 4. 1   |
| 腹腔鏡下胃切除術 (単純切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)) 及び腹腔鏡下胃切除術 (悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの))     | H31. 1. 1  |

| 診 療 料 (特掲診療料)                                                                    | 年月日       |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 名 称                                                                              |           |
| 腹腔鏡下噴門側胃切除術 (単純切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)) 及び腹腔鏡下噴門側胃切除術 (悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)) | H31. 1. 1 |
| 腹腔鏡下胃全摘術 (単純全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)) 及び腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの))       | H31. 1. 1 |
| 腹腔鏡下胃縮小術                                                                         | H30. 3. 1 |
| バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術                                                                | H30. 4. 1 |
| 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術 (胆嚢床切除を伴うもの)                                                        | R4. 4. 1  |
| 胆管悪性腫瘍手術 (膵頭十二指腸切除及び肝切除 (葉以上) を伴うものに限る。)                                         | H28. 4. 1 |
| 腹腔鏡下肝切除術                                                                         | H22. 4. 1 |
| 腹腔鏡下肝切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                      | R6. 4. 1  |
| 生体部分肝移植術                                                                         | H15. 2. 1 |
| 腹腔鏡下膀胱腫瘍摘出術                                                                      | R2. 4. 1  |
| 腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術                                                                   | H24. 4. 1 |
| 腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                | R4. 11. 1 |
| 腹腔鏡下膀胱頭部腫瘍切除術                                                                    | R2. 3. 1  |
| 腹腔鏡下膀胱頭部腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                 | R4. 11. 1 |
| 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術                                                                  | H24. 4. 1 |
| 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                 | R5. 9. 1  |
| 腹腔鏡下直腸切除・切断術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                  | R3. 2. 1  |
| 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術                                                                   | H2. 1. 1  |
| 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの) 及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)                 | H28. 4. 1 |
| 腹腔鏡下腎盂形成手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                    | R3. 2. 1  |
| 同種死体腎移植術                                                                         | H29. 9. 1 |
| 生体腎移植術                                                                           | H24. 6. 1 |
| 膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術 (経尿道)                                                      | H22. 4. 1 |
| 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                  | H30. 4. 1 |
| 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術                                                                     | R2. 1. 1  |
| 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術                                                                  | R2. 1. 1  |
| 人工尿道括約筋植込・置換術                                                                    | H25. 7. 1 |
| 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)                                                 | H24. 5. 1 |
| 腹腔鏡下仙骨腫固定術                                                                       | R2. 11. 1 |
| 腹腔鏡下仙骨腫固定術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                    | R2. 11. 1 |
| 腹腔鏡下腔式子宮全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                                   | R5. 2. 1  |
| 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                                         | R6. 5. 1  |
| 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がんに限る。)                                                         | H26. 4. 1 |
| 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮頸がんに限る。)                                                         | H30. 4. 1 |
| 腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術                                                                     | R4. 4. 1  |
| 体外式膜型人工肺管理料                                                                      | R4. 4. 1  |
| 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術                                                 | H26. 4. 1 |
| 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)                    | R4. 4. 1  |
| 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術)                   | R4. 4. 1  |
| 再製造単回使用医療機器使用加算                                                                  | R6. 12. 1 |
| 輸血管理料 I                                                                          | H26. 5. 1 |
| 輸血適正使用加算                                                                         | R5. 3. 1  |
| コーディネート体制充実加算                                                                    | R3. 10. 1 |
| 自己生体組織接着剤作成術                                                                     | R5. 4. 1  |
| 同種クリオプレシビート作製術                                                                   | R2. 4. 1  |
| 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算                                                                | H24. 4. 1 |
| 胃瘻造設時嚥下機能評価加算                                                                    | H26. 4. 1 |



◆ 各中央診療部門等の業務統計(R06年度(R7. 3. 31))

〔東海北陸厚生局への届出事項〕

| 診療料(特掲診療料)          | 年月日        |
|---------------------|------------|
| 名称                  |            |
| 歯周組織再生誘導手術          | H20. 4. 1  |
| 広範囲顎骨支持型装置埋入手術      | H24. 5. 1  |
| 歯根端切除手術の注3          | H28. 11. 1 |
| 麻酔管理料(Ⅰ)            | H8. 4. 1   |
| 麻酔管理料(Ⅱ)            | R2. 4. 1   |
| 放射線治療専任加算           | H14. 4. 1  |
| 外来放射線治療加算           | H20. 4. 1  |
| 高エネルギー放射線治療         | H14. 4. 1  |
| 一回線量増加加算            | H30. 4. 1  |
| 強度変調放射線治療(ⅠMRT)     | H27. 4. 1  |
| 画像誘導放射線治療(ⅠGRT)     | H30. 10. 1 |
| 体外照射呼吸性移動対策加算       | H26. 11. 1 |
| 定位放射線治療             | H26. 11. 1 |
| 定位放射線治療呼吸性移動対策加算    | H26. 12. 1 |
| 保険医療機関間の連携による病理診断   | H29. 12. 1 |
| 病理診断管理加算1           | H26. 7. 1  |
| 病理診断管理加算2           | H28. 6. 1  |
| 悪性腫瘍病理組織標本加算        | H30. 6. 1  |
| 口腔病理診断管理加算2         | H29. 9. 1  |
| クラウン・ブリッジ維持管理料      | H8. 5. 1   |
| 看護職員処遇改善評価料60       | R6. 7. 1   |
| 外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)   | R6. 6. 1   |
| 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ) | R6. 6. 1   |
| 入院ベースアップ評価料62       | R6. 10. 1  |

◆ 特掲診療料の施設基準(通則5及び6)に掲げる手術の実施件数(R6.1.1～R6.12.31) (単位:件)

| 手術名                                  | 実施件数(年間) |
|--------------------------------------|----------|
| 頭蓋内腫瘍摘出術等                            | 132      |
| 黄班下手術等                               | 617      |
| 鼓室形成手術等                              | 80       |
| 肺悪性腫瘍手術等                             | 191      |
| 経皮的カテーテル心筋焼灼術                        | 239      |
| 靱帯断裂形成術等                             | 68       |
| 水頭症手術等                               | 157      |
| 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等                          | 104      |
| 尿道形成手術等                              | 9        |
| 角膜移植術                                | 0        |
| 肝切除術等                                | 93       |
| 子宮附属器悪性腫瘍手術等                         | 18       |
| 上顎骨形成術等                              | 34       |
| 上顎骨悪性腫瘍手術等                           | 22       |
| バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(全葉)                  | 11       |
| 母指化手術等                               | 2        |
| 内反足手術等                               | 0        |
| 食道切除再建術等                             | 9        |
| 同種腎移植術等                              | 44       |
| 胸腔鏡を用いる手術および腹腔鏡を用いる手術                | 1186     |
| 人工関節置換術                              | 163      |
| 乳児外科施設基準対象手術                         | 2        |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術               | 107      |
| 冠動脈, 大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む)     | 173      |
| 経皮的冠動脈形成術, 経皮的冠動脈粥腫切除及び経皮的冠動脈ステント留置術 | 267      |

# (17) 高度救命救急センター

## ◆ 救急車搬送件数

(単位：件)

| 年 度    | 件 数   | 1 日平均 |
|--------|-------|-------|
| R 02年度 | 5,784 | 15.8  |
| R 03年度 | 5,695 | 15.6  |
| R 04年度 | 6,641 | 18.2  |
| R 05年度 | 7,277 | 19.9  |
| R 06年度 | 8,778 | 24.0  |

## ◆ 患者数

(単位：人)

| 年 度    | 区 分   | 実患者数  | 延患者数   | 1 日平均 |
|--------|-------|-------|--------|-------|
| R 02年度 | I C U | 867   | 3,787  | 10.4  |
|        | H C U | 1,724 | 5,548  | 15.2  |
|        | 計     | 3,516 | 12,111 | 33.1  |
| R 03年度 | I C U | 992   | 3,987  | 10.9  |
|        | H C U | 1,962 | 6,718  | 18.4  |
|        | 計     | 2,954 | 10,705 | 29.3  |
| R 04年度 | I C U | 1,106 | 3,706  | 10.2  |
|        | H C U | 2,250 | 7,182  | 19.7  |
|        | 計     | 3,356 | 10,888 | 29.9  |
| R 05年度 | I C U | 1,053 | 3,551  | 9.7   |
|        | H C U | 2,007 | 7,163  | 19.6  |
|        | 計     | 3,060 | 10,714 | 29.3  |
| R 06年度 | I C U | 1,134 | 4,252  | 11.6  |
|        | H C U | 2,381 | 7,733  | 21.2  |
|        | 計     | 3,515 | 11,985 | 32.8  |

## ◆ 疾患別収容患者数

(単位：人)

| 循環器疾患 | 脳血管障害 | 呼吸器疾患 | 腹部疾患 | 熱疾 | 傷患 | 左記以外呼吸管理 | その他  | 計     |
|-------|-------|-------|------|----|----|----------|------|-------|
| 340   | 139   | 92    | 83   | 11 |    | 4        | 198  | 867   |
| 196   | 162   | 558   | 218  | 11 |    | 19       | 560  | 1,724 |
| 536   | 301   | 650   | 301  | 22 |    | 23       | 758  | 2,591 |
| 432   | 123   | 111   | 64   | 18 |    | 1        | 236  | 985   |
| 200   | 156   | 613   | 206  | 8  |    | 13       | 757  | 1,953 |
| 632   | 279   | 724   | 270  | 26 |    | 14       | 993  | 2,938 |
| 586   | 109   | 60    | 88   | 15 |    | 2        | 238  | 1,098 |
| 167   | 127   | 565   | 215  | 5  |    | 37       | 1119 | 2,235 |
| 753   | 236   | 625   | 303  | 20 |    | 39       | 1357 | 3,333 |
| 489   | 117   | 65    | 122  | 18 |    | 8        | 224  | 1,043 |
| 274   | 143   | 479   | 158  | 7  |    | 18       | 922  | 2,001 |
| 763   | 260   | 544   | 280  | 25 |    | 26       | 1146 | 3,044 |
| 526   | 121   | 59    | 118  | 21 |    | 3        | 279  | 1,127 |
| 331   | 321   | 392   | 272  | 32 |    | 13       | 1007 | 2,368 |
| 857   | 442   | 451   | 390  | 53 |    | 16       | 1286 | 3,495 |

## ◆ ドクターヘリ出動種類別実績(ドクターヘリ事業は平成14年1月1日から開始)

| 年 度    | 総出動要請数<br>(件) | 救急現場<br>(件) | 病院間転送<br>(件) | キャンセル<br>(件) | 当院搬送数<br>(件) | 当院搬送割合<br>(%) |
|--------|---------------|-------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| R 02年度 | 367           | 248         | 28           | 91           | 108          | 39.1          |
| R 03年度 | 398           | 290         | 31           | 77           | 125          | 38.9          |
| R 04年度 | 359           | 255         | 27           | 77           | 90           | 31.9          |
| R 05年度 | 360           | 248         | 40           | 72           | 99           | 34.4          |
| R 06年度 | 362           | 272         | 22           | 68           | 132          | 44.8          |

病院間転送・・・本院から他院への患者搬送，他院から本院又は他院への患者搬送

キャンセル・・・出動命令後の要請取消

当院搬送割合・・・当院搬送数／救急現場＋病院間転送

(18) 大学病院病床数・患者数等

◆ 病床数

(単位：床)

| 年 度    | 一 般 | 精 神 | 計   | 稼働病床数 |
|--------|-----|-----|-----|-------|
| R 02年度 | 853 | 47  | 900 | 832   |
| R 03年度 | 853 | 47  | 900 | 832   |
| R 04年度 | 853 | 47  | 900 | 832   |
| R 05年度 | 853 | 47  | 900 | 832   |
| R 06年度 | 853 | 47  | 900 | 871   |

◆ 外来患者数

| 年 度    | 新患者数<br>(人) | 延患者数<br>(人) | 1 日平均<br>(人) | 診療実日数<br>(日) |
|--------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| R 02年度 | 12, 232     | 599, 017    | 2, 415. 4    | 248          |
| R 03年度 | 12, 788     | 638, 492    | 2, 574. 6    | 248          |
| R 04年度 | 12, 747     | 651, 606    | 2, 627. 4    | 248          |
| R 05年度 | 12, 664     | 647, 759    | 2, 601. 4    | 249          |
| R 06年度 | 12, 484     | 665, 820    | 2, 621. 3    | 254          |

◆ 入院患者数

| 年 度    | 延患者数<br>(人) | 1 日平均<br>(人) | 診療実日数<br>(日) | 新入院患者数<br>(人) | 退院患者数<br>(人) | 平均在院日数<br>※ (日) | 病床利用率<br>(%) |
|--------|-------------|--------------|--------------|---------------|--------------|-----------------|--------------|
| R 02年度 | 247, 403    | 677. 8       | 365          | 22, 211       | 22, 181      | 10. 1           | 81. 5        |
| R 03年度 | 259, 543    | 711. 1       | 365          | 23, 516       | 23, 538      | 10. 0           | 85. 5        |
| R 04年度 | 256, 272    | 702. 1       | 365          | 23, 849       | 23, 852      | 9. 7            | 84. 4        |
| R 05年度 | 270, 154    | 738. 1       | 366          | 25, 176       | 25, 218      | 9. 7            | 88. 7        |
| R 06年度 | 294, 618    | 807. 2       | 365          | 27, 298       | 27, 167      | 9. 8            | 91. 6        |

(延患者数－退院患者数)

※ 平均在院日数 =  $\frac{\text{延患者数} - \text{退院患者数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})}$

◆ 地域医療連携関係 (R06年度)

| 区 分       | 紹介患者数   | 事前紹介予約受付数 |
|-----------|---------|-----------|
| 延 数 (人)   | 33, 794 | 25, 152   |
| 1 日平均 (人) | 133. 0  | 99. 0     |

(R7. 3. 31現)

| 登録医施設数 | 登録医数<br>(人) |
|--------|-------------|
| 1, 634 | 1, 830      |

# (19) 大学病院分析指標(主要比率)

## ◆ 職員数等

(単位：人)

| 年 度    | 100床当たりの<br>職員数 | 100床当たりの<br>医師数 | 100床当たりの<br>看護師数 |
|--------|-----------------|-----------------|------------------|
| R 02年度 | 237.7           | 60.8            | 121.5            |
| R 03年度 | 243.5           | 60.5            | 126.1            |
| R 04年度 | 242.5           | 58.4            | 112.7            |
| R 05年度 | 242.2           | 58.8            | 106.1            |
| R 06年度 | 239.8           | 55.5            | 101.1            |

※ 100床当たりの収入等の算出基礎となる病床数は稼働病床数とした。

(単位：人)

| 年 度    | 患者100人当たりの<br>職員数 | 患者100人当たりの<br>医師数 | 患者100人当たりの<br>看護師数 |
|--------|-------------------|-------------------|--------------------|
| R 02年度 | 133.4             | 34.1              | 68.2               |
| R 03年度 | 129.1             | 32.1              | 66.8               |
| R 04年度 | 127.9             | 30.8              | 59.4               |
| R 05年度 | 125.5             | 30.5              | 55.0               |
| R 06年度 | 130.1             | 30.1              | 54.9               |

## ◆ 収 入

(単位：千円)

| 年 度    | 入院収入       | 外来収入       |
|--------|------------|------------|
| R 02年度 | 20,108,341 | 15,073,421 |
| R 03年度 | 22,035,306 | 16,401,216 |
| R 04年度 | 21,464,436 | 17,475,591 |
| R 05年度 | 22,747,488 | 17,862,139 |
| R 06年度 | 25,604,402 | 18,478,494 |

注) 室料差額収入は含まれていない。

(単位：千円)

| 年 度    | 100床当たりの<br>医療収入 | 職員1人当たりの<br>年間収入 | 医師1人当たりの<br>年間収入 |
|--------|------------------|------------------|------------------|
| R 02年度 | 4,228,577        | 17,787           | 69,529           |
| R 03年度 | 4,619,774        | 18,972           | 76,415           |
| R 04年度 | 4,680,292        | 19,296           | 80,124           |
| R 05年度 | 4,880,965        | 20,154           | 83,046           |
| R 06年度 | 5,298,425        | 21,877           | 90,149           |

※ 100床当たりの収入等の算出基礎となる病床数は稼働病床数とした。

※ 100床当たりの医療収入の算出は外来収入も含めた金額とした。

## (20) 愛知医科大学メディカルセンター概要

### ◆ 特 徴

令和3年4月1日、岡崎市北部に愛知医科大学にとって初めての分院としてメディカルセンターを開設。岡崎市、豊田市をはじめとする周辺の医療機関とともに、急性期治療後の早期から慢性期に至るまでの幅広い患者を対象とし、大学分院ならではの質の高い医療を提供している。また、当院の病床機能（急性期・回復期・慢性期）をはじめ、腎臓病センター、訪問看護ステーション及び通所リハビリテーション等多くの機能を持つ地域密着型病院としての役割を担っている。

今年度は、近隣施設と連携強化を図り、病院間においては転院調整等スムーズに行うためのシステムの運用を開始し、高齢者施設等においては施設内で対応可能な医療行為を超えた場合に協力を行うための連携協定を結んだ。また、金曜午後の皮膚科外来を始め診療体制の充実も図り、より多くの患者様のニーズに応えるべく地域多機能病院としての整備を進めてきた。今後、二次救急医療の実績向上、本院との連携パスによるシームレスな体制構築等連携を強化し、より一層地域の信頼に応える中核病院を目指していく。また、次世代の医療人を育てる地域の教育施設としての機能も充実させていく。

### ◆ 理 念

地域を守り共に生きる中核病院として、患者本位の医療を目指します。

- ・ 社会の信頼に応えうる医療機関
- ・ 人間性豊かな医療人を育成できる教育機関

### ◆ 基本方針

1. 継続性を重視した医療の提供
2. 治し支える医療の実践
3. 医療、介護、福祉へのつなぐ医療の実践
4. 信頼関係を大切に安全で良質な医療の提供
5. 豊かな人間性と優れた医療技術を持った医療人の育成
6. 地域の医療機関と連携し、地域の医療・福祉の向上に貢献

### ◆ 許可病床数

|        |      |
|--------|------|
| 一 般    | 90床  |
| 療 養    | 180床 |
| 透析用ベッド | 20床  |

### ◆ 診療科

|     |     |
|-----|-----|
| 診療科 | 19科 |
|-----|-----|

### ◆ 職員数

| 区 分  |         | 職員数 |
|------|---------|-----|
| 医師   |         | 26  |
| 看護職員 | 看護師     | 127 |
|      | 准看護師    | 2   |
| 医療職員 | 薬剤師     | 7   |
|      | 臨床検査技師  | 5   |
|      | 診療放射線技師 | 10  |
|      | 理学療法士   | 63  |
|      | 作業療法士   | 16  |
|      | 言語聴覚士   | 7   |
|      | 栄養士     | 3   |

(単位：人)

| 区 分   |         | 職員数 |
|-------|---------|-----|
| 医療職員  | 視能訓練士   | 0   |
|       | 臨床工学技士  | 7   |
|       | 臨床心理士   | 0   |
|       | 精神保健福祉士 | 0   |
|       | 社会福祉士   | 6   |
| 事務職員  | 事務職員    | 35  |
| 業務職員  | 看護補助員   | 19  |
|       | 技術補助員   | 2   |
| その他   |         | 1   |
| 合 計   |         | 336 |
| 臨床研修医 |         | 0   |

## (21) 愛知医科大学メディカルセンター業務統計

## ◆ 各中央診療部門等の業務統計 (R06年度)

(R7. 3. 31)

(単位：件)

| 業 務 名         |                            | 件 数    | 計      |
|---------------|----------------------------|--------|--------|
| 手術件数          |                            | 448    | 448    |
| 放射線取扱件数       | 診断                         | 20,450 | 20,450 |
| 調剤件数          |                            | 24,339 | 24,339 |
| 注射薬処方件数       |                            | 19,299 | 19,299 |
| 院外処方件数        |                            | 28,649 | 28,649 |
| 病理検査件数        | 病理組織検査                     | 0      | 348    |
|               | 術中組織検査                     | 0      |        |
|               | 病理診断(全て外注委託)               | 253    |        |
|               | 細胞診断(全て外注委託)               | 95     |        |
| 輸血業務          | 輸血検査(全て外注委託)               | 1,424  | 1,758  |
|               | 同種血輸血(単位)                  | 274    |        |
|               | 自己血輸血(単位)                  | 60     |        |
|               | 細胞採取(回)                    | 0      |        |
|               | 活性化自己リンパ球輸入療法(回)           | 0      |        |
| 臨床検査件数        | 微生物学的検査(一般細菌、抗酸菌)          | 1,883  | 78,805 |
|               | 免疫血清学的検査(Dimentoin甲状腺、BNP) | 3,684  |        |
|               | 血液学的検査(CBC)                | 15,466 |        |
|               | 生理機能検査                     | 5,172  |        |
|               | 一般検査(尿定性)                  | 5,179  |        |
|               | 遺伝子検査(COVID19、PCR検査)       | 222    |        |
|               | 生化学的検査                     | 21,752 |        |
|               | 緊急検査                       | 0      |        |
|               | 外注検査                       | 25,447 |        |
| リハビリテーション患者延数 | 外来患者(人)                    | 13,533 | 81,494 |
|               | 入院患者(人)                    | 67,961 |        |
| 腎センター患者延数     | 外来患者(人)                    | 1,601  | 5,954  |
|               | 入院患者(人)                    | 4,353  |        |
| 内視鏡センター検査件数   | 上部消化管内視鏡                   | 215    | 291    |
|               | 下部消化管内視鏡                   | 76     |        |

## 〔法令による医療機関の指定〕

| 法令等の名称               |      | 年月日       |
|----------------------|------|-----------|
| 医療法第7条第1項による開設許可(承認) |      | R3. 4. 1  |
| 労働者災害補償保険法による医療機関    |      | R3. 4. 1  |
| 生活保護法による医療機関         |      | R3. 4. 1  |
| 結核指定医療機関             |      | R3. 4. 1  |
| 障害者自立<br>支援法         | 育成医療 | R3. 6. 1  |
|                      | 更生医療 | R3. 6. 1  |
| 難病法第14条第1項に基づく指定医療機関 |      | R3. 4. 1  |
| 指定小児慢性特定疾病医療機関       |      | R3. 4. 1  |
| 愛知県B型・C型肝炎患者医療給付事業   |      | R3. 10. 1 |
| 救急病院の指定              |      | R3. 4. 1  |

## 〔東海北陸厚生局への届出事項〕

| 診療料(基本診療料)              | 年月日       |
|-------------------------|-----------|
| 名 称                     |           |
| 初診料 注16 医療DX推進体制整備加算 1  | R7. 3. 1  |
| 一般病棟入院基本料 急性期一般入院料 5    | R7. 2. 1  |
| 療養病棟入院基本料 1             | R3. 4. 1  |
| 注13 看護補助体制充実加算 3        | R6. 6. 1  |
| 救急医療管理加算                | R3. 8. 1  |
| 診療録管理体制加算 3             | R6. 6. 1  |
| 医師事務作業補助体制加算 2          | R7. 1. 1  |
| 急性期看護補助体制加算             | R6. 12. 1 |
| 注4 看護補助体制充実加算 1         | R6. 7. 1  |
| 療養環境加算                  | R3. 4. 1  |
| 療養病棟療養環境加算 1            | R3. 4. 1  |
| 医療安全対策加算 2              | R3. 4. 1  |
| 医療安全対策地域連携加算 2          | R3. 4. 1  |
| 感染対策向上加算 3              | R4. 4. 1  |
| 連携強化加算                  | R4. 4. 1  |
| サーベイランス強化加算             | R6. 10. 1 |
| 後発医薬品使用体制加算 1           | R4. 8. 1  |
| データ提出加算 1 データ提出加算 3 (イ) | R3. 4. 1  |
| 入退院支援加算 1               | R6. 3. 1  |
| 認知症ケア加算 2               | R6. 9. 1  |
| せん妄ハイリスク患者ケア加算          | R3. 4. 1  |
| 精神疾患診療体制加算              | R3. 4. 1  |
| 回復期リハビリテーション病棟入院料 1     | R5. 7. 1  |
| 心臓ペースメーカー指導管理料          | R6. 1. 1  |

|                        |           |
|------------------------|-----------|
| 注5 遠隔モニタリング加算          | R6. 1. 1  |
| がん患者指導管理料イ             | R5. 4. 1  |
| がん患者指導管理料ロ             | R5. 4. 1  |
| 二次性骨折予防継続管理料 1         | R4. 4. 1  |
| 二次性骨折予防継続管理料 2         | R4. 4. 1  |
| 二次性骨折予防継続管理料 3         | R4. 4. 1  |
| 院内トリアージ実施料             | R6. 6. 1  |
| 夜間休日救急搬送医学管理料          | R5. 4. 1  |
| 注3 救急搬送看護体制加算 2        | R5. 4. 1  |
| ニコチン依存症管理料             | R3. 4. 1  |
| がん治療連携指導料              | R3. 4. 1  |
| 薬剤管理指導料                | R3. 4. 1  |
| 医療機器安全管理料 1            | R3. 4. 1  |
| 検体検査管理加算 (I)           | R4. 8. 1  |
| 検体検査管理加算 (II)          | R4. 9. 1  |
| ヘッドアップティルト試験           | R3. 4. 1  |
| 遠隔画像診断                 | R6. 1. 1  |
| CT撮影及びMR I 撮影          | R3. 4. 1  |
| 外来化学療法加算 2             | R3. 4. 1  |
| 無菌製剤処理料                | R5. 4. 1  |
| 心大血管疾患リハビリテーション料 (I)   | R4. 4. 1  |
| 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)   | R3. 4. 1  |
| 運動器リハビリテーション料 (I)      | R3. 4. 1  |
| 呼吸器リハビリテーション料 (I)      | R3. 4. 1  |
| 人工腎臓                   | R3. 4. 1  |
| 導入期加算 1                | R5. 4. 1  |
| 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算  | R3. 4. 1  |
| 下肢末梢動脈疾患指導管理加算         | R3. 4. 1  |
| 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術   | R4. 5. 1  |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 | R3. 4. 1  |
| 胃瘻造設術                  | R3. 4. 1  |
| 胃瘻造設時嚥下機能評価加算          | R3. 4. 1  |
| 入院時食事療養 I              | R3. 4. 1  |
| 看護職員処遇改善評価料 3 1        | R6. 4. 1  |
| 外来・在宅ベースアップ評価料 (I)     | R6. 6. 1  |
| 入院ベースアップ評価料 4 5        | R6. 10. 1 |



◆ 特掲診療料の施設基準(通則5及び6)に掲げる手術の実施件数(R6. 4. 1～R7. 3. 31) (単位：件)

| 手 術 名                  | 実施件数(年間) |
|------------------------|----------|
| 靱帯断裂形成術等               | 0        |
| 人工関節置換術                | 44       |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 | 0        |

(22) 愛知医科大学メディカルセンター病床数・患者数等

◆ 病床数

(単位：床)

| 年 度   | 一 般 | 療 養 | 計   | 稼働病床数 |
|-------|-----|-----|-----|-------|
| 令和3年度 | 90  | 180 | 270 | 190   |
| 令和4年度 | 90  | 180 | 270 | 230   |
| 令和5年度 | 90  | 180 | 270 | 230   |
| 令和6年度 | 90  | 180 | 270 | 230   |

◆ 外来患者数

| 年 度   | 新患者数<br>(人) | 延患者数<br>(人) | 1 日平均<br>(人) | 診療実日数<br>(日) |
|-------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 令和3年度 | 5,072       | 37,043      | 123.9        | 299          |
| 令和4年度 | 6,316       | 45,749      | 152.0        | 301          |
| 令和5年度 | 6,996       | 49,987      | 136.6        | 366          |
| 令和6年度 | 6,981       | 54,939      | 150.5        | 365          |

※初診料・再診料を算定する患者数を計上

◆ 入院患者数

| 年 度   | 延患者数<br>(人) | 1 日平均<br>(人) | 診療実日数<br>(日) | 新入院患者数<br>(人) | 退院患者数<br>(人) | 平均在院日数<br>※<br>(日) | 病床利用率<br>(%) |
|-------|-------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------------|--------------|
| 令和3年度 | 42,434      | 116.3        | 365          | 725           | 693          | 58.9               | 61.2         |
| 令和4年度 | 50,706      | 138.9        | 365          | 787           | 761          | 64.5               | 60.4         |
| 令和5年度 | 62,555      | 170.9        | 366          | 1,186         | 1,169        | 52.1               | 74.3         |
| 令和6年度 | 72,823      | 199.5        | 365          | 1,417         | 1,402        | 51.7               | 86.7         |

(延患者数－退院患者数)

※ 平均在院日数 =  $\frac{1}{2}(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})$

### (23) 愛知医科大学メディカルセンター分析指標(主要比率)

#### ◆ 職員数等

(単位：人)

| 年 度   | 100床当たりの<br>職員数 | 100床当たりの<br>医師数 | 100床当たりの<br>看護師数 |
|-------|-----------------|-----------------|------------------|
| 令和3年度 | 143.2           | 6.8             | 51.6             |
| 令和4年度 | 124.8           | 8.3             | 48.7             |
| 令和5年度 | 137.4           | 10.9            | 53.5             |
| 令和6年度 | 146.1           | 11.3            | 56.1             |

※ 100床当たりの収入等の算出基礎となる病床数は稼働病床数とした。

(単位：人)

| 年 度   | 患者100人当たりの<br>職員数 | 患者100人当たりの<br>医師数 | 患者100人当たりの<br>看護師数 |
|-------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 令和3年度 | 109.9             | 5.3               | 39.6               |
| 令和4年度 | 98.7              | 6.5               | 38.5               |
| 令和5年度 | 102.8             | 8.1               | 40.0               |
| 令和6年度 | 96.0              | 7.4               | 36.9               |

#### ◆ 収 入

(単位：千円)

| 年 度   | 入院収入      | 外来収入    |
|-------|-----------|---------|
| 令和3年度 | 1,559,946 | 644,704 |
| 令和4年度 | 1,788,975 | 554,940 |
| 令和5年度 | 2,226,455 | 486,657 |
| 令和6年度 | 2,681,930 | 560,126 |

注) 室料差額収入は含まれていない。

(単位：千円)

| 年 度   | 通所リハビリ | 訪問看護   |
|-------|--------|--------|
| 令和3年度 | 10,172 | 56,525 |
| 令和4年度 | 12,226 | 51,224 |
| 令和5年度 | 11,192 | 42,988 |
| 令和6年度 | 11,259 | 34,438 |

※外来収入に通所リハビリと訪問看護は含まれていない。

(単位：千円)

| 年 度   | 100床当たりの<br>医療収入 | 職員1人当たりの<br>年間収入 | 医師1人当たりの<br>年間収入 |
|-------|------------------|------------------|------------------|
| 令和3年度 | 1,160,342        | 8,105            | 169,588          |
| 令和4年度 | 1,019,093        | 8,167            | 123,364          |
| 令和5年度 | 1,179,614        | 8,586            | 108,524          |
| 令和6年度 | 1,409,590        | 9,649            | 124,694          |

※ 100床当たりの収入等の算出基礎となる病床数は稼働病床数とした。

※ 収入に通所リハビリと訪問看護は含まれていない。

## (24) 眼科クリニックMiRAI 概要

### ◆ 特 徴

#### (1) 大学病院と同等以上の設備

当クリニックでは、日帰り手術、診断機器ともに、大学病院と同等以上の最先端の診療機器を備え、安全、安心な眼科日帰り手術、外来診療を実現します。一例を挙げると、網膜・緑内障診断に不可欠な最新の画像診断機器、前眼部画像診断、ヘッドマウント型視野検査、手術機械と連動する白内障術前検査機器、3次元手術システム、緑内障の低侵襲レーザー治療機器などを完備しています。

#### (2) 日本を代表する各分野の専門医

当クリニックの手術、診療を担当するのは、経験豊富な愛知医科大学眼科の専門医です。網膜（瓶井資弘主任教授）、緑内障（三木篤也クリニック長）各専門クリニックの責任者はいずれも国内、海外学会で指導的立場にあり、多数の教育講演や教科書、論文の執筆等を通して日本の眼科医療を引っ張ってきたエキスパートです。他の診療担当医もすべて、これら責任者の指導の下、高い技術を身につけた愛知医科大学眼科のエキスパートです。

#### (3) 最先端医療の開発・導入

当クリニックでは、現在の眼科医療最高レベルの設備、技術で診療を行うだけでなく、更に高いレベルを目指すため、大学病院ならではの新しい診断、治療技術の研究、開発に積極的に取り組みます。特に、新たな近視抑制治療、新たな緑内障診断機器、新たな網膜硝子体手術機器を企業との共同研究で開発し、その結果をいち早く患者様に還元します。

### ◆ 理 念

愛知医科大学眼科クリニックMiRAI（Eye Center）は、大学の附属施設でありながら、眼科に特化したクリニックです。1）眼科日帰り手術、2）高度で専門性の高い外来診療、3）新たな治療開発のための研究が三本の柱です。

“明るく前向きに生きる”を手助けする

Support bright and positive life

世界をリードする眼科診療

World-leading ophthalmologic practice

高精度の医療技術、最新の医療機器で、安心な治療を提供

Provide reliable eye care with accurate and state-of-the-art technology

近視の病態解明と進行抑制治療の開発

Elucidate the mechanism of myopia to develop preventive strategies

眼科医療革新のための新たな産学連携拠点

A new academic-industry collaboration hub for ophthalmologic innovation

### ◆ 職員数

(単位：人)

| 区 分  |       | 職員数 |
|------|-------|-----|
| 医師   |       | 2   |
| 看護職員 | 看護師   | 5   |
| 医療職員 | 視能訓練士 | 5   |
| 事務職員 |       | 4   |
| 業務職員 |       | 1   |
| 合 計  |       | 17  |

### ◆ 診療科

|     |    |
|-----|----|
| 診療科 | 2科 |
|-----|----|

◆ 届出事項

〔法令による医療機関の指定〕

| 法令等の名称                        |                | 年月日         |
|-------------------------------|----------------|-------------|
| 医療法第7条第1項による開設許可(承認)          |                | S58. 4. 20  |
| 健康保険法による(特定承認)保険医療機関          |                | S58. 6. 1   |
| 国民健康保険法による<br>(特定承認)療養取扱機関    |                |             |
| 労働者災害補償保険法による医療機関             |                | S58. 10. 1  |
| 原爆援護法                         | 一般医療           | S58. 6. 17  |
| 生活保護法による医療機関                  |                | S63. 11. 1  |
| 児童福祉法                         | 措置等に係る医療       | S58. 6. 1   |
|                               | 指定小児慢性特定疾病医療機関 | H27. 1. 1   |
| 難病の患者に対する医療等に関する法律<br>による医療機関 |                | H26. 12. 10 |

〔厚生労働大臣の定める施設基準等の状況〕

| 疾患名          | 年月日       |
|--------------|-----------|
| 明細書発行体制等加算   | H22. 4. 1 |
| 短期滞在手術等基本料 1 | R5. 10. 1 |
| 医療DX推進体制整備加算 | R6. 6. 1  |

◆ 特掲診療料の施設基準(通則5及び6)に掲げる手術の実施件数 (R6. 1. 1～R6. 12. 31) (単位: 件)

| 手術名    | 実施件数 (年間) |
|--------|-----------|
| 黄斑下手術等 | 86        |
| 角膜移植術  | 0         |

## (25) 眼科クリニックMiRA I 患者数等

### ◆ 外来患者数

(単位：人)

| 年 度    | 新患者数   | 延患者数    | 1 日平均 | 紹介患者数 |
|--------|--------|---------|-------|-------|
| R 04年度 | 1, 011 | 5, 411  | 28. 5 | 454   |
| R 05年度 | 1, 244 | 9, 977  | 40. 7 | 561   |
| R 06年度 | 1, 375 | 10, 472 | 43. 3 | 640   |

### ◆ 手術患者数

(単位：人)

| 年 度    | 白内障手術 | 硝子体手術 | 緑内障手術 | その他の手術 | 光凝固術 (レーザー) | 眼形成 | 計      |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------------|-----|--------|
| R 04年度 | 246   | 13    | 51    | 2      | 127         | 103 | 542    |
| R 05年度 | 419   | 63    | 120   | 11     | 204         | 279 | 1, 096 |
| R 06年度 | 426   | 84    | 135   | 7      | 191         | 262 | 1, 105 |

## (26) 運動療育センター

### ◆ センターの目的

運動処方及び運動生理に関する教育研究を行い、疾病予防、健康の保持・増進のための体力診断、指導等を行い、健康づくりに寄与する。

### ◆ メディカルチェック項目

|              |               |          |      |      |
|--------------|---------------|----------|------|------|
| 問 診          | 身体計測          | 皮下脂肪厚測定  | 尿検査  |      |
| 血液(一般)       | 血液(生化学)       | 胸部X線     | 肺機能  |      |
| 血圧(安静時)      | 心拍数(安静時)      | 心電図(安静時) | 体力測定 |      |
| 運動負荷テスト(1誘導) | 運動負荷テスト(12誘導) | 呼気ガス分析   | 運動指導 | 総合指導 |

### ◆ メディカルチェック者数

(単位：人)

| コース名等               | 人 数 |
|---------------------|-----|
| 健康増進コース (A)         | 69  |
| 運動器系療法コース (E1)      | 164 |
| 内科系運動療法コース (E2)     | 191 |
| 内科系運動療法コース (E2-1)   | 207 |
| アクアセラピー             | 0   |
| トレーニングコース (健康測定・指導) | 0   |
| 本学職員                | 92  |
| 合 計                 | 723 |

### ◆ 施設利用者数(学生除く)

(単位：人)

| 施設名      | 利用者数    | 一日平均   |
|----------|---------|--------|
| ジム       | 31, 977 | 111. 8 |
| 計(実利用者数) | 31, 977 | 111. 8 |

営業286日

・ 2024年3月31日付プール廃止及び大規模改修工事実施

## (27) 施設の概要

## ◆ 施設の概要

(R6.5.1)

| 施設の名称             | 完成(竣工)年月日   | 建築面積<br>(㎡) | 延床面積<br>(㎡) | 土地面積<br>※<br>(㎡) |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|------------------|
| 大学本館(1号館)         | 平成11年9月6日   | 4,711.24    | 18,031.25   | 11,531.78        |
| 守衛所(大学本館の附属建物)    | 平成12年3月9日   | 24.00       | 6.60        |                  |
| 研究棟(2号館)          | 昭和48年5月10日  | 4,791.52    | 16,924.83   | 7,449.00         |
| 基礎科学棟(3号館)        | 昭和46年6月3日   | 1,839.00    | 3,176.60    | 5,800.80         |
| 看護学部棟(4号館)        | 平成12年3月3日   | 1,323.18    | 3,767.03    | 241.00           |
| 総合実験研究棟(5号館)      | 昭和63年3月30日  | 1,033.32    | 4,092.06    | 3,566.00         |
| 動物実験センター(5号館)     | 昭和53年12月25日 | 857.14      | 898.27      |                  |
| 体育館・運動療育センター(6号館) | 昭和57年11月17日 | 3,281.35    | 7,076.11    | 4,461.00         |
| 医心館(7号館)          | 平成21年8月31日  | 1,734.97    | 3,390.97    | 4,768.73         |
| 廃棄物保管庫            |             |             | 9.74        |                  |
| 中央棟               | 平成25年11月30日 | 12,728.50   | 85,755.82   | 65,306.42        |
| 自家発電機棟            |             |             | 552.85      |                  |
| マニホールド棟           |             |             | 32.50       |                  |
| C棟                | 昭和56年12月16日 | 2,080.31    | 16,929.68   |                  |
| D棟                | 昭和63年3月18日  | 1,915.77    | 11,326.03   |                  |
| 新立体駐車場            | 平成21年5月15日  | 5,230.03    | 22,407.36   |                  |
| 車庫棟               |             |             | 533.26      |                  |
| 新ガスガバナー室          |             |             | 52.64       |                  |
| アメニティ棟            | 平成29年4月21日  | 1,218.69    | 1,178.62    |                  |
| バスロータリー           |             |             |             |                  |
| ドクターヘリ格納庫         | 平成30年3月31日  | 354.85      | 320.41      |                  |
| 燃料庫               |             |             | 34.44       |                  |
| 別棟(スターバックスコーヒー)   | 令和4年9月7日    | 277.41      | 228.68      |                  |
| 救急・災害管理棟          | 令和6年2月7日    | 290.40      | 871.20      |                  |
| 保育所               | 平成21年3月31日  | 470.66      | 362.13      | 1,581.00         |
| メディカルクリニック        | 昭和58年4月6日   | 1,984.38    | 2,714.63    | 1,284.81         |
| 雁又グラウンド           |             |             |             | 11,169.00        |
| 寅山グラウンド(器具庫・トイレ)  | 平成19年2月8日   | 237.04      | 133.04      | 56,010.00        |
| クラブハウス            | 昭和61年12月10日 | 552.00      | 1,152.74    | 1,112.00         |
| 特高変電所             |             |             |             | 1,890.00         |
| 駐車場               |             |             |             | 89,038.39        |
| その他(遊休地)          |             |             |             | 28,985.02        |
| 旧橋寮跡地             |             |             |             | 528.92           |
| メディカルセンター         | 平成27年3月31日  | 4,455.00    | 16,792.38   | 16,501.48        |
| 合 計               |             | 51,390.76   | 218,751.87  | 311,225.35       |

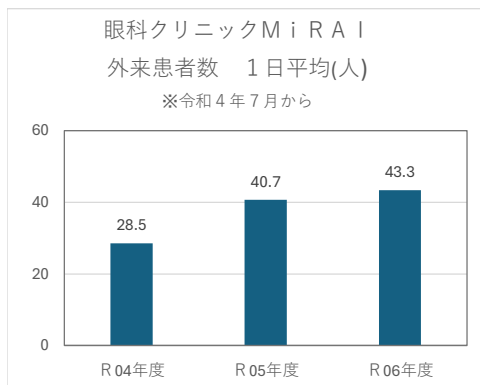
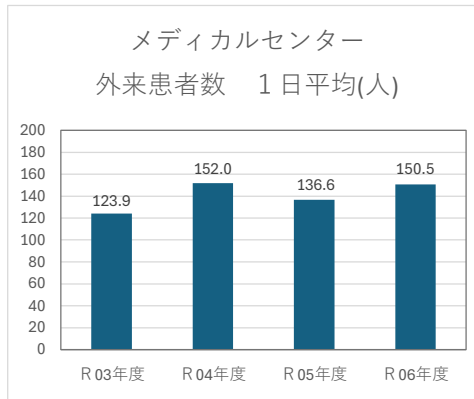
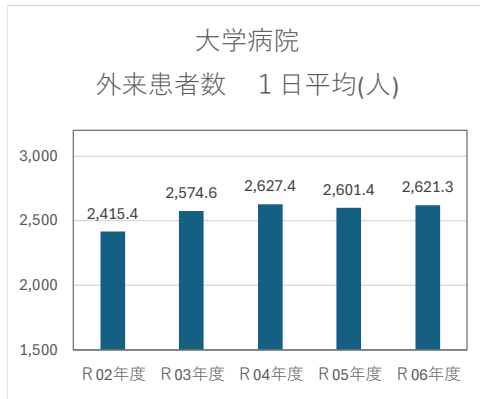
※ 土地面積には借地を含む。



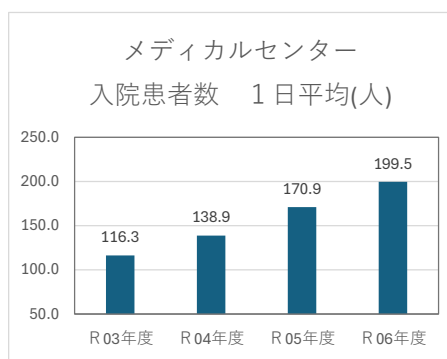
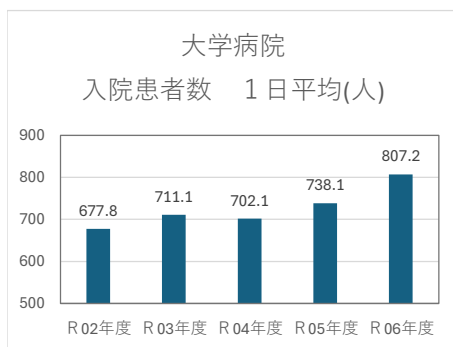
- |    |                   |    |               |
|----|-------------------|----|---------------|
| 1  | 1号館（大学本館）         | 11 | D棟（D病棟）       |
| 2  | 2号館（研究棟）          | 12 | 救急・災害管理棟      |
| 3  | 3号館（基礎科学棟）        | 13 | 保育所（アイキッズ）    |
| 4  | 4号館（看護学部棟）        | 14 | 学生クラブハウス      |
| 5  | 5号館（総合実験研究棟）      | 15 | バスロータリー       |
| 6  | 6号館（体育館・運動療育センター） | 16 | アメニティ棟（立石プラザ） |
| 7  | 7号館（医心館）          | 17 | スターバックス       |
| 8  | 総合グラウンド           | 18 | ドクターヘリ格納庫     |
| 9  | 中央棟（診療棟・A病棟・B病棟）  |    |               |
| 10 | C棟（C病棟）           |    |               |



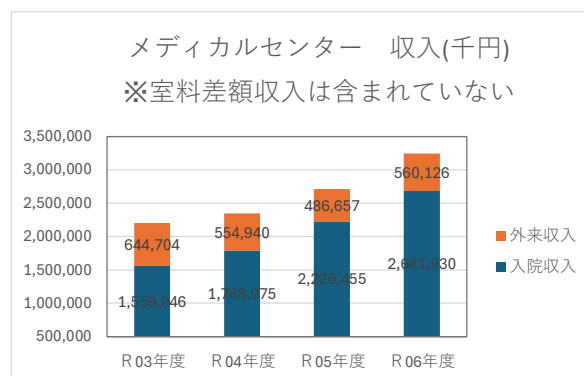
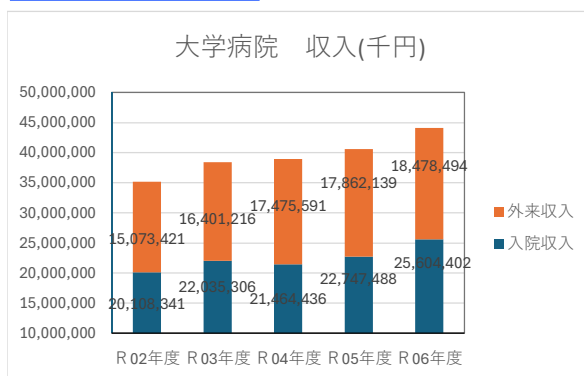
・外来患者数



・入院患者数



・収入





### 3 事業概要



## 大学の理念・目的

愛知医科大学は、「新時代の要請に応え得る医師を養成し、併せて地域住民の医療に奉仕すること」を『建学の精神』の主眼とし、昭和47年度に医学部のみの単科大学として開学しました。平成12年度には、「多種多様な社会的ニーズに迅速かつ積極的に応え、広い視野と高い教養をも備えた看護職員を養成すること」を目的とした看護学部を開設し、2学部を擁する医科系大学となりました。

こうした生い立ちを持つ本学の理念は、建学の精神として定められており、三つの主眼点として次のことを掲げています。

- ・ 新時代の医学知識、技術を身につけた教養豊かな臨床医の養成
- ・ 時代の要請に応じて地域社会に奉仕できる医師の養成
- ・ 医療をよりよく発展向上させるための医学指導者の養成

また、教育基本法及び学校教育法に基づき、道徳的能力と社会的有用性を基盤とし、新しい医学・看護学の知識及び技術をもつて社会に奉仕する医師及び看護職者を育成するとともに、深く学術を研究し、医学・看護学の発展向上に貢献することを大学の目的としています。

## 学是「具眼考究」

医療においては、超高齢社会や人口減少に伴い日本の医療そのものが大きく様変わりをしていること、教育においては、医学教育分野別評価（国際認証）の受審が決定し、グローバル化の流れを受けた医科系大学の教育が大きな転換期を迎えたこと等から、職員・学生にとって、新しい時代に即した「建学の精神」の実現・実践に向けて、心の拠り処となる「学是（基本理念）」が必要となり、全学的な議論を経て、新たに学是として「具眼考究」を掲げました。

「具眼」とは、江戸中期の天才絵師で近年脚光を浴びている伊藤若冲の言葉として知られており、坪内逍遙や夏目漱石等の明治の文人も好んで使用した言葉です。「確かな眼」，「見通す眼」，

「眼力」，「慧眼」といった意味であり、医学的には「正しくみる」ことを表します。「みる」とは「診る」，「看る」，「見る」，「観る」，「視る」の全てを含みます。

「考究」とは、「具眼」によって得た神髄を深く考え、それに対して正しく対処して究めることを指します。

「具眼考究」は上述のように、深い多くの意味を持っています。例を挙げますと、この度の新病院建設も「具眼考究」の体現と呼ぶことができます。

先が全く見えない混乱の時代に最高のタイミングで新病院建設を開始したのは「具眼」のなせる業で、組織の構造改革の実践、新病院建設費用の最良の資金繰り、リーマンショックへの善処等が功を奏し、問題なく新病院建設を成し得た一連の成果は「具眼考究」により達成されたといえます。

「具眼考究」を愛知医科大学の学是として、職員、学生に広く深く周知し、意味の正しい理解の下で、根付かせていきます。

## はじめに

本学は、財務・事業基盤の強化を目指し、令和元年度からの5年間の中期計画に基づき、イノベーションプロジェクトの推進を図ってまいりました。具体的には、メディカルセンターの開設、眼科クリニックMiRAIの開院、外来化学療法室の拡充、経過観察病棟（TACU）、救急・災害管理棟等の整備、C棟休床病床の中央棟での復床といった施策を展開してきました。そしてこれらの事業の締めくくりとなる新リハビリテーションセンターが令和7年1月に運用を開始したところです。

安定的な財政基盤の確立に向けて行ってきたこれらの取り組みは着実に実を結び、その結果として医療収入はイノベーションプロジェクトがスタートした令和元年度と比較して110億円超の増収、特に令和6年度はコロナ期間中に蒔いた成長の種が、開花・結実する年と位置付けられて事業を進めた結果、令和5年度から令和6年度の医療収入は42億円増（109.5%）と大きく飛躍した結果となりました。

しかしながらこの医療収入を得るための事業支出規模も必然的に大きくなり、特にアフターコロナとなる令和5年度から顕著となった物価高騰・為替変動による光熱費、材料費、委託費増は想定を超えた負担となっています。このコスト増を吸収するためのコスト削減には予算段階から取り組みましたが、大きく減らすことはできませんでした。また、人件費については、本学は、給与規程に基づき国家公務員に準じて支給してきましたが、令和6年度の人事院勧告は約30年振りの高水準ベースアップであったこと、また、医師の働き方改革による負担増や事業規模の拡大による人員増によって非常に大きな財政的負担要因となりました。

人件費増による大幅な処遇改善は、離職防止と優秀な人材の確保、また、若手職員の定着率の向上に寄与するものであり、職員のモチベーションを維持するためにも必要であると判断したもので、人材確保及び育成のための先行投資の位置付けともなりました。

これだけのコスト増要因を解消するために、一般企業であれば商品・サービスの価格に上乗せするというのが企業経営であり、日々の暮らしの中で実際に物価高、値上げを実感するものではありませんが、本学の収入の8割を占める医療収入の柱は「診療報酬収入」であり、この診療報酬は公的価格であるため、急激なコスト増が生じた場合でも、診療報酬を病院の判断で引き上げることができません。6月の診療報酬改定も全くの期待外れとなりました。このような状況を背景として令和6年度の経常収支は昨年度に引き続き大変厳しい数字となりました。教職員の不断の努力にもかかわらず、医療を取り巻く国の制度設計の矛盾に翻弄される1年となりました。

前述のような状況の中ではありましたが、医科大学の基本である教育には様々な取り組みを行い、医師国家試験の新卒合格率は98.0%、看護師国家試験及び保健師国家試験は新卒合格率100%としっかり結果を出すことができました。研究面についても研究環境を整備しつつ、外部資金と呼ばれる研究費の獲得状況は前年度を上回る水準となっています。

こうした数々の取り組みについて、ここに事業報告として取りまとめました。

本学は、「診療」だけではなく、「教育」と「研究」も行う医科大学であり、また、私立大学であることを鑑みると、この3つの機能、役割を十分に果たしていくために、これまでの事業投資や成果を基盤として、人的資源を含めて最大限生かしながら更なる発展につなげて、財務・事業基盤の強化を目指して参ります。

### 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

新たに策定した「中期経営計画（令和6年4月1日－令和11年3月31日）」（以下、中期計画）においては、本学の理念に依拠する本学発展の3つのキーワードである「自己実現」、「連携」、「独自性」とこれら3つのキーワードにより導き出された下記の6つの戦略に基づき、事業計画を策定し、各部署が具体的な短期・中期目標を設定し、変化の激しい環境に迅速に対応するため、毎年度、計画の進捗状況を検証し、必要に応じ、計画の見直し等を行います。

#### 【6つの戦略】

- ・ 財務基盤の確立
- ・ 部署別中期目標の策定と評価
- ・ 働き方改革の実質化
- ・ 地域医療の革新：循環型診療システム・リハビリ改革・救急体制の実質化
- ・ 世界を見据えた教育・研究の推進
- ・ DX推進による経営改革

#### 【経営改革・イノベーション推進事業】

中期計画の目標達成に向け、かつ、法人の持続的な発展を目的に経営戦略の立案及び計画、実行を主な業務とし、組織横断的に機能する部署として設置された経営戦略推進本部は、各部署から独立し、理事長直轄の組織として、各部署をまたぐ全体の問題、新規のイノベーションのテーマ、組織改変といった人事・予算を伴う案件等を比較的短い時間で進めて実行に移すため、推進本部の下に幾つかのプロジェクトチームを作り、各々に当事者や関係者を集め、プロジェクト型での問題解決を進めています。

#### 【令和6年度に実施した主なイノベーションプロジェクト】

1. 働き方改革プロジェクト～本学独自の働き方改革&日本一働きやすい病院を目指して
2. 救急医療体制改革プロジェクト～断らない救急体制の構築を目指して
3. 地域医療連携推進プロジェクト～顔の見える地域連携、救急の後方支援体制推進
4. リハビリテーション医療の充実（創立50周年記念事業プロジェクト）
5. 本学事業部門の再編（メディカルセンター開院）プロジェクト
6. 本学事業部門の再編（眼科クリニックMiRAI開院）プロジェクト

#### 【イノベーションプロジェクトの進捗・達成状況】

##### 1. 働き方改革プロジェクト

本プロジェクトは、「時代にマッチした勤務体制の構築」を目的に掲げ本学独自の働き方改革を策定すべくスタートしましたが、令和5年度は、目前に迫る「令和6年4月、医師の時間外・休日労働上限規制がスタート」に向け、国が示す「医師の働き方改革の全体像」への対応を積極的に展開しました。厚生労働省が示す医師の働き方改革の全体像では、医療機関は、労働時間短縮にむけた取り組みとともに、適切な労務管理が求められています。本学では、「労働時間短縮に向けた取り組み」として、タスクシェア・シフト、具体的には現在進めています医師事務作業補助者（ドクターズクラーク）による医師の業務負担改善や変形

労働時間制の導入等制度改革にも取り組みました。並行して、医師の確保、診療体制の見直しに努めなければなりません。また、「労務時間管理の徹底」として、客観的な手法による労働時間の把握が医療機関に求められるため、新勤怠管理システムDr. JOYを導入、医師の労務時間管理を徹底することとしました。

#### <ワークシェア（ドクターズクラーク）>

本年度は2回の懇談会を開催し、ドクターズクラーク体制の質向上に取り組みました。初回は昨年度に引き続き医療法人社団白梅会理事長の小林利彦先生をお招きし、内科系、外科系に分け各診療科の医局長、外来医長との懇談会を開催し病院長始め合計で35名の先生方にご参加いただきました。冒頭、小林先生から「医師事務作業補助者の有効活用」についてお話をいただき、その後先生方の質問に対して小林先生にお答えいただく形で活発なディスカッションが行われました。

ドクターズクラーク体制について先生方からは概ね評価はいただいているものの「ドクターズクラークがどこまでできるのかガイドラインを示してほしい」「診療科の特性を踏まえた配置にしてほしい」「外来業務だけではなく病棟業務もやってほしい」など多くの要望が出ました。これらの要望につきましては医師事務作業補助者業務部会で検討していきます。

2回目は医師事務作業補助者分野に精通している若草第一病院副院長の今田光一先生をお招きしドクターズクラークとの懇談会を開催しました。現状、ドクターズクラークの人数は60人を超え、半数が入職1年未満というメンバー構成の中で、日頃疑問に思っていることや困っていること、悩んでいることに対して、今田先生からアドバイスをいただくことで、現場力やモチベーションを向上させることを目的に開催しました。

当日はドクターズクラークを経験年数で2班に分け、今田先生が作成された研修会資料に基づいて説明を受けた後、メンバーからの質問に答える形でディスカッションが行われました。

今田先生からは電子カルテの3原則（①二重入力しない ②伝言ゲームしない ③紙を出さない）、代行入力規程の必要性など若草第一病院の医療情報部長も兼務されている今田先生ならではの興味深い話しも聞くことができ大変参考になりました。

## 2. 救急医療体制改革プロジェクト～断らない救急

本プロジェクトは、「断らない救急体制の構築を目指して」のスローガンの下、令和2年に立ち上げられました。第1次改革では、主に時間外診療体制を整備しました。続く第2次改革では、専修医の救急部門出向による、救急患者全般に対する基本的診療能力向上及び、重症疾患患者に対する集中治療研修により、救急を恐れない医師を育成するソフト面の整備と、Hybrid-ER・救急災害管理棟といったハード面の整備により、病院全体の救急対応能力向上に取り組みました。

そして、令和6年6月には、14床からなる経過観察入院病棟（TACU：Transitional Acute Care Unit）が稼働を開始しました。これにより、救急車で来院し、経過観察が必要な患者を積極的に受け入れることが可能になり、医療安全の向上、断らない救急の実現に向けて、さらなる前進となりました。

今後も、本プロジェクトで目指す安心、安全な救急医療の提供、断らない救急医療体制の構



築を進め、救急車受入れ年間 9,000～10,000台を目指します。地域医療の中核として、患者さん、地域及び医療スタッフのいずれにとっても満足度の高い救急医療体制改革に引き続き取り組んでいきます。

### 3. 地域医療連携推進プロジェクト～顔の見える地域連携、救急の後方支援体制推進

本プロジェクトは、地域連携ネットワークの構築「顔の見える病病連携・病診連携」と「救急の後方病院体制推進」をめざして令和2年から活発な活動を展開しています。

本院の連携病院39病院のうちコアモデルとして、まずは、地域の5病院（長久手市「東名病院」、名東区「メイトウホスピタル」、守山区「川島病院」、日進市「日進おりど病院」及び瀬戸市「瀬戸みどりのまち病院」）を選定、令和3年10月からは日進市「愛知国際病院」、日進市「福友病院」、瀬戸市「あさい病院」の3病院と本院及びメディカルセンター(分院)を加えた10病院体制へ拡大、さらに令和5年10月から瀬戸市「井上病院」、11月からは瀬戸市「中央病院」日進市「日進南病院」、令和6年11月から千種区「東海病院」も参加され15病院体制に拡大しました。このネットワークは、本院医療連携センター、長久手市地域包括ケア推進協議会、長久手市長寿課及び在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ長久手）とも連携しています。「看護の力で地域包括ケアシステムを推進する！」をビジョンに、それぞれの看護の機能を連携し継続・持続的に患者さん・ご家族の暮らしを支えるため、活発な議論と実務的な取り組みを重ねています。

#### <看護機能連携ネットワークシステムの主な成果>

令和6年度も看護機能連携ネットワーク会議、実務検討会（世話人会）を定期的に開催し、看護実践を始めさまざまな成果が得られました。

- ・ 令和6年6月には、コロナ禍があけてはじめて懇親会を開催し、連携病院の病院長はじめ、看護部長、事務部長、実務検討会担当者、転院調整担当者に参加してもらい、お互いの顔が見え、強固な連携体制となりました。
- ・ 各病院が抱えている問題に対し、様々なテーマ（災害対策状況や看護補助者の採用状況や教育体制等）で情報共有して各病院の課題発見や改善を行うことが出来ました。

#### ・ 令和6年度実務検討会実績

令和6年11月13日、第5回実務検討会「意思決定支援（ACP）について」

令和6年12月11日、第6回実務検討会「身体的拘束最小化について」

同時開催：身体拘束等グッズ展示

令和6年度は、診療報酬改定に関するテーマに2回に分けて開催しました。第5回目は長久手市独自のACPシートの作成経緯や活用状況、各病院からACPシートの活用状況を中心に発表してもらいました。第6回目には、身体拘束解除をテーマに認知症認定看護師から認知症ケアに対する座学と事例発表と各病院の身体拘束解除の取り組みについて発表してもらいました。また、様々なメーカーに協力してもらい身体拘束等グッズ展示会を開催しました。各病院からは、座学と実践についての形式だったため、具体的にわかりやすく参考になったと多くの感想が寄せられました。また、グッズの展示については、非身体拘束グッズや影響の少ない身体拘束グ

ッズなどを実際に体験することが出来、導入を検討していこう等感想が多くありました。

- ・ 令和5年度から、ネットワーク会議の開催場所をネットワーク病院の輪番制に変更しており今年度は下記の病院で開催しました。

令和6年7月8日 日進南病院

令和6年10月7日 青山病院

令和7年2月10日 愛知医科大学病院

でそれぞれ開催しました。輪番病院に司会進行、病院の見学会も開催しました。今後は、地域全体の看護レベルの向上、看護師確保、人材交流等を通じ、今まで以上に強固なネットワークシステムの構築に尽力してまいります。

#### 4. リハビリテーション医療の充実

創立50周年記念事業プロジェクトの一つとして掲げたリハビリテーション医療の充実について、急性期・回復期リハビリテーションや超高齢社会の生活期リハビリテーションのニーズに応えるため、令和3年7月にリハビリテーション医学講座を開設し、リハビリテーション治療技術の基礎・実践・高度化の推進など、リハビリ医療・教育の充実に取り組んでいます。リハビリテーションは、IT化、ロボット化、脳機能解析化など新しい時代を迎えこの先10年が重要となります。本学では、リハビリテーションにおける先端の教育・研究・医療拠点を目指します。その構想の根幹は、「全身(Whole body)を診る」「超急性期(急性期)からの積極的なリハビリテーション」「予防医学の視点を持ったリハビリテーション」となります。

令和6年度は、前年度から引き続きセラピストの増員(年次計画)を行いました。

さらに6号館(運動療育センター・体育館)1階のプールエリアを改修、リハビリテーションセンターのスペースを拡大しました。その目玉設備として、「次世代融合型Whole Bodyモニタリング超高度リハシステム」を大学病院として初めて導入した新たなリハビリテーション医療施設《プロリハ》を令和7年1月23日(木)に開設しました。

新施設《プロリハ》では、最新の技術を駆使したリハビリテーション医療を提供します。具体的には、仮想空間で歩行や走行をシミュレーションできる「バーチャルリアリティトレッドミルシステム」(GRAIL)を導入し、患者さんの運動機能の回復をサポートします。また、生体情報セントラルモニタリングシステムを用いて、患者さんの心拍数や血圧などの生体情報をリアルタイムで監視し、安全かつ効果的なリハビリテーションを実施します。さらに、三次元動作分析装置を活用して、患者さんの動作を詳細に解析し、個々の状態に合わせた最適なリハビリテーションプランを作成します。これらの装置は、先述した「次世代型Whole Bodyモニタリングシステム」の一部であり、患者さんの全身を総合的に診ることで、より質の高いリハビリテーション医療(超高度リハ)を提供することが可能となります。

この新施設の開設により、愛知医科大学はリハビリテーション医療の分野でさらなる飛躍を遂げ、患者さんの早期回復とQOL(生活の質)の向上に貢献してまいります。

本設備整備計画にあたり、令和5年度大学改革推進等補助金「高度医療人材養成事業」(文部科学省)を受けています。

本学事業部門の再編(メディカルセンター)プロジェクト及び本学事業部門の再編(眼科クリニックMiRAI)プロジェクトについては、各担当部署からの報告を後述します。

## 5. DX推進による経営改革

現在、私たちは労働人口の急速な減少という社会的課題に直面しており、限られた人材リソースを有効活用しながら、業務の効率化と生産性の向上を実現することが喫緊の課題となっています。こうした中、国や企業ではデジタルトランスフォーメーション（DX）が積極的に推進されていますが、単なるデジタルツールの導入だけでは十分な効果は得られず、業務の整理・最適化とセットで進めることが不可欠であることが明らかになってきました。

加えて、賃上げ政策や人材獲得競争が加速する中、優秀な人材に選ばれる職場であるためにも、効率的な業務体制の整備が急務です。職員一人ひとりが自身の力を発揮できる環境を整えることが、組織全体の力を引き出す鍵となります。

本学においては、従来の労働集約的・前例踏襲型の働き方を見直し、変化に対応した柔軟かつ持続可能な業務体制への転換を目指し、まずは大学全体の基盤を支える事務職員の業務効率を高めることで、専門職が本来業務に集中できる体制を整え、結果として教育・研究・医療の質を向上させたいと考えています。

このような背景のもと、本学では「中期計画（令和6年4月1日～令和11年3月31日）」に基づき、DX推進を経営改革の柱の一つに位置づけ、「経営視点の情報システム部門の構築」と「業務の最適化」に重点的に取り組んでいます。今年度はその第一歩として、全事務部門を対象とした業務調査を開始し、業務の可視化と課題の抽出を進めています。

今後は、調査結果に基づく組織再編やシステム統合の検討、職員のITリテラシー向上などを通じて、DXによる具体的な成果を着実に生み出していく予定です。引き続き、経営改革の一環として、全体最適と業務効率化を目指す取り組みを強化してまいります。

## 1 教育・研究関連事業

### <医学部・大学院医学研究科>

#### (1) 医学教育分野別認証評価の受審

令和元年9月に日本医学教育評価機構（JACME）の医学教育分野別認証評価を受審しました。その結果、世界医学教育連盟のグローバル・スタンダードを踏まえた評価基準に適合していることが認定されました。認定期間は令和2年6月1日から令和9年5月31日までの7年間です。このことに伴い、部分適合と判定された項目を中心に改善に向けた取組みについて具体化して年次報告書を作成の上、同機構へ提出しました。

年次報告書は、毎年の提出が求められており、令和6年度においても昨年度と同様、多くの教員が参加するFD形式により、各領域別グループメンバーが部分適合項目の改善に向けた検討を進め、更にグループメンバーと医学部長、医学教育センター長協働による加筆修正を経て年次報告書として完成させ、同機構へ提出しました。

また、これまでの年次報告書を踏まえ、2巡目受審（令和8年10月）に係る自己点検報告書に落とし込むべき内容についての討議を開始しました。

#### (2) 国家試験対策、学力強化について

6学年次生の医師国家試験対策として予備校講師による面談・講義（総合試験対策等）、模擬試験を4回、確認テストを5回実施し、5学年次生に対しても予備校講師による医師国家試験対策講義、模擬試験を2回、確認テストを5回、4学年次生への特別プログラム等を実施しました。これらは、対面及びオンラインシステムを活用して実施し、早期から対策を強化しました。

また、4学年次生の一部の者に対して、予備校講師によるグループ講義を行い、5学年次生及び6学年次生の一部の者に対しては、グループ講義及び個人指導を行いました。

更に、医師国家試験対策強化委員会にて組織的に対策を講じたことにより、医師国家試験の新卒合格率は98.0%で、99名が合格しました。

#### (3) 授業について

学生の出校について、令和4年度後学期以降から、コロナ禍前と同様に全員登校を前提とした授業を実施しており、また、コロナ禍において運用を開始したWeb会議システム（Zoom）を引き続き活用し、講義の録画及び配信を実施しました。

#### (4) 総合試験2について

令和6年度入学生から、1，2学年次における総合的な知識及び基礎医学における最低限必要な基礎的知識の担保を目的に総合試験2を導入しました。令和7年1月にトライアルを実施し、令和7年度の総合試験2から3学年次への進級要件に含めた形で正式実施します。

#### (5) 学生便覧・教科案内について

従来、学生便覧と教科案内はそれぞれ別々に発行しており、教科案内は約600頁、学生便覧は約100頁に渡る分厚い冊子となっていました。これを令和7年度分から1冊に統合し、更に一部の頁はQRコード表示として、Web上で閲覧するスタイルに変更することで、大幅に冊子体としての頁数を減らすとともに、利便性の向上を図ることとしました。

#### (6) 私立大学研究ブランディング事業

これまでに獲得した血液検体及び健康診断情報を用いて、5件の学内研究を推進しました。

また、その過程では、各研究グループによる報告会を実施し、研究の進捗を確認するとともに、研究グループ外の教員からの意見も取り入れました。

今後も、以前に実施した採血事業の追跡調査を行うなど、健康長寿社会の実現に向けた研究を継続的に推進し、その成果を論文発表や学内ホームページへの掲載等を通じて発信していきます。

#### (7) 奨学金関連

- ① 医学部の奨学金制度では、卒業生が医師国家試験合格直後、本学の医師等として、貸与期間1年間に付き2年間勤務することを条件に奨学金（年額300万円）を貸与しており、この事業での新規採択者は4名でした。
- ② 経済的に困難な学生への支援について、国の修学支援新制度により医学部では11名の学生に対し、授業料等の減免を行いました。

#### (8) 入学者選抜について

近年、受験者一人当たりの受験校数が減少傾向にあることから、志願者数のさらなる安定確保を図り、令和7年度入学者選抜から、一般選抜の募集人員を65名から70名に拡大しました。合わせて入学辞退により欠員が生じる都度、きめ細やかに繰上合格者の発表（補欠者への連絡並びに通知）を行うことを徹底しました。

これらの対応により、志願者数は前年度と同程度となる2,179名となり、特に地元である名古屋会場では、過去最多となる725名の志願者となりました。成績上位者の歩留り率も非常に高く、多くの優秀な学生を確保することができました。

大学入学共通テスト利用選抜では、これまでの前期に後期を合わせる形で一本化し、この後期の5名分を一般選抜に充当しました。大学入学共通テスト利用全体の総募集人員が縮小したことから、愛知県地域特別枠B方式も含めて、志願者数の減少が懸念されましたが、それぞれの志願者数は988名、76名となり、いずれも過去最多の志願者数を確保することができました。

専願制の学校推薦型選抜（公募制・愛知県地域特別枠A方式）では、18歳人口の減少等様々な背景により志願者が減少傾向にあること、特に現役生にとっては11月という早期の選抜であることを鑑み、基礎学力試験の「数学」の出題範囲から新課程の「数学Ⅲ」を除外しました。これにより、それぞれの志願者数は85名、20名となり、いずれも前年度を上回ることができました。特に地域枠では、志願者数が前年度比1.5倍となり、受験者全体の学力も大きく向上しました。

若干名を募集する「国際バカロレア（IB）選抜」を合わせた全区分の総志願者数3,351名（前年度から47名増）は、直近5年間で最多となりました。

#### (9) 多様なアプローチによる入学志願者の確保

学生募集広告媒体は、新聞、雑誌等の紙ベースからWebへの移行が進んでおり、特にGoogleネットワーク等のログ情報を積極的に活用したユーザー属性やWebサイトの閲覧履歴など、情報発信先に応じて条件を指定するターゲティング広告を活用しています。

令和6年度においては、その効果をより高めるべく医学部進学希望者の主要ツールであり受験校検討において大きな役割を担う「医学部紹介パンフレット」（紙媒体及びWeb上で閲覧できるデジタルブック形式）のリニューアルによるソフト面の充実を図りました。

まずは、オープンキャンパス始め各種学生募集イベントにおいて、特に参加者の関心が高かった項目（学修環境、救急医療・災害医療、国際バカロレア選抜、学外実習等の本学独自の取組み、卒業生医師の活躍）を中心に、本学の「今」をリアルに映し出すことを意識した構成に改めました。さらに更新時期についても、これまではオープンキャンパスや進学相談会等の学生募集イベントが活性化する夏期（7月）としていたものを、近年の志願者動向を踏まえ早期化する進路選択の時期に合わせて春期（5月）に前倒しました。

これらの対応により、医学部の受験希望者が情報取集を始める春期から長期間に亘り最新の情報を届けられ、掲載する情報の内容についてもこれまで以上に入学希望者のニーズとマッチするようになり、今後一層の認知拡大が期待されています。

#### (10) 今後に向けての入試制度改革

本学の特色の一つである、国際性豊かでリーダーシップを持つ人材が集まる「国際バカロレア(IB)選抜」では、平成31年度に私立医科大学初となる1名の入学者を迎え入れ、その後、継続して優秀な学生を確保してきました。令和7年春、私立医科大学で初のIB選抜による入学者が卒業し医師となったことで、益々注目度が高まっています。

他の私立医科大学においても徐々に同様の入学者選抜が導入される中、既に多くのIB生が在籍する本学の環境は、他大学にはない大きな強みとなっています。

また、政府の後押しもあり、国内においてもIB認定校は増え続けており、IB資格により医師を目指す生徒も増加傾向にあることから、引き続き積極的にIB認定校に出向き、本選抜の詳細始め在学生の状況を伝えることは当然のことながら、併せて、受け入れの間口を広げる工夫も行いました。

まず、これまで選抜試験の一つとして実施していた「適性検査」を廃止し、同日実施の学校推薦型選抜(公募制・愛知県地域特別枠A方式)と同様である「小論文」に変更します。さらに、出願資格の一つとして、日本語での履修を求めている「言語 A(母語)」の成績評価について、これまで、HL4以上、SL6以上であったものを、他のIB選抜導入校と同等となるHL・SLを問わず4以上に改めました。このことにより、受験者にとっては、出願に際してのハードルが下がることになりますし、小論文において、日本語力を確認することができるため、入学後のサポート体制を早期に整えることができます。

こうした対応に止まらず、医学部入学試験委員会とIR室とのタイアップによる入試制度の検討に特化した「医学部入学者選抜検討ワーキング」では、入学者選抜の改善につながり得る様々な入試分析を絶えず実施しています。

令和6年度からは、これまで第2次試験の際に受験生から集めてきた併願校調査に加え、同年度から実施を始めた新入生アンケートについて、IR室の協力のもとに解析を行い、入試成績と入学後の学修成果・学内試験成績との関係性も検討する等、入試の改善点を探っています。

また、令和6年度中に新設されたアドミッションセンターとは強固な協力体制を構築しており、例えば、IR室との連携により、直近5年間の一般選抜において第1次試験の外国語(英語)、数学、理科のうちの理科2科目の得点を変更した場合のシミュレーションや、受験者数・受験者レベルや合格者の質の変化と併せての検証を進めており、現状の選抜に問題がないか、あるいは改善すべき点がないか、繰り返し点検・評価を行う等、PDCAサイクルによ

るガバナンスの確立・入学者選抜の質確保にも取り組んでいます。

#### (11) 大学院医学研究科

大学院医学研究科における令和6年度の学位授与数は、課程博士が24名、論文博士が10名の合計34名でした。また、令和6年度の入学者は25名で、内訳は基礎医学系専攻5名、臨床医学系専攻20名でした。

なお、令和6年度は次のような活動を行いました。

##### ① 次世代がん医療コースの推進

「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」（文部科学省）に、名古屋大学が拠点大学である「東海がん専門医療人材養成プラン」の連携大学として採択されたことにより、令和6年度から新たに設置した「次世代がん医療コース」の広報活動を強化し、受講者の活性化を推進するため、入学説明会で次世代のがんプロフェッショナル養成プログラム教育委員会委員長の久保昭仁教授が、「次世代がん医療コース」について広報活動を行いました。また、愛知医科大学ホームページに、東海がん専門医療人材養成プランのページを新設し、公表しました。

##### ② 次世代がん医療「東海がんプロ・愛知医大」コース（インテンシブ）の策定

前述の「東海がん専門医療人材養成プラン」に対応する、次世代がん医療「東海がんプロ・愛知医大」コース（インテンシブ）のカリキュラムの詳細を策定し、令和6年12月から受講生の募集を開始しました。当コースは、がん診療に従事する医療専門職が、がん診断・治療をはじめ、がん患者の症状緩和やがん経験者のケア、QOLの向上及び終末期医療を担い、更にがん経験者の身体的・精神的・社会的ケアや再発予防、がん予防医療及び医療の現場で個別化医療も実践できるカリキュラムとなっています。

当コースの受講者の活性化を推進するため、愛知医科大学ホームページへの掲載に加え、病院部長会・医局長会議等で周知し、全学的に広報活動を行った結果、8名の受講者がありました。

##### ③ 秋入学制度の導入検討

外国人志願者拡充のため、秋入学制度等の導入による学事暦の柔軟化について検討を進めており、令和8年度からの実施を目指しています。

##### ④ 修学支援制度の制定

一般社団法人愛知医科大学同窓会「愛橘会」と、修学助成金給付に関する協定を締結し、出産・育児を理由に休学する臨床医学系の女性大学院生に対して、学資に係る経済的負担をより軽減し、教育研究活動への復帰支援策の一環となる修学支援制度を整備しました。

##### ⑤ 大学院FD（ファカルティ・ディベロップメント）・プレFDの実施

令和6年度において実施計画に基づき、第1回目は、令和6年5月8日（水）に開催され、講師として佐賀大学医学部 国際医療学講座 臨床感染症学分野 教授の青木 洋介氏をお招きしました。青木氏には、技術性の手法の享受し、教育・研究活動の活性化し、本学の大学院生教育を再考できることを目的とした「行動薬理学・電気生理学を使った疼痛・情動研究の進め方」をテーマとして講演いただきました。

第2回目は、令和6年11月11日（月）に開催され、講師として岐阜大学大学院医学系

研究科 脳神経内科学分野 教授の下畑 享良 氏をお招きしました。下畑氏には、倫理規定、社会的責任、先進的な見識を理解し、倫理規定、社会的責任を認識した今後の研究活動の推進することを目的とした「難病の倫理的・法的・社会的課題（ELSI）」をテーマとして講演いただきました。

当日は、大学院医学研究科の多くの担当教員が参加し、今後の研究・教育の質の向上に繋がるものとなりました。

#### (12)国際交流

平成27年4月1日に開設した「国際交流センター」は設立10年を迎え、更なる国際交流の活性化に努め、教育・研究のグローバル化の推進、教育・研究環境の質向上を図っています。

教職員の英語能力の向上を支援するため、外部機関から英会話講師を招聘して、英語能力向上のセミナー（イブニング英会話）を年2回実施しました。なお、教職員が学外で英語による発表を行う際に直面する問題の相談を受ける事業（英文ワンポイント相談）については、現在は一時中止としています。

国際交流の主眼となる学術国際交流協定大学は、アメリカの南イリノイ大学医学部（平成19年4月締結）、タイのコンケン大学医学部（平成23年11月締結）、ドイツのルール大学医学部（平成24年1月締結）、韓国の東亜大学校医科大学（平成27年6月締結）、ポーランドのウッチ医科大学（平成28年2月締結）、アメリカのバーモント大学（平成29年11月締結）、イランのシーラーズ医科大学（令和元年8月締結）、ウクライナのキーウ医科大学（令和2年3月締結）、ポーランドのポズナン医科大学（令和2年4月締結）及びタイのタマサート大学チュラポーン国際医学部（令和5年4月締結）の10大学となりました。

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が少なからず残り、協定大学への留学は完全な再開とまではなりませんでした。概ねの協定大学へ21名の学生を派遣することができました。学生の受入れについても、これらの協定大学から17名の学生を受け入れ、活発な交流ができました。

また、協定大学との交換留学だけではなく、公益財団法人医学教育振興財団が運営する「英国大学医学部における臨床実習のための短期留学」プログラムを活用して、本学として初めて1名の学生を派遣することもできました。

更に、1から3学年次生を対象とし、南イリノイ大学PBLコース対策コースを開講し、9名の学生が受講しました。イギリスのレスター大学教員によるオンライン医療英語実習コースについては、昨年同様に募集を行いました。応募者が最少催行人数を下回ったため止むを得ず中止となりました。

#### (13)運動療育センター事業

本センターでは、リハビリテーション施設の改修工事に伴い、令和6年3月末をもってプールを閉鎖いたしました。プールの閉鎖により、利用可能なスペースが制限される中でも、会員の満足度を維持・向上させるべく、施設構成および運営体制において抜本的な見直しを行いました。主な対応内容とその効果は以下のとおり。

##### ① トレーニングルーム床下構造の改善工事

トレーニングルームに埋設されていた体重計を撤去し、床の補修工事を実施しました。これにより、床下構造上使用できなかったエリアを有効活用可能なスペースとして再整



備し、限られたフロア面積を最大限に活かせる環境を整備しました。

② 新料金体制への移行（令和6年4月1日～）

プール閉鎖後の利用価値の再定義に伴い、料金体制を見直しました。この改定は、既存会員の退会抑止および新規会員の入会促進につながっており、料金体系の再設計が会員維持・拡大の一助となっています。

③ 運動プログラムの拡充と個別対応の強化

新たな教室プログラムの開設やパーソナルトレーニング枠の拡大により、より多様なニーズに応えられる体制を構築しました。その結果、令和6年度の会員数は前年比102%を達成し、当初予測を上回る成果を得ることができました。

(14) 教育・研究助成事業

① 外国人研究者に対する滞在費助成

外国人研究者（外国人研究員及び外国人大学院生）に対して滞在費の助成を行いました。

② 若手研究者への教育研究奨励助成

顕著な研究業績を上げている若手研究者に対し、更なる業績を上げることができるよう若手研究者個人に研究費の助成を行いました。

(15) 教育・研究環境の整備

① 高機能セルソーターを用いたシングルセル遺伝子解析システムを構成する各種機器について、私学助成を活用して次のとおり整備しました。

| 機器名       | 旧機種名          | 更新機種名              |
|-----------|---------------|--------------------|
| セルソーター    | FACS Aria III | CytoFLEX SRT       |
| リアルタイムPCR | StepOnePlus   | Quantostudio 6 Pro |

当該機種は、旧機種に比べ利便性や機能面が大きく向上しており、医学研究の発展に資しています。

② 医学教育センターの専任教員（准教授）の増員

医学教育センターには、カリキュラム検討部門、学修支援部門、臨床前教育部門、臨床教育部門など6つの部門とその下部ワーキンググループがあり、これまでは専任教員2名（教授1名・講師1名）を中心にこれらの業務を行っていましたが、令和7年1月1日付で准教授が就任（講師定数を准教授定数に格上げし、講師から昇任）し、医学教育センターの体制強化を図りました。

③ 大学1号館2・3階講義室の机への電源取付工事

安全で利便性の良い環境整備や講義等におけるICTの促進のため、現行の床コンセントではなく、講義室の机へ新たに電力供給用のコンセントの取り付け工事を実施しました。

④ 教員の研修事業

多彩な研修を実施することで、全教員に対しスキルアップの機会を数多く提供し、それにより、本学の講義・実習内容を更に充実させ、効果的な教育を展開していくことを目的とした研修事業を実施しました。

⑤ 高機能シミュレーターの定期メンテナンス計画

シミュレーションセンター開設のために補助金で購入した高機能シミュレーターは、保守点検費用も高額のため、故障部位が発生した際に都度修理として対応してきましたが、コントロールPC (Windows7) の公的サポートも終了しており、今後の使用に支障をきたす可能性が高いことから、年1台ずつ6年をかけて、製作元のメンテナンスを受ける計画を立案しました。

⑥ 教育充実活性化対策費(医学部長インセンティブ)の支給

令和6年度の医学部の教育充実への取組みに対して協力的であった講座等及び教育活性の観点で顕著な成果を挙げたと認められる学生に対してインセンティブを支給し、医学部全体の教育活性化による更なる愛知医科大学ブランドの確立を図りました。

＜看護学部・大学院看護学研究科＞

(1) 看護学部

今年度は、授業と演習における講義資料のペーパーレス化が3年目となり(1～3学年次生対象)、学生向けにICTの活用方法等の情報提供を充実させました。また、1学年次生を対象としたICT活用の説明会を行い、ピアサポートとして上位学年の学生も参加しました。

臨地実習では、愛知医科大学病院看護部の実習指導担当者と看護学部教員による実習に関するFDを開催し、意見交換等を通じて、両者の実習指導能力向上につなげました。更に、臨地実習連絡会・実習協議会を開催し、情報共有と意見交換を行い、連携強化を図りました。また、実習の段階別ルーブリックを使用した学生の自己評価を新たに実施しました。

学生が自己の変化・成長を自覚し主体的に学修に取り組むことを目的として行っている学修成果把握アンケートを12月頃に全学年を対象として実施しました。新カリキュラム生に対しては、ディプロマ・ポリシールーブリックを反映させた調査項目に変更し、eポートフォリオ(Mahara)を利用したアンケートにて実施しました。

学修成果把握アンケートに加え、教育評価に係るアンケートである卒業時アンケート、卒業後アンケート及び就職先アンケート、並びに非常勤講師を対象とした教育懇談会を継続して実施しています。

これら結果は、教員会議で共有し、今後の教育内容に反映することを促しています。また、教育評価にかかるアンケートを総括し今後の方向性を検討した結果をMaharaの看護学部教員ページに共有・蓄積しました。この検討は今後も継続して実施し、アンケート結果を活用して教育プログラムの第三者評価会議において意見交換を行う等、教育評価につなげ教学マネジメントに活かしていきます。

(2) 看護学研究科

令和5年度に設置認可申請書類を提出した博士後期課程の設置(PhDコース及びDNPコース)について、令和6年8月29日に設置認可を得ました。認可後に学生募集活動をスタートさせ、令和7年2月に入学試験を実施し、令和7年4月に初めての入学生を迎えることとなりました。

令和5年度に引き続き、大学院生の研究指導体制について、主指導と副指導を最大3名とすることにより、研究指導の充実を図ってきました。また、他領域の教員が、専門性を活か

し領域を超えて副指導に入ることにより、大学院生にとっても論文作成に向けて別の視点からのアドバイスを得ることができました。今後も、指導参加時期を含めた研究指導の在り方を引き続き検討していきます。

大学院共同研究室や大学院での学修環境について、年2回の懇談会とアンケート調査により大学院生の意見を聴取し、研究科内で共有することで学修環境の整備に努めました。令和7年度に開設する博士後期課程の入学学生を迎えるため、医心館にフリーアドレス式の研究室を設置しました。

6月には対面及びオンラインによる大学院（修士課程）説明会を実施し、延べ44名の参加が得られました。また、10月には大学院（博士後期課程）説明会を完全予約制のうえ、対面及びオンラインにて実施し、6名の参加が得られました。さらに、今年度は、毎年4回行っている特別講義に代えて、博士後期課程開設のPRも含めた大学院特別シンポジウム2024「今求められる看護専門職の役割と大学院教育～PhD・DNPコース開設に向けて～」を開催し、94名の参加が得られました。応募者・参加者にとっての便宜を図ったオンラインを併用した説明会等は、来年度も継続していきます。

また、看護学研究科を担当する教員の教育力を向上させることを目的とし、FD委員会と協働で外部講師を招き、「看護学領域における実装研究 -DNPコースの指導を例に-」と題したFDセミナーを令和6年8月に開催しました。セミナーでは、実装研究について、海外の論文等で概要を、DNPコースを設置している他大学の大学院生の研究例および指導例などで具体的な実例をお示しいただき、今後の本学大学院が考えるべき指導体制等の目標を得ることができました。大学院を担当していない教員もセミナーに参加し、また、当日参加できなかった教員には後日オンデマンド配信を実施すると、将来的な人材育成も含めた機会となりました。令和7年度の博士後期課程の開設に伴い、博士後期課程の大学院生も参加できるFDセミナーの開催を検討しています。

### (3) 看護実践研究センター

今年度もキャリア支援部門及び地域連携・支援部門の両部門において、地域の保健・医療・福祉分野等における看護職や地域住民・学生のニーズに基づき活動を展開しました。

キャリア支援部門では、昨年度に引き続きオンライン形式でのセミナー開催とし、看護研究支援、臨床実践、臨床倫理、およびトピックを取り上げた特別セミナーの4つを企画・運営しました。参加者のアンケート結果では、講義内容や実施時期への評価や満足度は高く、また、今年度も東海4県に加えて他県からの参加がありました。

地域連携・支援部門では、行政機関をはじめとする地域における関係機関および住民との連携のもと、長久手市市内一斉防災訓練や親子防災活動サークル子づれ備災クラブ主催イベント等で、活発な健康支援活動を展開しました。また、参加したボランティア学生にとっては、地域での体験を積む良い機会となりました。

次年度以降に向けて、看護学部と本院看護部が長年にわたって築いてきた協力関係を基盤に、看護実践研究センターと看護連携型ユニフィケーション推進事業を整理・統合し、看護職の学びを深化する場、看護職の未来を創造する場、ヘルスケア推進のために人をつなげる場として、医療・看護を取り巻く状況変化に柔軟に対応するヘルスケアを共創していくことを目的に「ヘルスケア共創センター」を令和7年4月から看護学部の組織として設置するこ

となりました。

#### (4) 国際交流

短期留学プログラムの充実を図るため、実施時期等を協定大学とも協議をし、ケース・ウェスタン・リザーブ大学（米国）と、新たにシンガポール国立大学への短期留学派遣を春季休業期間に行うこと、マハサラカム大学（タイ王国）については、派遣を夏季休業期間に、受け入れを春季休業期間での実施へと変更することとしました。それに伴い、マハサラカム大学からの短期留学生の受け入れを令和7年の春季休業期間に行うこととなり、マハサラカム大学への派遣は次年度に行うこととなりました。

令和7年2月25日（火）～28日（金）の期間において、マハサラカム大学の看護学部生3名、大学院生3名および学部長含む教員6名、計12名の受け入れを行いました。理事長・学長への表敬訪問、学内見学をはじめ、大学病院及び学外施設の協力を得て、施設見学等を実施しました。今年度もまた、ウェルカムパーティやシャドウイング等へ本学部のボランティア学生10名が参加し、活発な交流が行われました。

派遣については、ケース・ウェスタン・リザーブ大学（10日間）へ3名、今年度初めてとなるシンガポール国立大学（8日間）へ4名がプログラムへ参加することが決定し、その助成金交付を行い、令和7年3月に派遣を実施しました。

大学院生の海外研修については、これまでの大学院生自身で留学先大学と研修内容等を調整する方法に加え、今年度は学部学生の短期留学プログラムに同行し研修を受ける方法も選択できることとしました。その結果、同行し研修を受ける方法にて、ケース・ウェスタン・リザーブ大学1名、シンガポール国立大学1名の渡航が決定し、助成金交付を行いました。

教員の研究交流派遣は、小児看護学領域の教員1名からシンガポール国立大学への派遣申請があり、令和7年3月に渡航しました。

昨年度に引き続き、ケース・ウェスタン・リザーブ大学の学生と個別にWebで交流を行うオンラインプログラムも実施しました。今年度は学部生に限らず、大学院生や医学部生にも周知を拡げたことで、それらの学生の参加がありました。

以上の活動に加え、協定校との教員間の交流促進のために、シンガポール国立大学Zhou Wentao氏の招聘や国際的な視点から今後のキャリアを考える機会を提供する事を目的とした「Global Nursing Café」を企画・運営するなど、活発な活動を行いました。

#### (5) F D活動

令和6年度についても、看護学部F D・S Dセミナー及び看護学研究科F Dセミナーを継続して実施し、教育能力の向上を図りました。特に、看護学研究科F Dセミナーでは、令和7年度博士後期課程開設を念頭に、学務委員会と連携を図り、看護学領域における実装研究に焦点を当てた内容で実施しました。

しかし、新任・若手教員教育セミナーについては、対象教員がおらず、実施を見送りました。また、授業改善プロジェクトも対象教員の選定が困難であったため、今年度も若手教員2名が教育に関する学外セミナーを受講することで、授業改善への支援の一助としました。

今年度も、実習委員会及びユニフィケーション推進委員会と協働した実習指導に関するF Dや、教務委員会と協働したカリキュラムに関するF D等、関連する委員会と連携を図り引き続き開催しました。

今年度3年目を迎えるリーダーシップ研修も継続して行い、幅広い層の方へのキャリアカウンセリングの経験を持つキャリアコンサルタントの人財支援ジョイオーラ代表である小島喜美代氏を講師として招き、自身のキャリアの歩みを振り返ることで、それぞれの持つ特性を発揮できるようになることを目的として実施しました。加え、学部教職員の希望者には、講師との個人面談も実施し、自身のキャリアをより深く振り返る機会となりました。

#### (6) 国家試験対策

看護学部父母会の支援を受け、外部講師による看護師国家試験対策講座を計7回18コマ実施しました。本講座は、対面または遠隔受講のどちらも選択ができるハイブリッド形式で実施し、当日受講できなかった学生や復習を行う学生のために2週間限定でのオンデマンド配信も併せて行うことにより、効率的に学習ができる環境を整えて実施しています。

令和6年度は、昨年度と同様に学生代表者と学生委員会委員（教員）が事前に協議し、学生の学修ニーズに合わせて4月中旬の早期から必修問題対策を実施し、更に第1回看護師国家試験模擬試験において、全国順位下位20%であった学生に対する「寺子屋学習サポート会」とした学習指導を3回実施することにより成績下位学生の底上げを試みました。

また、各家庭内での学生への学習支援を促すことを目的に、9月（第2回）及び11月（第3回）の看護師国家試験模擬試験結果を学生保証人あてにも送付することとしています。

保健師国家試験指導においては、教員による対策講座を2回実施すると共に模擬試験を計3回実施しました。

上記の対策等の結果、看護師国家試験（新卒：受験者 99名／合格者 99名、合格率 100%）、保健師国家試験（新卒：受験者 15名／合格者 15名、合格率 100%）となりました。

#### (7) 環境整備

演習等で使用する教育効果の向上を目的とした機器備品の新規購入及び経年劣化している機器備品の更新を行い、学修環境の整備として、令和5年度からの4カ年計画に基づき小児の身体診察シミュレーターの更新等を行いました。令和8年度まで計画的に機器備品を整備していく予定です。

看護学研究科では、令和7年度に開設する博士後期課程の大学院生受け入れのため、医心館の大学院生研究室にフリーアドレス式のデスクとロッカー、プリンター等を整備し、大学院生が研究を行える環境を整えました。博士後期課程完成年度である令和10年まで計画的に研究室の環境整備をしていく予定です。

#### (8) 学生募集イベント（オープンキャンパスなど）

令和6年度オープンキャンパスでは、昨年度と同様に開催日を2日間設け、1日目は医学部との合同開催、2日目は看護学部単独開催とし、昨年度に引き続き人数制限を設けない来場型での開催としました。また、実施企画においては、昨年度、事前予約制としていた「体験演習」を事前予約不要として可能な限り多くの方に体験いただけるようにし、在学生によるキャンパスツアーでは、在学生と参加者がより多く触れ合うことができるよう少人数でのツアーを実施するなどし、来場者の満足度向上に注力しました。

両日の来場者は合計で、655組1,256名（昨年度：666組1,239名）と昨年度とほぼ同数でしたが、参加者アンケート回答者の約95%が教職員・ボランティア学生の対応が良好であったとの回答を得ることができました。

(9) 高大連携の実施

平成29年に愛知県立長久手高等学校との高大連携協定を締結し、平成30年に同校に「医療看護探究C」が設置され、令和6年度に本コース開始後6年目を迎えました。

長久手高等学校との高大連携による「医療看護探究C」を展開することにより、医療看護に対する考えを深めると共に大学の授業に対する関心を高め、より明確な将来像の構築をサポートしています。

令和6年度は、第3学年 20名、第2学年 17名に対して医学部教員、病院看護師のご協力のもと、本学部教員と共に授業を実施し、体験学習を複数取り入れるなど工夫した授業を展開しています。

本コースを受講した令和6年度第3学年20名の内5名が本学部に入学者となり、内1名が一般選抜試験での成績が優秀であったため入学式の宣誓を担当しており、確実に優秀な学生の獲得にも繋がっています。

(10) 看護学教育評価

令和5年度（2023年度）に「適合」の評価結果を受けているが、「検討課題」として記載されたコア・コンセプト、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、科目構成の関連性の提示方法等について、検討を開始しました。なお、認定期間は2024年4月1日から2031年3月31日までの7年間となります。

(11) 入学者選抜に係る奨学制度の拡充

令和6年度入試（令和5年度実施）から、継続的な志願者数の確保と優秀な学生の獲得を目的に一般選抜試験成績上位者（学校推薦型選抜及び社会人等特別選抜合格者の奨学試験受験者を含む。）に対する学納金の一部免除対象者を上位50名から上位100名に拡充しました。導入初年度には、本件対象の入学者が約50%増加しましたが、翌年度の令和7年度入試（令和6年度実施）においては、例年同様の12名に留まることとなりました。本制度による入学者の入学後の成績は、これまで比較的良好な傾向にありますが、引き続き入学者数の動向に注視していく必要があるものと考えています。

(12) 大学入学共通テスト併用型選抜の導入

令和7年度入試（令和6年度実施）から、本学部一般選抜試験を受験し且つ大学入学共通テストにおいて本学部の指定する科目（5教科）のうち2教科以上を受験した者を対象とし、本学部一般選抜試験の国語又は数学及び英語の2教科（200点満点）と大学入学共通テストでの高得点科目2教科（200点満点）とを合わせた400点満点で選抜する「大学入学共通テスト併用型選抜」を導入しました。

本選抜では、一般選抜志願者456名の60%超となる274名が出願し、入学者は本選抜の成績上位3分の1以内から獲得することができており、優秀な学生の確保にも繋がっています。

## ＜総合学術情報センター＞

### 【図書館部門】

#### (1) 学術情報の収集及び整理に関すること

- ① 総合学術情報センター運営委員会で承認された選書を中心に1,395冊（令和5年度：1,360冊）の図書（このうち、電子ブック〈買い切り〉126タイトル（令和5年度：149タイトル）、及び視聴覚資料2タイトル（令和5年度：1タイトル）の受け入れを行いました。
- ② 学術雑誌について、電子ジャーナルを中心に国内外あわせて約4,600誌（令和5年度：約4,500誌）を購読できるようにしました。

学術雑誌の価格高騰等への対処のため、電子ジャーナルパッケージについては引き続きコンソーシアムによる契約を行い、新たに「Company of Biologists Read & Publish」のパッケージを追加しました。これにより、前年より価格を抑えつつ購読追加1タイトル、オープンアクセス出版5タイトルを提供しました。

エルゼビア社の「ScienceDirectトランザクション」については、140論文を追加購入しました。

- ③ DVD動画配信サービスを継続して契約し、13タイトルが視聴可能となり、学部学生の授業等で活用されました。
- ④ 新聞記事検索データベース「ELNETアカデミック」を継続して契約しました。これに伴い、年間定額制で記事検索と本文のイメージ画像を入手できる環境を提供しました。
- ⑤ 令和5年10月中旬に産業医講演会開催に併せて行った企画展示「産業医お薦め本」を引き続き行い、追加希望も含めて令和7年3月31日時点で73タイトルの展示（電子も含む。）を実施しました。加えて、企画展示「ACP意思決定支援」を「人生会議の日」にあたる令和6年11月30日から令和7年3月31日まで行い、35タイトル展示しました。いずれも、令和5年度から蔵書検索システム（OPAC）においてサービスを開始した「カテゴリ検索」に登録し、利用者の便宜を図りました。
- ⑥ データベースの見直しを目的として、令和6年7月2日及び5日に、臨床支援ツール「DynaMedex」と「UpToDate Lexidrug」の利用講習会をそれぞれ開催しました。また、抄録・引用データベース「Scopus」と臨床意思決定支援リソース「DynaMed」に関する無料トライアルと評価アンケートを実施しました。

#### (2) 学術情報の管理及び運用に関すること

- ① 蔵書資料の管理のため、図書館内の所蔵資料及び講座等へ長期貸出中の資料を対象とした蔵書点検を実施しました。
- ② 平成30年の法改正で、ICTを活用した教育での著作物利用の円滑化を図るため、これまで認められていた遠隔合同授業以外での公衆送信についても補償金を支払うことにより無許諾で行うことが可能となりました（授業目的公衆送信補償金制度）。昨年度に引き続き令和6年度も利用申請を行い、ICTを活用した授業に対応可能としました。
- ③ メディカルセンターから電子リソースが利用できるよう、契約を継続しました。
- ④ 図書館システムのバージョンアップを実施し、蔵書検索システム（OPAC）で電子ブックの検索を行えるようにしました。

#### (3) 利用者サービスに関すること

- ① 平日は8時30分から22時00分まで、土・日・祝日は10時00分から18時30分まで通常どおり開館しました（夏季休業等を除く）。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を緩和し、学外者の利用を再開しました。
  - ② 教職員、各学部学生及び各研究科生に対し、自宅等学外からデータベースや電子ジャーナル等の利用できるサービス「Ezproxy」（イージープロキシ：セキュリティと利便性の高いプロキシサーバシステム）の提供を継続しました。
  - ③ 診療支援として、看護部と連携し、看護技術を動画とeラーニングで確認・習得するオンラインツール「ナースング・スキル日本版」を用いた支援を行いました。
  - ④ 出版社主催のデータベースに関するオンライン講習会への参加促進を目的として、学内通知を行いました。（2件/月程度）
- (4) 研究者データベースに関すること
- ① 研究業績の入力・公開の増加を目的として、令和6年7月17日付けで助教以上の常勤教員を対象に、文書による通知を各講座・部局宛に実施しました。その結果、令和6年5月1日時点で研究業績の公開対象となる教員454名に対し公開教員数136名の30.0%であったものが、令和7年3月31日現在で、公開対象の教員451名に対し公開教員数313名の69.4%まで改善しました。
  - ② 令和6年2月以降、コメディカル職員を含む全ての常勤教職員が業績を登録できるようにした結果、放射線技師、薬剤師、社会福祉士計24名の研究業績の入力・公開が行われました。
  - ③ 中央放射線部から依頼を受け、令和6年5月23日に利用講習会を開催しました。

#### 【ICT支援部門】

ICT支援部門では、ICTに係る業務を行うことをその役割としており、令和6年度においては、主にeラーニングシステム及びeポートフォリオシステムに係る業務（管理・操作支援等）として、以下のとおり活動しました。

- (1) eラーニングシステム（授業支援システム（AIDLE-K）、業務支援システム（AIDLE-J））について
- ① 令和6年度においては、595件のコース申請（AIDLE-K:564件（新規作成：251件，継続230件，削除：83件），AIDLE-J：31件（新規作成：1件，継続22件，削除：8件））がありました。
- また、本システムの利用実績（学生、職員のアクセス数）における月平均ログイン数は、授業支援システム（AIDLE-K）で38,427件（※令和5年度：53,328件）、業務支援システム（AIDLE-J）で942件（※令和5年度：912件）でした。
- 本システムのログイン数については、新型コロナウイルス感染症が収束し始めた令和4年以降、対面授業の再開により減少しました。（※令和6年度：472,418件，令和5年度：639,932件，令和4年度：841,192件）
- ② 年度初めの4～5月には重点的に問い合わせや相談に対応しました。（25件/月）  
また、6月以降、個別の問合せや相談に随時対応しました。
  - ③ ICT活用教育の活性化に向けて、外部講師を招き講演会「生成AI導入の現場から見る



教育活用の可能性と課題」を令和7年2月に開催しました。

(2) eポートフォリオシステム (Mahara) について

- ① 利用実績（学生・職員のアクセス数）における月平均ログイン数は2,132件（※令和5年度：1,136件）でした。
- ② 利用者向けのマニュアル改訂，及び新規作成を随時行っており，個別の問い合わせや相談にも対応しました。

【情報基盤部門】

(1) 情報セキュリティ対策

情報セキュリティ対策の重要性はますます高まっています。対策を講じないことによって、大学や個人が直面するリスクは深刻になってきています。これらのリスクを最小限に抑え、組織の信頼性と信用を確保するためには、情報機器を使用する各人が情報セキュリティ対策に必要なことを理解し実践することが必要不可欠です。学生及び教職員における情報セキュリティの意識向上を図るため、次の内容を実施しました。

- ① 令和6年4月に医学部看護学部の新入生向けに愛知県警による情報セキュリティ講習会を開催し、情報知識の修得を図りました。
- ② 継続効果のある標的型攻撃メール訓練を令和6年10月21日（月）及び11月18日（月）の2回実施しました。開封率は1回目7.1%，2回目4.5%であったことから、訓練の一定の効果は認められました。
- ③ 令和6年12月には、外部の専門家に講演依頼を行い、情報セキュリティをテーマに最新動向や具体的な対策等についての講演会を開催しました。
- ④ 情報セキュリティに関する注意喚起や各種情報について、メールやホームページを通じて学内周知を行いました。

## 2 医療活動関連事業

### <大学病院>

#### (1) 医療に関する重点事業

##### ① 教員の採用

令和6年度、専修医を60名採用しました。当院の専修医は、日本専門医機構の定める専門研修制度における専攻医であり、特に当直においては救急搬送された一次・二次救急患者のファーストタッチを行っており、時間外診療および救急外来に大きく貢献しています。

##### ② 臨床工学技士の1名増員

医師・看護師のタスクシフトを計画的に実現するため1名増員を行いました。

##### ③ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士合計3名増員

リハビリテーションにおけるニーズの増大と多様化の結果、依頼件数が増加した廃用症候群、がん患者リハグループ等に対応するため理学療法士、作業療法士、言語聴覚士合計3名増員の増員を行いました。

##### ④ 手術件数確保のための医師の採用

麻酔科医師減少に伴う手術件数減少の食い止めを図るために麻酔科医師を7名の採用を行い、手術件数を維持しました。

##### ⑤ 診療看護師の7名増員

医師のタスクシフトを計画的に実現するため7名増員を行いました。

##### ⑥ 社会福祉士・精神保健福祉士の2名増員

愛知県からの受託事業及び退院支援強化のため2名増員を行いました。

##### ⑦ 管理栄養士の3名増員

病棟専従の管理栄養士を確保するため、3名増員を行いました。

##### ⑧ 薬剤師の2名増員

経過観察病棟への配置及び薬剤師の安定的な確保のため2名増員を行いました。

##### ⑨ 診療用機器の整備

- ・ 購入から10年経過している手術室・GICUの生体情報モニタリングシステム及びGCU・新生児室の生体情報モニターを更新しました。
- ・ 放射線関連機器ではMRIを1台更新しました。
- ・ 検査関連では、腹部エコー、多項目自動血球分析装置の更新や、感染検査室に非常用電源由来の空調設備を整備しました。
- ・ 『高度医療人材養成事業(医師養成課程充実のための教育環境整備)』

次世代型Whole Bodyモニタリング超高度リハシステムをプロリハに導入しました。

#### (2) 令和6年能登半島地震活動報告会開催

令和6年5月9日(木)午後5時30分から大学本館たちばなホールにおいて、令和6年能登半島地震活動報告会を開催し、教職員や学生130名が参加しました。

#### (3) ドクターカーの更新

購入から10年が経過したドクターカーを更新するため、「救急の日」である令和6年9月9日(月)から、「だれひとり取り残さない、全患者救命を目指して。」をスローガンとするクラウドファンディングを実施し、延べ381名の方から計17,664,000円をご寄附いただ

きました。

(4) 次世代型リハビリテーション診療拠点 《プロリハ》リハビリテーションの誕生

令和7年1月23日（木）付けで、「Rehabilitation Breakthrough, Beyond Limitation」をテーマに、新たなリハビリテーション医療の拠点として「《プロリハ》リハビリテーション」を開設し、同日に開設式典を挙行了しました。《プロリハ》は、次世代型全身モニタリングシステムを活用した最先端のリハビリテーション施設であり、スタッフの高度な技術と知識を最大限に発揮できる設備を整えました。

(5) プレミアム人間ドック

2014年の新病院OPEN時に開始した人間ドックですが、10年が経過し料金を見直すと同時に検査項目を増やし“プレミアム人間ドック”としてリボーンしました。

結果説明をする医師も臨床経験豊富な特命教授が担い利用者の満足度が上がり、昨年は前々年の倍の方にご利用いただきました。

＜愛知医科大学メディカルセンター＞

(1) メディカルセンターの令和6年度の状況

○ 「連携の年」として次の対応をしました。

- ・医療と介護の連携の推進－高齢者施設等と医療機関の連携強化－

令和6年度介護報酬改定において、高齢者施設等内で対応可能な医療の範囲を超えた場合に、協力医療機関との連携の下でより適切な対応を行う体制を確保する観点から、在宅医療を担う医療機関や在宅医療を支援する地域の医療機関等と実効性のある連携体制を構築するために見直しが行われています。これを受け当院においても、近隣の特別養護老人ホーム等と「協力医療機関に関する協定書」を締結しました。

- ・トヨタ記念病院との連携強化（連携システム「ひいらぎシステム」の構築）

「ひいらぎシステム」は岡崎市民病院との間に構築した転院連携システムで、依頼後2日以内を目標に転院依頼後は速やかに受け入れる運用として令和4年8月から開始し、これまでブラッシュアップしながら運用しています。これをベースにトヨタ記念病院とも令和6年10月から運用を始めました。

- ・CAREBOOK（ケアブック）クラウドサービスの導入

入退院支援業務の負担軽減と効率化を目的にクラウドサービスを導入することで、従来の電話やFAXによる転院調整業務はチャット機能を用いてやり取りができるようになり、また、空床状況の共有（システム上で確認可能）ができ、業務負荷軽減が期待できます。

○ 令和6年度能登半島地震にかかる災害の被災者受け入れ

令和6年1月に発生した能登半島地震で被災した高齢者施設から1月11日（木）2名の受け入れを始め4名の患者さんを受け入れました。被災者の方々は日用品が揃わない中での入院となり、近隣の企業様から靴の提供を頂き、お渡しをさせて頂きました。

○ 外来診療の充実

令和6年8月から金曜日午後に皮膚科の外来を始め、多くの患者さんにご来院頂いています。また令和7年度からはリハビリテーション科の常勤医も着任する事となっており、午後の外来を開く予定をしています。引き続き地域医療への貢献に努めてまいります。

(2) 救急体制の充実

二次救急の365日化が令和5年4月から開始され、救急隊からの搬送件数は大幅に増加し、昨年度の救急車の受入れ件数は前年の1.3倍となる1,234件となりました。更なる救急医療への貢献を目指し、搬送時に起きた問題点等について岡崎市消防本部との情報交換を行い、スムーズな救急患者の受入れ体制の構築、不応需率の削減を目指します。

(3) 人的整備

愛知医科大学50周年記念事業の一環としてリハビリテーション医療の質の向上を図るため、メディカルセンター医療職員の要員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）を合わせて7名を増員しました。

(4) 施設設備整備

① エアコン（GHP）保守事業

北斗病院より事業承継後エアコンの更新を順次行ってきましたが、特に病棟系エアコンは稼働率が高いため、劣化が進むと故障頻度が多くなって来ます。今回保守契約を締結することで、故障を未然に防ぐとともに、突発的な故障にも早期復旧ができるようになり、患者さんの療養環境の低下を防ぐことを目的に保守点検契約を行いました。

② 電話交換機更新事業

電話交換機設備は、2014年11月に整備されてからメーカーの装置安定稼働寿命の7年を超える9年が経過し、バッテリーの劣化が見られているうえ、メーカーの部品供給も不安定となることから電話交換機を更新しました。

(5) 診療関連機器整備

令和6年度は「連携の年」と銘打ち活動を行ってきました。その結果、入院延患者数は16.4%増加、外来延べ患者数は9.9%増加しました。一方、医療機器は経年劣化も進んでいること、また、充実したリハビリテーション医療の提供を図るため、関連する医療機器等整備しました。

- ・ 負荷量可変式エルゴメータ
- ・ 長下肢装具
- ・ 移動式練習用階段
- ・ 連動昇降式平行棒

(6) タクシー待機所の整備

当院は電車駅前から離れており、バスによる来院は可能ですが、決して公共交通機関が便利とは言えずタクシーを利用される患者さんも多くみえます。また、昨年度より「透析患者に対する送迎サービス」を始めています。そのためタクシー専用電話を配置していますが、昨今のタクシー台数の減少に伴い、配車の依頼をしてから到着までに時間を要していました。このことからタクシー待機所を整備し、利用者の待ち時間短縮を図りました。

(7) 感染防止対策関連機器の整備

令和7年1月頃インフルエンザと新型コロナウイルス感染が市中で流行し、色々な病院で受入れができないという時期があり、当院も例外になく患者さんの受け入れが困難な状況となりました。その要因の一つに感染患者使用後の病室の除菌作業に人手や時間がかかることがあります。そこで救急患者の受け入れ困難な状況とならないよう、また院内でアウトブレ

イクを起こさないためにも、クリーンパーテーションや紫外線照射装置を整備しました。

(8) 本院一分院間の連携体制強化（大腿骨頸部近位部骨折，心不全，TACU）

分院の強み（回復期リハビリテーション病棟での充実したリハビリテーションの提供）を生かした本院の患者本位のシームレスな連携体制を構築し，令和6年1月から本格的に運用が始まりました。利用した患者さんからは「リハビリテーションの内容」に満足したとの声が多く聞かれました。引き続き分院の強みを生かした連携や充実したリハビリテーションの提供に努めていきます。また，この仕組みをTACUからの転院患者さん（骨折患者）にも広げていくため，転院連携会議が立ち上がり協議を始めました。

(9) ICT機器の導入による業務効率化

① タブレット端末の整備

院内では医師や医療職，事務職が集まり会議や委員会等が開催されていますが，参加者のスケジュール調整や場所の確保，資料の作成等に時間を要しているため，業務の効率化を図ることを目的にタブレット端末を整備しました。

② 監視カメラ設備の整備

病棟をはじめとする院内での安全管理や防犯上の観点から，監視カメラを整備しました。

## <眼科クリニックMiRAI>

(1) 眼科クリニックMiRAIについて

【開院時の構想と概要】

愛知医科大学眼科クリニックMiRAIは，令和4年7月1日に開院しました。本クリニックは，大学病院の専門知識，技術，医療機器を活用し，産学連携型の最先端眼科クリニックを目指して設立されました。緑内障，網膜硝子体，眼窩涙道の分野において，専門家による外来診療を提供し，日帰り手術にも対応してきました。また，株式会社メニコンとの連携を継続し，近視進行抑制研究の拠点としての機能も果たしました。令和6年度は3年目を迎え，地域貢献と先進医療の実践を両立する体制づくりに注力しました。

【眼科クリニックMiRAIの診療体制】

診療科：眼科，眼形成・眼窩・涙道外科

職員配置：常勤医師2名，非常勤医師2名，看護師5名，看護補助1名，看護補助派遣2名  
視能訓練士5名，事務4名，事務委託2名，事務パート1名，事務派遣4名

（令和7年3月31日現在）

【令和6年度の活動と実績】

令和6年度は，日帰り手術および専門外来を通じた高度な医療の提供に加え，研究・啓発活動の強化を図った一年となりました。特に，近視進行抑制の臨床研究においては，株式会社メニコンとの産学連携のもと，研究参加者（被験者）の増加を目指した広報活動やイベントの開催を実施しました。令和6年6月には，メニコン社と共同で近視に関する一般向けイベントを開催し，保護者や教育関係者を対象とした講演やパネル展示を通じて，近視予防・抑制に対する意識向上を図りました。これにより，研究協力者の登録数が前年より増加し，

地域社会との結びつきが一層強化されました。

また、「世界緑内障週間（3月）」に合わせて「ライトアップ in グリーン運動」に参加し、クリニック外観をグリーンにライトアップしました。あわせて、啓発ポスターの掲示や院内でのミニイベントも実施し、地域住民への病気理解の促進を図りました。

市民公開講座も継続的に開催し、白内障・緑内障・網膜硝子体など身近な目の病気をテーマに、わかりやすく解説する機会を提供しました。

さらに、広報活動として、交通広告・地域情報誌など多様な媒体を活用し、クリニックの専門性や活動を広く周知しました。その結果、紹介患者数も増加し、地域における認知度がさらに高まりました。

## (2) 施設設備の整備状況

令和6年度は、施設の維持管理と将来的な安全性の確保を目的として、老朽化対策を重点的に実施しました。特に、以下の重要設備の更新・整備を行いました。

- チラー設備の更新：空調冷却機能の安定供給を図るため、既存設備の入替えを実施しました。
- 非常用電源の整備：停電時にも医療機器が継続稼働できる体制を整備しました。

これらの取り組みにより、災害や緊急時への備えが強化され、患者と職員の安心・安全な環境が確保されました。

### 《日帰り手術数》

|            |   |        |
|------------|---|--------|
| 白内障手術      | ： | 426件   |
| 硝子体手術      | ： | 84件    |
| 緑内障手術      | ： | 135件   |
| その他の手術     | ： | 7件     |
| 光凝固術（レーザー） | ： | 191件   |
| 眼形成        | ： | 262件   |
| 合計         | ： | 1,105件 |

### 3 大学運営関連事業

#### (1) 大学運営審議会

学長と副学長を中心に教育・研究・診療に係る重要事項及び将来構想等を審議する機関として発足した「大学運営審議会」においては、令和6年度は全17回（メール審議を含む。）を開催し、様々な事項への対応等を審議してきました。

年度始めに両学部・両研究科及び大学附属施設に対し、大学重点項目に照らして当該年度の到達目標と方策を提示させ、年度末に評価を行い改善することで、PDCAサイクルの確立とガバナンス体制の強化に努めています。

両学部における教授選考に係る委員会として、今年度新たに医学部6件及び看護学部2件の教授候補者選考委員会を立ち上げた結果、昨年度の継続を含め医学部4名及び看護学部2名の教授が選考され、医学部3件及び看護学部1件が選考継続中となっています。

#### (2) 連携協定

##### ① 修文大学との連携・協力に関する基本協定

本学と修文大学は、教育・研究活動の充実と学術並びに科学技術の振興に資することを目的とする連携・協力に関する基本協定を締結し、令和7年2月26日（水）午前10時から、本学大学本館711特別講義室において、両大学の関係者出席の下、「愛知医科大学と修文大学との連携・協力に関する基本協定締結式」が行われました。

このたびの協定締結により、相互の特徴を活かすことで質の高い人材を輩出するとともに、教育・研究活動等の成果を社会に還元することが期待されています。

##### ② 日本水難救済会との洋上救急業務の協力に関する協定

本学と公益社団法人日本水難救済会は、海上保安庁の巡視船・航空機等を用いて行う洋上救急業務を円滑に実施するための相互協力に関する協定を締結し、令和6年6月27日（木）午後2時から、大学本館711特別講義室において、両機関の関係者出席の下、「洋上救急協力病院協定書締結式」が行われました。

この協定により、洋上船舶内で発生した傷病人の治療のために要請に応じて、本学の医師及び看護師等を派遣することとなります。

#### (3) 寄附講座

医学部に次の六つの寄附講座を設置しており、それぞれの設置目的に合わせた運営を行いました。

- ・ 造血細胞移植振興寄附講座 （設置期間：R5.4.1～R8.3.31）
- ・ 腎疾患・移植免疫学寄附講座 （設置期間：R6.4.1～R9.3.31）
- ・ 地域総合診療医学寄附講座 （設置期間：R6.4.1～R11.3.31）
- ・ 分子疫学・疾病制御学寄附講座 （設置期間：R4.4.1～R8.3.31）
- ・ 近視進行抑制寄附講座 （設置期間：R4.4.1～R9.3.31）
- ・ 痛み医療開発寄附講座 （設置期間：R5.6.1～R7.5.31）

#### (4) 地域連携関係

地域貢献・地域連携事業として各種事業を実施しました。

##### ① 愛知医科大学公開講座

大学本館のたちばなホールを会場に、令和6年度は昨年度と同様、講師の講演時間を3

0分に短縮し、1日3名の講演を行い、3日間で9講座を開催しました。また、当日の講演動画をホームページに公開するとともに、大学公式SNSを活用し広くPRを図りました。

② 市民大学公開講演会（名古屋市教育委員会共催）

名古屋市教育委員会と共催にて、イーブルなごやにおいて2講座を開催しました。

③ 愛知医科大学公開講座（長久手市連携事業）

長久手市との連携事業として、長久手市保健センターにて1講座を開催しました。

④ 愛知医科大学公開講座（尾張旭市連携事業）

尾張旭市との連携事業として、尾張旭市スカイワードあさひにて1講座を開催しました。

⑤ 愛知医科大学公開講座（瀬戸市連携事業）

瀬戸市との連携事業として、瀬戸市やすらぎ会館にて1講座を開催しました。

⑥ わくわく体験リニモツアーズ2024

わくわく体験リニモツアーズ2024として、令和6年7月25日（木）、26日（金）の2日間で「“コードブルー”の世界 救急医療について学び、考えてみよう！」と題した体験講座を開催し、多くの小学生及びその保護者にご参加いただきました。

(5) 災害医療教育等関係

① 災害医療コーディネート研修の開催

愛知県、愛知県医師会及び本学（災害医療研究センター）との三者で共同開催している「災害医療コーディネート研修」を令和6年6月30日（日）及び令和7年1月12日（日）に開催し、医師のみならず、コメディカルや事務職員など、幅広い職種の方々が2日間で107名参加し、大規模災害時において医療機関等がどのような被害を受け、それに対してどう備えるべきかについて過去の活動経験を踏まえ講演が行われ、実際の活動状況を学ぶ機会として参加者から好評を得ました。

② 厚生労働省老人保健健康増進等事業

令和6年度に厚生労働省老健局の補助金事業として、「広域的長期浸水（湛水）・液状化被害による長期孤立が予測される海拔ゼロメートル地帯における災害時福祉医療連携ネットワークモデルの作成を目指した調査研究事業」が採択され、14,349千円の補助金を獲得しました。

本事業は関連市町村、高齢者介護施設及び医療機関等で検討委員会及び作業部会を設置し、能登半島地震での支援経験から、大規模災害時に長期広域孤立が予測されている海拔ゼロメートル地帯をモデル地域とし、災害時保健医療福祉情報連携ネットワークの構築を目指し、愛知県及び海拔ゼロメートル地帯の市町村、高齢者介護施設、医療機関等による実証訓練を実施し、災害時の効果的支援に向けて検討を重ねてきました。

この結果として、本学教員の能登半島地震での支援経験及び本事業での知見を踏まえ、各施設がBCPや防災マニュアル行動計画に基づき収集した施設の人的・物的被害情報をアプリ機能による集計後、要避難者、要医療者を選定するとともに施設として避難、籠城、業務継続かの方針を決定し、市町村、都道府県と情報共有をし、市町村・都道府県が支援方針を確認し、医療搬送先、避難先、避難方法、物品支援等の支援を行うための行動計画として「災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム行動計画（D H-W ins ap）」をとりまとめました。



③ 愛知県委託事業「令和6年度介護施設等防災リーダー養成研修事業」

近年頻発している大規模地震などの激甚災害に対して、要配慮者を預かる介護施設等がどのように対策を講じて備えていくかを考え、「防災リーダー」を養成することを目的として、令和3年度以降、愛知県から本学が受託しています。今年度は、令和6年9月から令和6年11月までの間に全10回の研修会を3会場で延べ6日間開催し、各施設における危機意識の向上及びBCPの見直しに繋がりました。

(6) 広報事業

① 東海の大学力

「東海の大学力2024」は、『大学選びも、新しい時代へ』をテーマとし、理事長・学長及び両学部長の取材を通して記事の編集が行われ、「東海の大学力」への掲載はもとより、朝日新聞朝刊（名古屋本社版）、朝日新聞デジタル特集ページ、協賛大学情報ミニブックの各メディアにおいても紹介されました。

② 救急の日新聞広告

平成29年度から実施している9月9日「救急の日」のブランド広報について、令和6年度は9月9日が休刊日のため、9月8日（日）の中日新聞朝刊にカラー全15段広告を掲載し、「救急医療＝愛知医科大学」のイメージ定着を図りました。

③ ホームページ

大学・病院広報の重要な媒体として位置付けられるホームページについては、受験生、患者を始めとしたステークホルダーにとって、分かりやすく魅力あるホームページとなるよう心掛けて作成しています。

ホームページトップには「ピックアップ」、「トピックス」として、教育・研究・診療に関するニュース等を掲載し、大学・病院の魅力を発信しています。令和6年度は、「ピックアップ」に大学4件、病院6件、「トピックス」に大学10件、病院2件の情報を掲載し、様々なステークホルダーに対する情報発信に努めました。

④ 公式SNSの運用開始

令和5年9月から運用を開始した本学公式SNS（X, Instagram）については、令和7年3月時点で、フォロワー数がX：290名、Instagram：867名、投稿累計数がX：369件、Instagram：425件となり、SNS上における本学の認知度の向上が認められています。

また、令和7年度については、SNSの広告配信を計画しており、大学・病院の広報強化に努めてまいります。

(7) シャトルバスの運行

本院とメディカルセンター間を定時運行しているシャトルバスについては、職員のみならず患者家族や見舞客の利便性向上のため、令和6年2月から運行便数を3本から4本に増便して運行しています。

(8) 研究開発プロジェクト

本プロジェクトでは、若手研究者育成の一環として、令和6年度科学研究費助成事業（若手研究）の採択を目標に、科研費申請数増加プロジェクト（Jump up作戦）を実施しました。

また、学内の研究を活性化するため、分野横断的な研究活動を支援する研究ユニット創出支援事業を実施し、本事業により設置した研究ユニットへの研究費支援及び「学内研究ユニ

ット創出支援事業成果発表会」を開催しました。

なお、11の各学内研究ユニットへそれぞれ80万円の研究費を配分しました。

また、学内研究ユニット創出支援事業成果発表会においては、研究費の配分を受けた11ユニットが口演発表を行ったほか、学内研究者から、25件のポスター発表が行われました。

#### (9) 地域連携関係

##### ① 長久手市との連携事業等

平成24年1月に長久手市と連携協定を締結していますが、平成29年度には、長久手市の、同市と連携協定を締結している4大学（本学、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学）が連携し、長久手市大学連携基本計画「長久手市大学連携推進ビジョン4U」を策定しました。令和6年度は、連携事業の実施方法が変更され、定期的な実施としていたものを変更し、各大学がワーキング活動を実施できる環境が整った時点で申し出て実施することとなりました。本学では、今年度、ワーキング活動は行わず、長久手市大学連携調整会議との連携を図りながら、次回実施に向けて継続して検討していくこととなりました。今後も、長久手市との連携を通じて、多面的に地域社会との連携を推進していきます。

#### (10) 研究活動等

令和6年度における科学研究費の採択件数及び受入れ金額、受託研究費、共同研究費及び一般財団等からの研究助成の受入れ件数・金額等は、以下のとおりでした。

##### ・ 科学研究費

|         |      |                        |
|---------|------|------------------------|
| 文部科学省等  | 160件 | 298,090千円（前年度比 122.7%） |
| 厚生労働省   | 7件   | 43,060千円（前年度比 110.2%）  |
| ・ 受託研究費 | 49件  | 605,062千円（前年度比 91.0%）  |
| ・ 共同研究費 | 10件  | 50,051千円（前年度比 132.1%）  |
| ・ 研究助成  | 25件  | 86,720千円（前年度比 165.5%）  |

また、奨学寄附金については、196件、106,695千円（前年度比78.5%）の申込みがありました。

若手研究者育成の一環として、令和7年度科学研究費（若手研究）の採択を目標に、科研費申請数増加プロジェクト（Jump up作戦）を実施し、27名に対して申請支援を行いました。

なお、令和6年度科学研究費の申請件数は、169件（前年度比103.0%）となりました。

##### ① 公的研究費等の不正防止に関する体制整備等

令和3年2月に国の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（ガイドライン）が改正され、研究機関のガバナンス強化、意識改革などを始めとして国の公的研究費に係る不正防止の取り組みがより強化・厳格化されることとなりました。

これを受けて、令和3年度から引き続き、監事の研究不正防止活動への関与の強化として、監事との連携・情報共有を目的とした連絡会議、大学運営審議会へ監事の出席を得ての意見の聴取、同審議会への研究不正防止活動実施に関して監事から、研究不正防止活動は適正に行われており、これを継続すること、及び研究費執行のモニタリングを行い、より本学の体制に合った研究不正防止体制の整備を図っていく必要があるとの勧告が行われたほか、研究不正防止の意識高揚を図るための啓発活動として、学内の研究不正防止活動

の周知等を実施しました。

また、研究費の不正使用等の防止・研究活動における不正行為の防止を目的としたコンプライアンス教育及び研究倫理教育については、日本学術振興会の構築したeラーニングコース「eL CoRE」により実施しました。

## ② 研究創出支援センター関係

研究創出支援センターのバイオバンク部門は、臨床研究における研究基盤である臨床検体を、横断的に質を保って保存供給することにより、本学の臨床研究をより推進することを主たる目的として設置したものです。運営には学内関係部署との連携や、専門的課題の検討が必須であることから、研究創出支援センター運営委員会に専門部会である「バイオバンク部会」を設け、所要事項の審議を行う体制となっています。将来的には、本学で蓄積された臨床検体について、学外機関との共同研究、或いは、学外研究機関に供与することにより広く医学研究の発展に寄与することを目指しており、平成29年12月からこの収集に実際に着手し、これまで堅調に検体数を増加させ、令和5年度末には1,400余りの検体を収集することができました。

また、併せて、バイオバンクにおいて収集した臨床検体の管理・配布に係る規則を定め、臨床検体を学内・学外の研究活動に対して供与する体制を整え、令和6年度には、学内研究者（循環器内科）から、生体試料の管理を受託しただけでなく、学外（東京科学大学）へは提供を行い、いずれも本試料を使用した研究に着手されました。

## ③ 知的財産関係

本学が行っていた特許出願のうち、次の各出願について、審査等が完了し特許登録されました。

### a. 特許権の名称：神経核内封入体病患者の検出方法

発明者：曾根淳（加齢医科学研究所・講師）他4名

特許権者：学校法人愛知医科大学、曾根淳、公立大学法人横浜市立大学

登録番号：特許第7523774号

### b. 特許権の名称：ALS患者の予後予測の検査方法、検査キット及び医薬のスクリーニング方法

発明者：祖父江元（学長）他4名

特許権者：学校法人愛知医科大学

登録番号：特許第7599676号

### c. 特許権の名称：共培養システム

発明者：岡田洋平（加齢医科学研究所神経iPS研究部門・教授）他1名

特許権者：学校法人愛知医科大学

登録番号：特許第7654238号

また、本学の知的財産に係る法令上の諸問題に関する指導、助言等を受けることを目的として、外部の弁理士に知的財産権アドバイザーを委嘱していますが、平成30年度から引き続き、内容に応じた具体的な調査（先行技術等）を依頼できる体制で研究者等からの知的財産に係る相談に対応し、研究成果等の積極的な展開（特許出願等）を推進しました。

## ④ 各種業務システム開発

研究支援課では、従来からAccessを用いて構築した各種のデータ管理システムを使用していましたが、この維持が困難となり、業務効率の低下を招いていたことから、令和4年度から、重点事業により業務システム開発等を行い、科研費管理システム「科研費プロ」、主要業務のデータ管理等システム「奨学寄附金管理システム」、「納品・検収管理システム」、「臨時職員管理システム」の4システムを開発、使用を開始したほか、各種様式等の掲載や、助成金等公募情報の掲載、研究費執行に係る各種情報提供に使用している研究支援課ホームページの改修を行いました。

令和6年度からこれらの運用を開始しており、開発業者である株式会社エデュースでは迅速かつ懇切丁寧なサポート体制を構築していただき、円滑なシステムの運用、維持が可能となりました。

#### (11) 教員評価制度の処遇反映

令和6年度に実施した令和5年度分の教員評価において、前回に引き続き、評価結果の処遇反映を行いました。教育及び研究の活動結果を順位付けし、医学部32名、看護学部3名に対し、賞与での処遇反映を行いました。

#### (12) 職員健康診断Ⅲ期・Ⅳ期実施における業務委託

職員健康診断のうち第Ⅲ期（10月）・第Ⅳ期（1月）分について、外部業者へ委託することで、健診体制の統一及び業務の効率化を図りました。

これまで当該健診は愛知医科大学病院内で実施しており、一部診療科の医師による判定業務や、各検査部門への業務負担の増加が課題となっていました。

また、健診結果の集計に時間を要し、通知までに2～3か月を要する状況でした。

委託化により、健診結果は1か月以内に通知が可能となり、迅速な職員の健康管理に寄与しました。加えて、受診が同一会場内で一括して行えるようになり、未受診項目の減少と受診率の向上にもつながりました。

#### (13) 勤怠カードリーダーおよび打刻ソフトウェア更新

本事業は、老朽化した勤怠カードリーダーおよび管理ソフトウェアの更新を目的として実施しました。更新前の機器は導入から12年が経過し、補修部品の供給もすでに終了していたことから、メーカーによる修理が不可能となり、突発的な故障リスクが高まっていました。

また、勤怠管理ソフトウェアについても、令和7年9月に保守終了を迎える予定であり、継続利用が困難な状況にありました。

今回の更新により、カードリーダー本体のリースが不要となったほか、ソフトウェアの刷新により勤怠サーバも不要となり、サーバ更新にかかる費用を削減することができました。

これにより、保守費やリース費などの経費削減が見込まれるとともに、システムの安定稼働と業務継続性の確保にもつながりました。

#### (14) 働き方改革への取り組み

医師の勤務管理については、労働時間の短縮に向け、変形労働時間制の導入や、新勤務管理システムDr. JOYを導入し、労働時間管理、健康管理の徹底を行いました。

このDr. JOYは、医師がビーコンタグを携帯することで、出退勤の自動打刻、勤務中の在院場所の検知や、労働時間の管理を行うシステムになります。

長時間労働医師に行う面接指導については、対応に苦勞されている大学が多い中、産業医

である鈴木孝太教授のご協力の下、面接指導の先生方に負担がかからないよう面接フローの構築や、本学独自の面接指導記録用紙を作成し、緊急性を要する場合には、即時産業医の面談を受けることができる仕組み作りを行ったことで、医師の働き方改革で求められている、医師の健康確保に向けた取組みを行っています。

#### (15) 省エネルギーの取組み

省エネ法により、本学は第一種エネルギー管理指定工場等に指定されており、5年度間平均エネルギー消費原単位を年1%以上低減することなどが求められています。実践している省エネルギーの取組みとしては、設備投資の面では熱源、空調機、エアコン及びLED照明等における高効率機器や適正能力機器への順次更新、また運用の面ではきめ細やかな空調や照明の運転管理のほか、ユーザーに向けた省エネ啓蒙活動等により、エネルギー消費量の抑制に日々取組んでおります。また省エネ法の改正にも準拠すべく、非化石エネルギーの転換に向けた取組みとしてソーラーカーポートの導入検討など、中長期における省エネ計画も逐次進めております。さらに今後は、国際基準の大学を目指していく上でも、より広義なSDGsや2050年カーボンニュートラルの達成に向けた取組みも必須となっていくことが予想される中で、本学でも脱炭素社会に向けた貢献活動の一環として、病院の平面外来駐車場において電気自動車用の充電器を3台分設置しました。

#### (16) 3号館（基礎科学棟）及び4号館（看護学部棟）に係る底地の購入

この土地は、本学開学当初から借用しており、キャンパス内で唯一の借地として残っていましたが、今般、売却いただけることとなり、令和6年度に売買契約を締結し、所有権移転は令和7年度に行う予定としています。この土地は、既存校舎（3号館及び4号館）の底地で、本学に欠かせない土地であり、今後もキャンパス用地として活用してきます。

#### (17) 施設設備整備関連

##### ① 3号館（基礎科学棟）空調設備更新工事

3号館（基礎科学棟）の一部エリアのエアコンは、設置から23年が経過し期待寿命を大きく超過していることから故障のリスクが高く、また故障した際には部品の調達も困難であり長期間、冷暖房ができなくなるおそれがあるため、室内環境の維持を図るべく当該エアコンを更新しました。また最新モデルのエアコンに更新したことで、消費エネルギーもおおよそ半減され省エネにも寄与しています。

##### ② 構内電力ケーブル更新工事

キャンパス内には、各棟に電気を供給するための高圧電力ケーブルが全部で数十本ほど地中等に張り巡らされており、期待寿命である約20年を目安に経年劣化したケーブルを順次更新することで、構内の電源供給の安定化を図っています。令和6年度は、分岐キュービクルから5号館（総合実験研究棟）へ送電しているケーブルを対象に更新を実施しました。

##### ③ G-2, G-3非常用発電機廃止に係る実施設計

G-2, G-3非常用発電機は、停電時にC棟及びD棟それぞれに送電するための自家用発電機であり、いずれも期待寿命を超過し経年劣化により信頼性が大きく低下しているため、更新計画の各種検討を重ねてきましたが、法令及び費用等のクリアすべき課題も多いことなどから、当該発電機の役割を中央棟の非常用発電機でもって代替するように改

修工事を行うことで、最終的には廃止とする方針の計画としました。令和6年度は、廃止へ至るに必要な送電及び制御系の改造、撤去等の一連の改修工事のための実施設計を行いました。

④ 5号館(総合実験研究棟)空調設備更新工事

5号館(総合実験研究棟)の空調機は、設置から35年が経過しているため、機器の機能劣化が進行し、また故障リスクも増加していることから、機器を更新し実験動物の飼育環境の安定維持を図ります。また、適切な空調能力の機器を検討・導入することで、エアバランスの改善だけでなく、一部過剰な空調エネルギーも改善し省エネに寄与することも目的としています。本工事は5か年計画とし、第4年次である令和6年度は大動物系統の空調設備更新を実施しました。

⑤ 中央監視設備更新工事

中央監視設備は、キャンパス内の冷暖房、換気、給排水等に至る様々なライフライン設備の状態を常時運転監視し、設備に異常が発生した際には即時にその情報を知らせることで、建物の安定的な運用を維持することに寄与しています。その監視設備を構成する監視パソコンや制御機器類等は設置より10年が経過し、メーカーサポートも終了しているため、後継システムへの更新や、付随して監視容量のアップ、またシステム構成もシンプル化することで今後の故障による影響やリスクの低減も図ります。本工事は4か年計画とし、第2年次である令和6年度は各棟の監視設備における新システムへの移行や空調コントローラー等の制御機器の更新を実施しました。

⑥ 電力監視装置更新工事

電力監視システムは、キャンパス内の電力供給の状態を常時監視し、停電や地絡等の電気の異常が発生した際には即時にその内容を知らせるシステムであり、日々の安定した医療・教育・研究に寄与しています。そのシステムを構成する監視パソコンや各電気室の制御機器等は設置より10年が経過したため、全体システム及び期待寿命を迎えた制御機器等を順次更新します。本工事は4か年計画とし、第4年次である令和6年度は直送系と呼ばれる系統の電力監視システムを新システムへ移行し、これにより本工事はすべて完了しました。

4 学部・大学院関係

(1) 令和7年度入学生

|                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 医学部            | 1 1 6 名（内推薦入学者 2 0 名） |
| 看護学部           | 1 0 4 名（内推薦入学者 4 1 名） |
| 大学院医学研究科       | 2 8 名                 |
| 大学院看護学研究科 修士課程 | 1 4 名                 |
| 博士後期課程         | 6 名                   |

(2) 令和7年度医学部入学試験

| 区分                                   |            | 入学定員         | 志願者数  | (前年度)   | 合格者数 | (前年度) | 入学者数 | (前年度) |
|--------------------------------------|------------|--------------|-------|---------|------|-------|------|-------|
| 学校推薦型選抜(公募制)                         |            | 約20名         | 85    | (84)    | 20   | (20)  | 20   | (20)  |
| 国際バカロレア選抜                            |            | 若干名          | 3     | (5)     | 3    | (3)   | 2    | (2)   |
| 一般選抜                                 | 正規合格       | 約70名         | 2,179 | (2,212) |      |       |      |       |
|                                      | 繰上合格(第1補欠) |              |       |         | 216  | (199) | 55   | (40)  |
|                                      | 繰上合格(第2補欠) |              |       |         | 27   | (106) | 14   | (24)  |
|                                      | 計          |              |       |         | —    | (—)   | —    | (—)   |
| 大学入学共通テスト利用選抜                        | 正規合格       | 約15名         | 988   | (872)   |      |       |      |       |
|                                      | 繰上合格(第1補欠) |              |       |         | 43   | (40)  | 12   | (13)  |
|                                      | 繰上合格(第2補欠) |              |       |         | 8    | (6)   | 3    | (2)   |
|                                      | 計          |              |       |         | —    | (—)   | —    | (—)   |
| 学校推薦型選抜(愛知県地域特別枠A方式)                 |            | 約5名          | 20    | (13)    | 7    | (5)   | 7    | (5)   |
| 大学入学共通テスト利用選抜<br>(愛知県地域特別枠B方式)       | 正規合格       | 約5名          | 76    | (41)    |      |       |      |       |
|                                      | 繰上合格(補欠)   |              |       |         | 3    | (5)   | 3    | (2)   |
|                                      | 計          |              |       |         | —    | (5)   | —    | (3)   |
|                                      | 計          |              |       |         | 10   | (15)  | 10   | (10)  |
| 大学入学共通テスト利用選抜(後期)<br>※令和7年度入学者選抜から廃止 |            | 正規合格(繰上合格なし) | (約5)  | (77)    |      | (5)   |      | (4)   |
| 合計                                   |            | 115名         | 3,351 | (3,304) | 327  | (394) | 116  | (115) |

◆ 2025年度(令和7年度)入試変更点  
一般選抜の募集人員を約65名から約70名へ変更  
大学入学共通テスト利用選抜(前期・後期)を一本化

(3) 令和7年度看護学部入学試験

| 区 分            |                  | 入学定員 | 志願者数  | 前年度 | 合格者数 | 前年度  | 入学者数 |     |      |      |      |      |
|----------------|------------------|------|-------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|
|                |                  |      |       |     |      |      | 男    | 前年度 | 女    | 前年度  | 計    | 前年度  |
| 学校推薦型選抜        | 指定校制             | 約15名 | 19    | 12  | 19   | 12   | 1    | 0   | 18   | 12   | 19   | 12   |
|                | 公募制              | 約15名 | 78    | 45  | 22   | 20   | 0    | 1   | 22   | 19   | 22   | 20   |
|                | 計                | 約30名 | 97    | 57  | 41   | 32   | 1    | 1   | 40   | 31   | 41   | 32   |
| 社会人等特別選抜       |                  | 若干名  | 1     | 1   | 0    | 1    | 0    | 0   | 0    | 1    | 0    | 1    |
| 一般選抜           |                  | 約45名 | 456   | 400 |      |      |      |     |      |      |      |      |
|                | 正規合格者<br>(うち免除者) |      |       |     | 158  | 213  | 3    | 4   | 26   | 62   | 29   | 66   |
|                | 繰上合格             |      |       |     | (98) | (95) | (1)  | (3) | (11) | (14) | (12) | (27) |
|                | 計                |      |       |     | 37   | 0    | 0    | 0   | 12   | 0    | 12   | 0    |
| 大学入学共通テスト併用型選抜 |                  |      |       |     | 195  | 213  | 3    | 4   | 38   | 62   | 41   | 66   |
| 大学入学共通テスト併用型選抜 |                  | 約 5名 | 274   | —   |      |      |      |     |      |      |      |      |
|                | 正規合格者            |      |       |     | 86   | —    | 0    | —   | 5    | —    | 5    | —    |
|                | 繰上合格             |      |       |     | 0    | —    | 0    | —   | 0    | —    | 0    | —    |
|                | 計                |      |       |     | 86   | —    | 0    | —   | 5    | —    | 5    | —    |
| 大学入学共通テスト利用選抜  | A方式              | 約10名 | 295   | 246 |      |      |      |     |      |      |      |      |
|                |                  |      |       |     | 140  | 176  | 1    | 1   | 9    | 20   | 10   | 21   |
|                |                  |      |       |     | 0    | 0    | 0    | 0   | 0    | 0    | 0    | 0    |
|                |                  |      |       |     | 140  | 176  | 1    | 1   | 9    | 20   | 10   | 21   |
|                | B方式              | 約 5名 | 190   | 169 |      |      |      |     |      |      |      |      |
|                |                  |      |       |     | 112  | 128  | 3    | 2   | 4    | 8    | 7    | 10   |
|                |                  |      |       |     | 0    | 0    | 0    | 0   | 0    | 0    | 0    | 0    |
|                |                  |      |       |     | 112  | 128  | 3    | 2   | 4    | 8    | 7    | 10   |
| 合 計            |                  | 100名 | 1,313 | 873 | 574  | 550  | 8    | 8   | 96   | 122  | 104  | 130  |

(4) 令和7年度大学院医学研究科入学試験

1次募集 (試験日：令和6年10月4日)

受験者13名 合格者12名

2次募集 (試験日：令和7年1月31日)

受験者17名 合格者16名

(5) 令和7年度大学院看護学研究科入学試験

1次募集 (試験日：令和6年9月4日)

受験者22名 合格者14名 入学者14名

(6) 令和7年度大学院看護学研究科入学試験(博士後期課程)

1次募集 (試験日：令和7年2月6日)

受験者7名 合格者6名 入学者6名

(7) 令和6年度医学部卒業生 101名

(8) 令和6年度看護学部卒業生 99名

(9) 令和6年度大学院医学研究科修了者 12名

(10) 令和6年度大学院看護学研究科修了者 17名

(11) 第119回医師国家試験(試験日：2月8日，9日)

受験者 107名(新卒：101名，既卒6名)

合格者 101名(合格率：94.4%) うち新卒99名(合格率98.0%)

既卒 2名(合格率33.3%)

医師国家試験合格者累計 4,827名(卒業生累計4,865名の99.2%)

(12) 第114回看護師国家試験(試験日：令和7年2月14日)

受験者 100名(新卒：99名，既卒1名)

合格者 100名(合格率：100%) うち新卒99名(合格率100%)

既卒 1名(合格率100%)

(13) 第111回保健師国家試験(試験日：令和7年2月16日)

受験者 16名(新卒：15名，既卒1名)

合格者 15名(合格率：93.8%) うち新卒 15名(合格率100%)

既卒 1名(合格率 0%)



## 5 診療実態関係

### (1) 大学病院

|            |                                   |
|------------|-----------------------------------|
| 1 日平均入院患者数 | 8 0 7 . 2 人 (前年比 1 0 9 . 1 %)     |
| 1 日平均外来患者数 | 2 , 6 2 1 . 3 人 (前年比 1 0 2 . 8 %) |
| 外来延べ患者数    | 6 6 5 , 8 2 1 人 (前年比 1 0 2 . 8 %) |

### (2) メディカルセンター

|            |                                   |
|------------|-----------------------------------|
| 1 日平均入院患者数 | 1 9 9 . 5 人                       |
| 1 日平均外来患者数 | 1 5 0 . 5 人                       |
| 外来延べ患者数    | 5 4 , 9 3 9 人 *初診料・再診料を算定する患者数を計上 |

### (3) 眼科クリニックM i R A I

|            |               |
|------------|---------------|
| 1 日平均外来患者数 | 4 3 . 3 人     |
| 外来延べ患者数    | 1 0 , 4 7 2 人 |

## 6 附属施設関係

運動療育センターの利用状況は、次のとおりです。

|                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 利用者数合計            | 3 1 , 9 7 7 人 (前年比 8 1 %) |
| メディカルチェック数合計      | 7 4 0 人 (前年比 1 0 6 %)     |
| 健康増進コース (A)       | 6 9 人                     |
| 運動器系療法コース (E 1)   | 1 5 8 人                   |
| 内科系運動療法コース (E 2)  | 1 8 5 人                   |
| 運動器系療法コース (E 2 1) | 2 0 3 人                   |

## 7 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

本学の経営における恒久的な財源である学納金収入および医療収入を安定的に確保することは、継続的な教育・研究・医療サービスの質的向上と新規事業の展開の前提となります。令和6年度の事業計画および予算は、中期計画「イノベーション・ストラテジー2028」の初年度として、持続可能な成長戦略に向けた実行性の高い施策を意図したものでしたが、全体としては人件費の大幅な増加と物価高騰の影響を強く受け、引き続き厳しい財政状況が続いています。

特に、令和6年度の人事院勧告に準じた給与改定によって、医師・専門職に限らず、若手を中心とした全職員の人件費が大きく上昇しました。これは、長期的には人材の確保と定着に資する重要な投資であるものの、診療報酬改定におけるベースアップ評価分の増収のみでは十分に吸収できず、結果として本学全体の支出は大きく膨らむ結果となりました。教育・研究・医療活動の質を維持・向上させながら、この財政的逆風を乗り越えるには、全職員が連携し、「出づるを制して入るを量る」という経営の基本原則に立ち返り、支出の適正化と収入の最大化の双方に取り組む必要があります。

令和6年度においては、コロナ禍で一過性の病床活用から脱却し、D棟病床の再配置やTACU（経過観察病床）の整備が完了し、医療活動の活性化と収入基盤の強化に向けた環境整備が進みました。また、次世代型Whole Bodyモニタリングシステムを備えた《プロリハ》の開設により、急性期から生活期までを見据えた質の高いリハビリテーション医療の実現に大きく前進し、リハビリの充実とともに病院全体の機能向上にもつながる取り組みが始動しています。

同時に、前方連携から後方連携に至るまでの「断らない救急体制」の構築にも注力し、地域の医療機関や診療所、クリニック等との協働を通じて、一気通貫した患者受け入れ体制を整備しつつあります。急性期対応から回復期・在宅支援への円滑な橋渡しを可能とするネットワークの強化は、地域医療の中心的役割を果たす大学病院として、今後さらに重要性を増す領域であり、今後も重点的に推進してまいります。

また、令和6年度は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬が同時に改定される、いわゆる「トリプル改定」の年でもありました。今回の改定では、賃上げ原資の確保や包括評価項目の見直し等が盛り込まれましたが、大学病院のように高度・急性期医療を担う医療機関では、診療報酬上の評価と現場コストとの乖離が依然大きく、結果として医療サービスの質を維持しながら収支を均衡させることが困難な状況にあります。

これらの状況を踏まえ、本学では令和7年度から診療科ごとの収入管理体制を強化し、各診療科単位でのPDCAサイクルを確立する増収プロジェクトチームを立ち上げました。これにより、診療実績と財務指標の可視化を進め、部門別の経営責任と改善行動を明確にします。さらに、診療報酬制度の分析に基づく戦略的な診療体制の構築を図り、収益性の向上と健全な財務基盤の確立を目指します。

こうした経営的・組織的な対応を着実に進めていくと同時に、生成AIの進展や人口構造の劇的な変化など、社会全体が急速に変容する中で、これらの変化を脅威ではなく、新たな価値を創出するための契機と捉え、大学の存在意義そのものを問い直すべき時期にあると認識しています。教育・研究・医療という三本柱の再構築を図りながら、大学として社会にどのように貢献できるかを見つめ直し、職員一人ひとりが安心して力を発揮できる環境づくりにも引き続き注力してまいります。

中期目標の実現に向け、法人・大学全体の内部質保証体制の強化に取り組むとともに、迅速な意思決定と分野横断的な課題対応を可能とする組織ガバナンスの強化を推進します。

また、「ヒト、モノ、カネ、情報」という経営資源の選択と集中を徹底し、持続可能で柔軟性のある大学運営を目指します。人件費は単なるコストではなく、将来を見据えた“投資”と位置づけ、戦略的な資源配分を行うことで、教育・研究・医療の各領域における人材の成長と活躍を支えています。人への投資に加え、システム等の環境整備についても目的を明確にしたうえで効果的な活用と見直しを重ねることで、組織全体の力を高めてまいります。

今後も、国の制度改革や社会環境の変動に的確かつ柔軟に対応しながら、全学が一体となって中期計画を着実に実行し、愛知医科大学が次の50年に向けて、地域に信頼され、社会から選ばれた医科大学であり続けられるよう、不断の努力を重ねてまいります。

## 8 法人・会議関係

### (1) 令和6年度理事会関係

#### ① 第1回理事会 令和6年4月1日（月）本学第1会議室

##### 主な議題

- ・ 学長再任に伴う人事
- ・ 医師の働き方改革
- ・ 理事の競業取引及び利益相反取引

#### ② 第2回理事会 令和6年5月27日（月）本学第1会議室

##### 主な議題

- ・ 評議員の選任等
- ・ 理事の選任等
- ・ 令和5年度事業報告
- ・ 令和5年度決算
- ・ 令和5年度監査報告
- ・ 令和6年度予算の補正
- ・ クラウドファンディングによる寄附金の募集
- ・ 理事の競業取引及び利益相反取引
- ・ アドミッションセンター設置
- ・ 令和7年度愛知医科大学大学院学生募集

#### ③ 第3回理事会 令和6年9月30日（月）本学第1会議室

##### 主な議題

- ・ 評議員の選任等
- ・ 病院長候補者選考委員会委員選出
- ・ 医学部の入学定員増に係る認可申請
- ・ 学校法人愛知医科大学寄附行為の全部改正
- ・ 理事の競業取引及び利益相反取引
- ・ 令和8年度入学者選抜

④ 第4回理事会 令和6年12月2日（月）本学第1会議室

主な議題

- ・ 学校法人愛知医科大学給与規程の一部改正
- ・ 愛知県地域保健医療計画に係る病床整備

⑤ 第5回理事会 令和7年1月14日（火）本学第1会議室

主な議題

- ・ 任期満了に伴う評議員選任等
- ・ 任期満了に伴う理事選任
- ・ 3号館（基礎科学棟）及び4号館（看護学部棟）に係る底地の購入
- ・ 大学債及び寄附金の募集

⑥ 第6回理事会 令和7年1月28日（火）本学第1会議室

主な議題

- ・ 理事長選任等
- ・ 理事長職務代理指名
- ・ 常任理事委嘱の同意
- ・ 理事の競業取引及び利益相反取引
- ・ 病院長選任

⑦ 第7回理事会 令和7年3月24日（月）本学第1会議室

主な議題

- ・ 法人本部長人事
- ・ 事務局長人事
- ・ 理事の競業取引及び利益相反取引
- ・ 名誉教授の称号授与
- ・ 令和7年度事業計画
- ・ 令和7年度予算
- ・ 令和6年度予算の補正
- ・ 施設及び医療機器の整備に係る資金
- ・ 私立学校法改正に伴う規則整備
- ・ 学校法人愛知医科大学就業規則の一部改正
- ・ 学校法人愛知医科大学給与規程の一部改正
- ・ 学校法人愛知医科大学働き方改革の実施に伴う臨床系教員の勤務時間等の特例に関する規程の一部改正
- ・ 愛知医科大学学則の一部改正
- ・ 愛知医科大学大学院学則の一部改正
- ・ 愛知医科大学病院規程の一部改正

- ・ 役員賠償責任保険の更新
- ・ 令和 8 年度愛知医科大学大学院学生募集
- ・ 令和 8 年度愛知医科大学学生募集
- ・ 令和 7 年度第 1 回評議員会への提案議案

(2) 令和 6 年度評議員会関係

① 第 1 回評議員会 令和 6 年 5 月 27 日（月）本学第 1 会議室

主な議題

- ・ 令和 5 年度事業報告
- ・ 令和 5 年度決算
- ・ 令和 5 年度監査報告
- ・ 令和 6 年度予算の補正
- ・ クラウドファンディングによる寄附金の募集

② 第 2 回評議員会 令和 6 年 9 月 30 日（月）本学第 1 会議室

主な議題

- ・ 学校法人愛知医科大学寄附行為の全部改正

③ 第 3 回評議員会 令和 7 年 1 月 14 日（火）本学第 1 会議室

主な議題

- ・ 任期満了に伴う評議員選任
- ・ 任期満了に伴う理事選任
- ・ 任期満了に伴う監事の選任同意
- ・ 3 号館（基礎科学棟）及び 4 号館（看護学部棟）に係る底地の購入
- ・ 大学債及び寄附金の募集

④ 第 4 回評議員会 令和 7 年 3 月 24 日（月）本学第 1 会議室

主な議題

- ・ 令和 7 年度事業計画
- ・ 令和 7 年度予算
- ・ 令和 6 年度予算の補正
- ・ 施設及び医療機器の整備に係る資金

(3) 役員賠償責任保険

保険期間：令和 6 年 4 月 1 日午後 4 時から令和 7 年 4 月 1 日午後 4 時まで

補償内容：役員・評議員に関する補償 10 億円（支払限度額）



## 4 財務狀況等





## 4 財務状況等

### (1) 概要の推移

#### 本学の状況

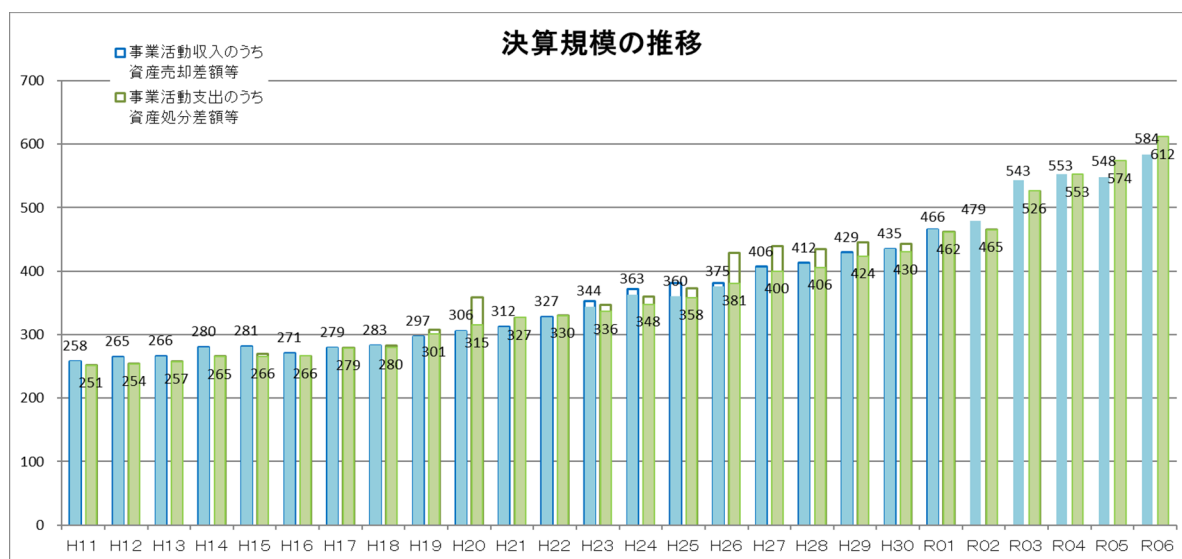
令和6年度の医療収入決算額は、令和5年度の446億円強を上回る488億円強（対前年比＋9.40%）を計上できました。

一方、支出の中で大きなウェイトを占める人件費は、教員や病院スタッフの人的資源の確保を図り、人件費率が0.9ポイント上がり、42.4%となりました。また、大学の発展と今後の収入につながる事業は着実に推進しました。

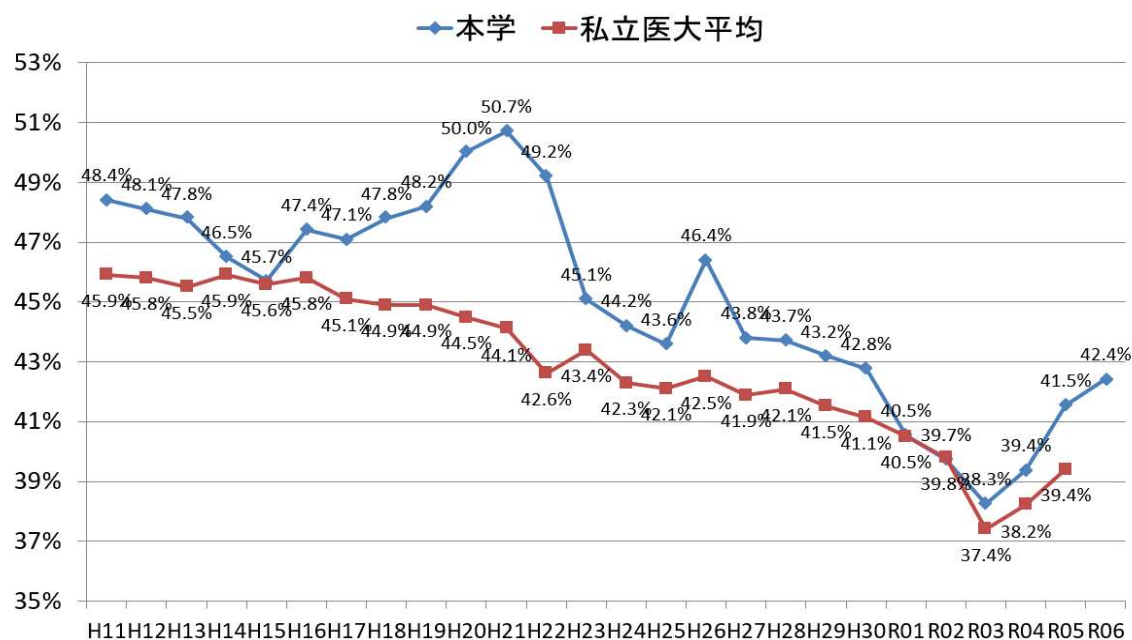
こうしたことから、事業活動収支差は28億3,599万円強のマイナスとなりました。

**収入合計**（教育活動収入＋教育活動外収入＋特別収入） **583億5,950万余円**

**支出合計**（教育活動支出＋教育活動外支出＋特別支出） **611億9,550万余円**

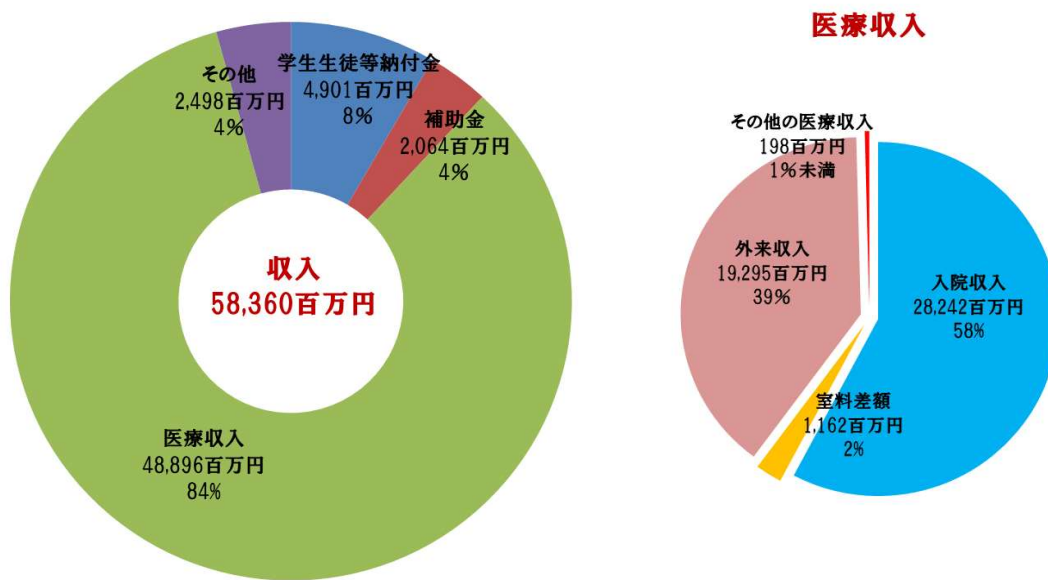


#### 本学と私立医大平均の人件費率年次推移



## 教育活動収入＋教育活動外収入＋特別収入

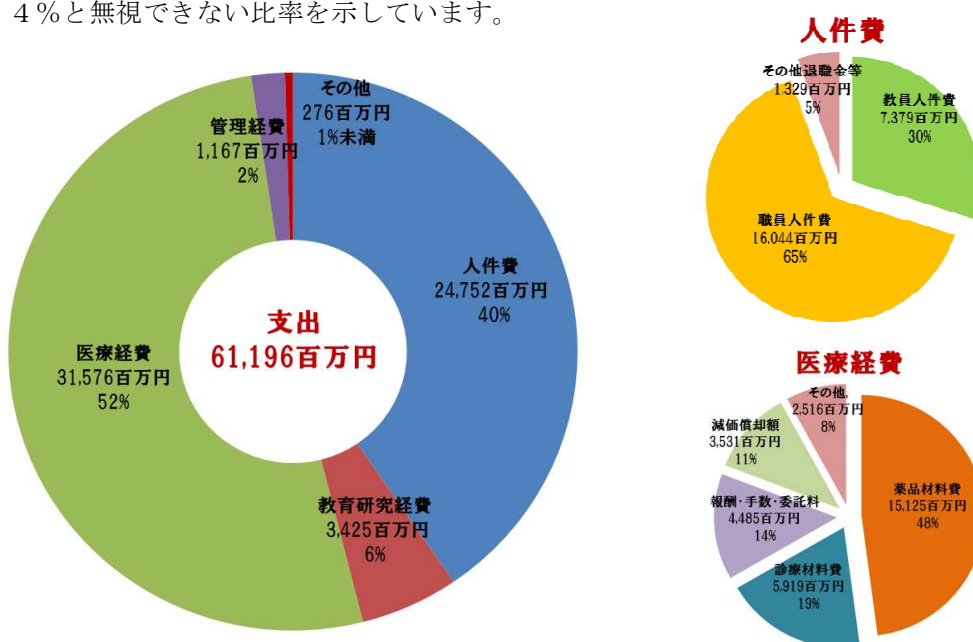
収入額は、その6分の5を医療収入に依存しています。今後もこの割合は増加が予想されます。医療収入の内訳としては、入院収入が約6割を占め、入院患者数と平均単価の変動が財政に大きな影響を与えています。



## 教育活動支出＋教育活動外支出＋特別支出

支出額は、人件費が約4割を、収入に応じて変動する医療経費が5割強を占めています。

医療経費は、薬品及び診療材料費の合計が全体の約3分の2を占め、報酬・手数・委託料も14%と無視できない比率を示しています。



原則として単位未満で四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

## (2) 財務状況概要

事業活動収支計算書では、毎期の収支バランスを判断できるよう、基本金組入後の収支差額に加えて、基本金組入前の収支差額を表示している。

また、収支バランスについて、経常的な収支バランスと臨時的な収支バランスを区分して明らかにしている。

令和6年度決算は、事業活動収入58,360百万円（前年度比6.4%増）、事業活動支出61,196百万円（前年度比6.7%増）となり、この収支差額は、△2,836百万円となった。経常的な収支バランスである経常収支差額は、△2,873百万円。臨時的な収支バランスの特別収支差額は、37百万円となった。経常収支差が前年度から184百万円悪化、医療収入額は前年度から4,202百万円増加している。

主な科目の概要は以下のとおりである。

### 学生生徒等納付金収入

学納金は、前年比0.8百万円増加し、4,901百万円の実績となった。

### 手数料収入

入学検定料、試験料、証明手数料等による収入であり、前年度比9百万円増加し、222百万円の実績となった。

### 寄付金収入

寄附講座への寄付金、施設・設備整備事業に係る寄付金などであり、前年度より23百万円増の342百万円の実績となった。

### 経常費補助金収入

本年度は、前年度より702百万円減少し、2,022百万円の実績となった。

### 付随事業収入

受託研究、臨床治験、病院実習などの収入が含まれており、前年度より102百万円減少し、946百万円の実績となった。

### 医療収入

大学病院、メディカルセンター、眼科クリニックMiRAIの医療収入が含まれており、前年度より4,202百万円の増加となり、48,896百万円の実績となった。

#### 人件費

人件費は、人員増や、人事院勧告準拠に伴い、前年度より１，９７１百万円増加し、２４，７５２百万円の実績となった。

#### 教育研究経費

教育研究経費は、教育研究活動に必要な経費を計上しており、前年度より１０４百万円減少し、３，４２５百万円の実績となった。

#### 医療経費

診療に係る経費として、薬品材料費，診療材料費，給食材料費，委託料，修繕費，減価償却額等を計上しており、前年度より１，９８０百万円増加し、３１，５７６百万円の実績となった。

#### 管理経費

法人，大学，大学病院，眼科クリニックM i R A I の管理運営に必要な経費を計上しており、前年度より６６百万円増加し１，１６７百万円の実績となった。

#### 借入金等利息

新病院，医心館，立体駐車場の建設資金の借入金の利息により，２０７百万円の実績となった。

### (3) 学校法人会計財務三表

学校法人には、①資金収支計算書②事業活動収支計算書③貸借対照表の財務三表と言われる計算書類がある。

#### ① 資金収支計算書

当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての収入・支出の内容と支払資金の収入・支出など1年間の諸活動に伴う、資金の動きを明らかにしたものである。これにより学校法人のキャッシュフローの状況を把握することができる。

#### ② 事業活動収支計算書

当該会計年度の3つの活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、当該会計年度において基本金に組み入れる額を控除した当該会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入及び支出の均衡の状態を明らかにする。

#### ③ 貸借対照表

開校以来の財産の一覧表。私立学校法第25条で、私立学校は必要な施設及び設備をきちんと用意しなければならないことになっている。どういう設備を借入金で用意しているのか、自己資金で確保できたのか、つまり、資産があるかどうかということを見るのが貸借対照表である。

| 種類        | 解説         | わかりやすく言うと |
|-----------|------------|-----------|
| 資金収支計算書   | 資金の動き・残高   | 資金規模      |
| 事業活動収支計算書 | 区分経理・収支の均衡 | 利益がでているか  |
| 貸借対照表     | 財政状態       | 資産があるか    |

(4) 資金収支の状況

# 資 金 収 支 計 算 書

令和6年4月1日から

令和7年3月31日まで

(単位 円)

| 収 入 の 部           |                |                |               |
|-------------------|----------------|----------------|---------------|
| 科 目               | 予 算            | 決 算            | 差 異           |
| 学生生徒等納付金収入        | 4,900,055,000  | 4,901,380,000  | △1,325,000    |
| 授業料収入             | 2,616,085,000  | 2,607,650,000  | 8,435,000     |
| 入学金収入             | 317,750,000    | 325,180,000    | △7,430,000    |
| 実験実習料収入           | 92,770,000     | 92,150,000     | 620,000       |
| 教育充実費収入           | 1,160,750,000  | 1,163,200,000  | △2,450,000    |
| 施設維持費収入           | 712,700,000    | 713,200,000    | △500,000      |
| 手数料収入             | 202,603,000    | 222,435,997    | △19,832,997   |
| 入学検定料収入           | 186,355,000    | 210,570,000    | △24,215,000   |
| 試験料収入             | 9,600,000      | 5,396,000      | 4,204,000     |
| 証明手数料収入           | 736,000        | 709,300        | 26,700        |
| 審査手数料収入           | 4,860,000      | 5,040,000      | △180,000      |
| 大学入試センター試験実施手数料収入 | 1,052,000      | 720,697        | 331,303       |
| 寄付金収入             | 396,410,000    | 351,052,986    | 45,357,014    |
| 特別寄付金収入           | 236,410,000    | 244,177,986    | △7,767,986    |
| 一般寄付金収入           | 160,000,000    | 106,875,000    | 53,125,000    |
| 補助金収入             | 1,876,530,000  | 2,064,336,033  | △187,806,033  |
| 国庫補助金収入           | 1,493,441,000  | 1,377,500,300  | 115,940,700   |
| 地方公共団体補助金収入       | 380,689,000    | 686,835,733    | △306,146,733  |
| 学術研究振興資金収入        | 2,000,000      | 0              | 2,000,000     |
| 若手・女性研究者奨励金収入     | 400,000        | 0              | 400,000       |
| 資産売却収入            | 0              | 0              | 0             |
| 付随事業・収益事業収入       | 896,429,000    | 945,833,183    | △49,404,183   |
| 附属事業収入            | 72,014,000     | 70,279,513     | 1,734,487     |
| 受託事業収入            | 804,419,000    | 859,632,250    | △55,213,250   |
| 保育所収入             | 19,996,000     | 15,921,420     | 4,074,580     |
| 医療収入              | 52,247,072,000 | 48,896,192,351 | 3,350,879,649 |
| 入院収入              | 29,197,425,000 | 28,241,585,457 | 955,839,543   |
| 室料差額収入            | 1,141,514,000  | 1,161,878,350  | △20,364,350   |
| 外来収入              | 21,701,640,000 | 19,295,192,684 | 2,406,447,316 |
| その他の医療収入          | 206,493,000    | 197,535,860    | 8,957,140     |



#### (4) 資金収支の状況

| 科 目                   | 予 算           | 決 算           | 差 異         |
|-----------------------|---------------|---------------|-------------|
| 受取利息・配当金収入            | 1,490,000     | 17,348,010    | △15,858,010 |
| その他の受取利息・配当金収入        | 1,490,000     | 17,348,010    | △15,858,010 |
| 雑収入                   | 825,516,000   | 913,203,062   | △87,687,062 |
| 退職金財団交付金収入            | 448,518,000   | 486,529,855   | △38,011,855 |
| 施設設備利用料収入             | 143,687,000   | 157,452,850   | △13,765,850 |
| 雑収入                   | 146,313,000   | 175,778,040   | △29,465,040 |
| 過年度修正収入               | 0             | 260,985       | △260,985    |
| 研究関連収入                | 86,998,000    | 93,181,332    | △6,183,332  |
| 借入金等収入                | 1,150,000,000 | 1,060,000,000 | 90,000,000  |
| 長期借入金収入               | 1,000,000,000 | 1,000,000,000 | 0           |
| 学校債収入                 | 150,000,000   | 60,000,000    | 90,000,000  |
| 前受金収入                 | 939,172,000   | 925,396,118   | 13,775,882  |
| 授業料前受金収入              | 223,970,000   | 227,530,000   | △3,560,000  |
| 入学金前受金収入              | 311,670,000   | 302,770,000   | 8,900,000   |
| 実験実習料前受金収入            | 16,890,000    | 15,700,000    | 1,190,000   |
| 教育充実費前受金収入            | 306,900,000   | 308,520,000   | △1,620,000  |
| 施設維持費前受金収入            | 54,500,000    | 55,000,000    | △500,000    |
| 施設利用料前受金収入            | 573,000       | 533,000       | 40,000      |
| 附属事業収入前受金収入           | 19,008,000    | 15,221,500    | 3,786,500   |
| 雑収入前受金収入              | 122,000       | 121,618       | 382         |
| 寄付金前受金収入              | 5,539,000     | 0             | 5,539,000   |
| その他の収入                | 9,357,838,000 | 9,298,527,667 | 59,310,333  |
| 学校債償還引当特定資産取崩収入       | 130,000,000   | 80,000,000    | 50,000,000  |
| 借入金返済引当特定資産取崩収入       | 100,000,000   | 100,000,000   | 0           |
| 医療機器等整備調整資金引当特定資産取崩収入 | 0             | 25,000,000    | △25,000,000 |
| 国際交流推進引当特定資産取崩収入      | 4,763,000     | 2,585,645     | 2,177,355   |
| 教育研究活性化引当特定資産取崩収入     | 7,503,000     | 3,017,784     | 4,485,216   |
| 前期末未収入金収入             | 8,653,819,000 | 8,687,907,701 | △34,088,701 |
| 貸付金回収収入               | 2,700,000     | 3,050,000     | △350,000    |
| 前期末貸付金回収収入            | 0             | 22,375,000    | △22,375,000 |
| 預り金受入収入               | 457,769,000   | 373,307,545   | 84,461,455  |
| 前期末立替金回収収入            | 1,284,000     | 1,283,992     | 8           |

(4) 資金収支の状況

| 科 目         | 予 算            | 決 算             | 差 異           |
|-------------|----------------|-----------------|---------------|
| 資金収入調整勘定    | △9,180,347,000 | △10,377,884,149 | 1,197,537,149 |
| 期末未収入金      | △8,259,476,000 | △9,467,413,531  | 1,207,937,531 |
| 前期末前受金      | △920,871,000   | △910,470,618    | △10,400,382   |
| 前年度繰越支払資金   | 7,641,400,000  | 7,641,400,033   |               |
| 収 入 の 部 合 計 | 71,254,168,000 | 66,859,221,291  | 4,394,946,709 |



#### (4) 資金収支の状況

| 支 出 の 部     |                  |                  |               |
|-------------|------------------|------------------|---------------|
| 科 目         | 予 算              | 決 算              | 差 異           |
| 人件費支出       | 24,615,440,000   | 24,561,386,850   | 54,053,150    |
| 教員人件費支出     | 7,408,986,000    | 7,379,078,590    | 29,907,410    |
| 職員人件費支出     | 16,060,053,000   | 16,043,847,689   | 16,205,311    |
| 役員報酬支出      | 35,434,000       | 35,433,902       | 98            |
| 退職金支出       | 1,110,967,000    | 1,103,026,669    | 7,940,331     |
| 教育研究経費支出    | 31,616,701,000   | 30,457,868,953   | 1,158,832,047 |
| (教育研究経費支出)  | (2,958,427,000)  | (2,417,497,803)  | (540,929,197) |
| 消耗品費支出      | 462,801,000      | 351,514,945      | 111,286,055   |
| 光熱水費支出      | 317,625,000      | 283,739,500      | 33,885,500    |
| 旅費交通費支出     | 188,618,000      | 134,607,208      | 54,010,792    |
| 奨学費支出       | 63,243,000       | 56,690,300       | 6,552,700     |
| 通信費支出       | 22,275,000       | 16,746,145       | 5,528,855     |
| 印刷費支出       | 30,444,000       | 27,166,594       | 3,277,406     |
| 出版物費支出      | 9,679,000        | 7,167,133        | 2,511,867     |
| 福利費支出       | 184,000          | 121,500          | 62,500        |
| 報酬・手数・委託料支出 | 1,403,836,000    | 1,272,642,836    | 131,193,164   |
| 公租公課支出      | 1,261,000        | 351,090          | 909,910       |
| 助成費支出       | 19,608,000       | 15,403,808       | 4,204,192     |
| 保険料支出       | 8,975,000        | 7,340,931        | 1,634,069     |
| 会費・負担金支出    | 58,976,000       | 57,328,523       | 1,647,477     |
| 会議費支出       | 8,941,000        | 6,024,111        | 2,916,889     |
| 賃借料支出       | 56,012,000       | 49,122,337       | 6,889,663     |
| 広告費支出       | 712,000          | 622,600          | 89,400        |
| 修繕費支出       | 118,248,000      | 129,148,772      | △10,900,772   |
| 車両燃料費支出     | 526,000          | 190,732          | 335,268       |
| 研究費支出       | 174,630,000      | 0                | 174,630,000   |
| 雑費支出        | 11,833,000       | 1,568,738        | 10,264,262    |
| (医療経費支出)    | (28,658,274,000) | (28,040,371,150) | (617,902,850) |
| 消耗品費支出      | 425,257,000      | 377,741,938      | 47,515,062    |
| 薬品材料費支出     | 15,156,743,000   | 15,109,348,818   | 47,394,182    |
| 診療材料費支出     | 5,761,239,000    | 5,918,150,903    | △156,911,903  |
| 給食材料費支出     | 314,311,000      | 291,564,988      | 22,746,012    |
| 光熱水費支出      | 732,351,000      | 669,257,595      | 63,093,405    |
| 旅費交通費支出     | 34,486,000       | 22,362,505       | 12,123,495    |
| 通信費支出       | 55,054,000       | 42,499,876       | 12,554,124    |

#### (4) 資金収支の状況

| 科 目              | 予 算           | 決 算           | 差 異         |
|------------------|---------------|---------------|-------------|
| 印刷費支出            | 27,394,000    | 17,734,514    | 9,659,486   |
| 出版物費支出           | 5,562,000     | 4,470,857     | 1,091,143   |
| 報酬・手数・委託料支出      | 4,927,865,000 | 4,484,694,037 | 443,170,963 |
| 公租公課支出           | 4,752,000     | 685,174       | 4,066,826   |
| 助成費支出            | 66,000        | 0             | 66,000      |
| 保険料支出            | 71,527,000    | 68,292,914    | 3,234,086   |
| 会費・負担金支出         | 20,388,000    | 15,859,846    | 4,528,154   |
| 会議費支出            | 2,369,000     | 1,392,343     | 976,657     |
| 賃借料支出            | 605,041,000   | 551,912,578   | 53,128,422  |
| 広告費支出            | 572,000       | 572,000       | 0           |
| 修繕費支出            | 508,401,000   | 460,407,302   | 47,993,698  |
| 車両燃料費支出          | 1,707,000     | 1,462,473     | 244,527     |
| 雑費支出             | 3,189,000     | 1,960,489     | 1,228,511   |
| 管理経費支出           | 1,158,678,000 | 805,091,913   | 353,586,087 |
| 消耗品費支出           | 163,892,000   | 51,137,599    | 112,754,401 |
| 給食材料費支出          | 1,710,000     | 1,620,598     | 89,402      |
| 光熱水費支出           | 17,739,000    | 12,279,892    | 5,459,108   |
| 旅費交通費支出          | 15,574,000    | 12,745,502    | 2,828,498   |
| 通信費支出            | 34,189,000    | 6,569,134     | 27,619,866  |
| 印刷費支出            | 63,494,000    | 33,206,570    | 30,287,430  |
| 出版物費支出           | 1,111,000     | 798,763       | 312,237     |
| 福利費支出            | 6,291,000     | 5,365,976     | 925,024     |
| 報酬・手数・委託料支出      | 415,829,000   | 327,859,584   | 87,969,416  |
| 公租公課支出           | 130,011,000   | 97,727,245    | 32,283,755  |
| 助成費支出            | 3,376,000     | 3,003,500     | 372,500     |
| 保険料支出            | 2,114,000     | 1,616,147     | 497,853     |
| 会費・負担金支出         | 10,905,000    | 11,005,345    | △100,345    |
| 渉外費支出            | 20,961,000    | 12,294,064    | 8,666,936   |
| 会議費支出            | 42,337,000    | 41,221,311    | 1,115,689   |
| 賃借料支出            | 53,992,000    | 48,899,277    | 5,092,723   |
| 広告費支出            | 73,801,000    | 53,142,389    | 20,658,611  |
| 修繕費支出            | 16,488,000    | 10,564,375    | 5,923,625   |
| 車両燃料費支出          | 702,000       | 559,378       | 142,622     |
| 私立大学等経常費補助金返還金支出 | 800,000       | 0             | 800,000     |
| 補助金返還金支出         | 52,445,000    | 53,243,608    | △798,608    |
| 寄付金支出            | 101,000       | 161,000       | △60,000     |
| 雑費支出             | 27,717,000    | 6,953,604     | 20,763,396  |
| 過年度修正支出          | 3,099,000     | 13,117,052    | △10,018,052 |

#### (4) 資金収支の状況

| 科 目             | 予 算                         | 決 算            | 差 異            |
|-----------------|-----------------------------|----------------|----------------|
| 借入金等利息支出        | 207,353,000                 | 207,350,379    | 2,621          |
| 借入金利息支出         | 207,353,000                 | 207,350,379    | 2,621          |
| 借入金等返済支出        | 974,346,000                 | 924,346,000    | 50,000,000     |
| 借入金返済支出         | 844,346,000                 | 844,346,000    | 0              |
| 学校債返済支出         | 130,000,000                 | 80,000,000     | 50,000,000     |
| 施設関係支出          | 1,644,189,000               | 1,294,177,350  | 350,011,650    |
| 土地支出            | 216,180,000                 | 0              | 216,180,000    |
| 建物支出            | 1,385,687,000               | 1,264,135,350  | 121,551,650    |
| 構築物支出           | 12,262,000                  | 162,000        | 12,100,000     |
| 建設仮勘定支出         | 30,060,000                  | 29,880,000     | 180,000        |
| 設備関係支出          | 1,941,523,000               | 1,673,463,963  | 268,059,037    |
| 教育研究用機器備品支出     | 1,776,354,000               | 1,540,117,092  | 236,236,908    |
| 管理用機器備品支出       | 128,623,000                 | 98,596,019     | 30,026,981     |
| 図書支出            | 9,280,000                   | 7,499,601      | 1,780,399      |
| 車両支出            | 1,967,000                   | 1,966,050      | 950            |
| ソフトウェア支出        | 25,299,000                  | 25,285,201     | 13,799         |
| 資産運用支出          | 150,000,000                 | 60,000,000     | 90,000,000     |
| 学校債償還引当特定資産繰入支出 | 150,000,000                 | 60,000,000     | 90,000,000     |
| その他の支出          | 7,921,264,000               | 7,770,607,942  | 150,656,058    |
| 貸付金支払支出         | 268,825,000                 | 235,000,000    | 33,825,000     |
| 前期末未払金支払支出      | 6,966,866,000               | 6,966,866,307  | △307           |
| 前期末預り金支払支出      | 506,822,000                 | 389,255,081    | 117,566,919    |
| 立替金支払支出         | 1,686,000                   | 1,865,316      | △179,316       |
| 前払金支払支出         | 177,054,000                 | 177,610,878    | △556,878       |
| 預託金支払支出         | 11,000                      | 10,360         | 640            |
| 〔 予 備 費 〕       | (422,160,000)<br>77,840,000 |                | 77,840,000     |
| 資金支出調整勘定        | △6,707,876,000              | △5,656,131,579 | △1,051,744,421 |
| 期末未払金           | △6,535,994,000              | △5,484,263,014 | △1,051,730,986 |
| 前期末前払金          | △171,882,000                | △171,868,565   | △13,435        |
| 翌年度繰越支払資金       | 7,654,710,000               | 4,761,059,520  | 2,893,650,480  |
| 支 出 の 部 合 計     | 71,254,168,000              | 66,859,221,291 | 4,394,946,709  |

(5) 活動区分資金収支の状況

活動区分資金収支計算書

令和6年4月1日から

令和7年3月31日まで

(単位 円)

| 教育活動による資金収支                  | 科 目       |                       | 金 額            |
|------------------------------|-----------|-----------------------|----------------|
|                              | 収 入       | 学生生徒等納付金収入            | 4,901,380,000  |
|                              |           | 手数料収入                 | 222,435,997    |
|                              |           | 特別寄付金収入               | 234,037,986    |
|                              |           | 一般寄付金収入               | 106,875,000    |
|                              |           | 經常費等補助金収入             | 2,022,027,033  |
|                              |           | 付随事業収入                | 945,833,183    |
|                              |           | 医療収入                  | 48,896,192,351 |
|                              |           | 雑収入                   | 912,942,077    |
|                              | 教育活動資金収入計 |                       | 58,241,723,627 |
| 支 出                          | 人件費支出     | 24,561,386,850        |                |
|                              | 教育研究経費支出  | 2,417,497,803         |                |
|                              | 医療経費支出    | 28,040,371,150        |                |
|                              | 管理経費支出    | 791,974,861           |                |
|                              | 教育活動資金支出計 | 55,811,230,664        |                |
| 差引                           |           | 2,430,492,963         |                |
| 調整勘定等                        |           | △811,617,044          |                |
| 教育活動資金収支差額                   |           | 1,618,875,919         |                |
| 施設整備等活動による資金収支               | 科 目       |                       | 金 額            |
|                              | 収 入       | 施設設備寄付金収入             | 10,140,000     |
|                              |           | 施設設備補助金収入             | 42,309,000     |
|                              |           | 学校債償還引当特定資産取崩収入       | 80,000,000     |
|                              |           | 医療機器等整備調整資金引当特定資産取崩収入 | 25,000,000     |
|                              |           | 施設整備等活動資金収入計          | 157,449,000    |
|                              | 支 出       | 施設関係支出                | 1,294,177,350  |
|                              |           | 設備関係支出                | 1,673,463,963  |
|                              |           | 学校債償還引当特定資産繰入支出       | 60,000,000     |
|                              |           | 施設整備等活動資金支出計          | 3,027,641,313  |
|                              | 差引        |                       | △2,870,192,313 |
|                              | 調整勘定等     |                       | △1,437,218,575 |
| 施設整備等活動資金収支差額                |           | △4,307,410,888        |                |
| 小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額) |           | △2,688,534,969        |                |

(5) 活動区分資金収支の状況

| 科 目                       |                   | 金 額            |
|---------------------------|-------------------|----------------|
| その他の活動による資金収支             | 収入                |                |
|                           | 借入金等収入            | 1,060,000,000  |
|                           | 借入金返済引当特定資産取崩収入   | 100,000,000    |
|                           | 国際交流推進引当特定資産取崩収入  | 2,585,645      |
|                           | 教育研究活性化引当特定資産取崩収入 | 3,017,784      |
|                           | 貸付金回収収入           | 3,050,000      |
|                           | 前期末貸付金回収収入        | 22,375,000     |
|                           | 預り金受入収入           | 373,307,545    |
|                           | 前期末立替金回収収入        | 1,283,992      |
|                           | 小計                | 1,565,619,966  |
|                           | 受取利息・配当金収入        | 17,348,010     |
|                           | 過年度修正収入           | 260,985        |
|                           | その他の活動資金収入計       | 1,583,228,961  |
|                           | 支出                |                |
|                           | 借入金等返済支出          | 924,346,000    |
|                           | 貸付金支払支出           | 235,000,000    |
|                           | 前期末預り金支払支出        | 389,255,081    |
|                           | 立替金支払支出           | 1,865,316      |
|                           | 預託金支払支出           | 10,360         |
|                           | 小計                | 1,550,476,757  |
|                           | 借入金等利息支出          | 207,350,379    |
|                           | 過年度修正支出           | 13,117,052     |
|                           | その他の活動資金支出計       | 1,770,944,188  |
|                           | 差引                | △187,715,227   |
|                           | 調整勘定等             | △4,090,317     |
|                           | その他の活動資金収支差額      | △191,805,544   |
| 支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額) |                   | △2,880,340,513 |
| 前年度繰越支払資金                 |                   | 7,641,400,033  |
| 翌年度繰越支払資金                 |                   | 4,761,059,520  |



(6) 事業活動収支の状況

事業活動収支計算書

令和6年4月1日から

令和7年3月31日まで

(単位 円)

| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 科 目             | 予 算            | 決 算            | 差 異           |
|--------|----------|-----------------|----------------|----------------|---------------|
|        |          |                 |                |                |               |
|        |          | 学生生徒等納付金        | 4,900,055,000  | 4,901,380,000  | △1,325,000    |
|        |          | 授業料             | 2,616,085,000  | 2,607,650,000  | 8,435,000     |
|        |          | 入学金             | 317,750,000    | 325,180,000    | △7,430,000    |
|        |          | 実験実習料           | 92,770,000     | 92,150,000     | 620,000       |
|        |          | 教育充実費           | 1,160,750,000  | 1,163,200,000  | △2,450,000    |
|        |          | 施設維持費           | 712,700,000    | 713,200,000    | △500,000      |
|        |          | 手数料             | 202,603,000    | 222,435,997    | △19,832,997   |
|        |          | 入学検定料           | 186,355,000    | 210,570,000    | △24,215,000   |
|        |          | 試験料             | 9,600,000      | 5,396,000      | 4,204,000     |
|        |          | 証明手数料           | 736,000        | 709,300        | 26,700        |
|        |          | 審査手数料           | 4,860,000      | 5,040,000      | △180,000      |
|        |          | 大学入試センター試験実施手数料 | 1,052,000      | 720,697        | 331,303       |
|        |          | 寄付金             | 398,410,000    | 342,084,415    | 56,325,585    |
|        |          | 特別寄付金           | 236,410,000    | 234,037,986    | 2,372,014     |
|        |          | 一般寄付金           | 160,000,000    | 106,875,000    | 53,125,000    |
|        |          | 現物寄付            | 2,000,000      | 1,171,429      | 828,571       |
|        |          | 経常費等補助金         | 1,849,284,000  | 2,022,027,033  | △172,743,033  |
|        |          | 国庫補助金           | 1,468,745,000  | 1,352,520,300  | 116,224,700   |
|        |          | 地方公共団体補助金       | 378,139,000    | 669,506,733    | △291,367,733  |
|        |          | 学術研究振興資金        | 2,000,000      | 0              | 2,000,000     |
|        |          | 若手・女性研究者奨励金     | 400,000        | 0              | 400,000       |
|        |          | 付随事業収入          | 896,429,000    | 945,833,183    | △49,404,183   |
|        |          | 附属事業収入          | 72,014,000     | 70,279,513     | 1,734,487     |
|        |          | 受託事業収入          | 804,419,000    | 859,632,250    | △55,213,250   |
|        |          | 保育所収入           | 19,996,000     | 15,921,420     | 4,074,580     |
|        |          | 医療収入            | 52,247,072,000 | 48,896,192,351 | 3,350,879,649 |
|        |          | 入院収入            | 29,197,425,000 | 28,241,585,457 | 955,839,543   |
|        |          | 室料差額収入          | 1,141,514,000  | 1,161,878,350  | △20,364,350   |
|        |          | 外来収入            | 21,701,640,000 | 19,295,192,684 | 2,406,447,316 |
|        |          | その他の医療収入        | 206,493,000    | 197,535,860    | 8,957,140     |
|        |          | 雑収入             | 825,516,000    | 912,942,077    | △87,426,077   |
|        |          | 退職金財団交付金        | 448,518,000    | 486,529,855    | △38,011,855   |
|        |          | 施設設備利用料         | 143,687,000    | 157,452,850    | △13,765,850   |
|        |          | 雑収入             | 146,313,000    | 175,778,040    | △29,465,040   |
|        |          | 研究関連収入          | 86,998,000     | 93,181,332     | △6,183,332    |
|        |          | 教育活動収入計         | 61,319,369,000 | 58,242,895,056 | 3,076,473,944 |

# (6) 事業活動収支の状況

| 科 目    |            | 予 算              | 決 算              | 差 異           |
|--------|------------|------------------|------------------|---------------|
| 教育活動収支 | 人件費        | 24,584,720,000   | 24,751,546,601   | △166,826,601  |
|        | 教員人件費      | 7,408,986,000    | 7,379,078,590    | 29,907,410    |
|        | 職員人件費      | 16,060,053,000   | 16,043,847,689   | 16,205,311    |
|        | 役員報酬       | 35,434,000       | 35,433,902       | 98            |
|        | 退職給与引当金繰入額 | 882,683,000      | 1,098,127,395    | △215,444,395  |
|        | 退職金        | 197,564,000      | 195,059,025      | 2,504,975     |
|        | 教育研究経費     | 36,043,850,000   | 35,000,886,721   | 1,042,963,279 |
|        | (教育研究経費)   | (3,966,748,000)  | (3,424,868,154)  | (541,879,846) |
|        | 消耗品費       | 462,801,000      | 350,654,848      | 112,146,152   |
|        | 光熱水費       | 317,625,000      | 283,739,500      | 33,885,500    |
|        | 旅費交通費      | 188,618,000      | 134,607,208      | 54,010,792    |
|        | 奨学費        | 63,243,000       | 56,690,300       | 6,552,700     |
|        | 通信費        | 22,275,000       | 16,811,137       | 5,463,863     |
|        | 印刷費        | 30,444,000       | 27,011,392       | 3,432,608     |
|        | 出版物費       | 9,679,000        | 7,167,133        | 2,511,867     |
|        | 福利費        | 184,000          | 121,500          | 62,500        |
|        | 報酬・手数・委託料  | 1,403,836,000    | 1,272,642,836    | 131,193,164   |
|        | 公租公課       | 1,261,000        | 351,090          | 909,910       |
|        | 助成費        | 19,608,000       | 15,403,808       | 4,204,192     |
|        | 保険料        | 8,975,000        | 7,340,931        | 1,634,069     |
|        | 会費・負担金     | 58,976,000       | 57,328,523       | 1,647,477     |
|        | 会議費        | 8,941,000        | 6,024,111        | 2,916,889     |
|        | 賃借料        | 56,012,000       | 49,122,337       | 6,889,663     |
|        | 広告費        | 712,000          | 622,600          | 89,400        |
|        | 修繕費        | 118,248,000      | 129,148,772      | △10,900,772   |
|        | 車両燃料費      | 526,000          | 190,732          | 335,268       |
|        | 研究費        | 174,630,000      | 0                | 174,630,000   |
|        | 雑費         | 11,833,000       | 1,568,738        | 10,264,262    |
|        | 減価償却額      | 1,008,321,000    | 1,008,320,658    | 342           |
|        | (医療経費)     | (32,077,102,000) | (31,576,018,567) | (501,083,433) |
|        | 消耗品費       | 425,257,000      | 365,245,436      | 60,011,564    |
|        | 薬品材料費      | 15,156,743,000   | 15,125,052,504   | 31,690,496    |
|        | 診療材料費      | 5,761,239,000    | 5,919,235,960    | △157,996,960  |
|        | 給食材料費      | 314,311,000      | 292,451,906      | 21,859,094    |
|        | 光熱水費       | 732,351,000      | 669,257,595      | 63,093,405    |
|        | 旅費交通費      | 34,486,000       | 22,362,505       | 12,123,495    |
|        | 通信費        | 55,054,000       | 42,388,123       | 12,665,877    |
|        | 印刷費        | 27,394,000       | 17,767,467       | 9,626,533     |
|        | 出版物費       | 5,562,000        | 4,470,857        | 1,091,143     |
|        | 報酬・手数・委託料  | 4,927,865,000    | 4,484,694,037    | 443,170,963   |
|        | 公租公課       | 4,752,000        | 685,871          | 4,066,126     |
|        | 助成費        | 66,000           | 0                | 66,000        |
|        | 保険料        | 71,527,000       | 68,292,914       | 3,234,086     |
|        | 会費・負担金     | 20,388,000       | 15,859,846       | 4,528,154     |
|        | 会議費        | 2,369,000        | 1,392,343        | 976,657       |
|        | 賃借料        | 605,041,000      | 551,912,578      | 53,128,422    |
|        | 広告費        | 572,000          | 572,000          | 0             |
|        | 修繕費        | 508,401,000      | 460,407,302      | 47,993,698    |
|        | 車両燃料費      | 1,707,000        | 1,462,473        | 244,527       |
|        | 雑費         | 3,189,000        | 1,960,489        | 1,228,511     |
|        | 減価償却額      | 3,418,828,000    | 3,530,546,358    | △111,718,358  |

(6) 事業活動収支の状況

| 科 目       |                | 予 算            | 決 算            | 差 異           |
|-----------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 教育活動収支    | 事業活動支出の部       |                |                |               |
|           | 管理経費           | 1,533,671,000  | 1,167,229,432  | 366,441,568   |
|           | 消耗品費           | 163,892,000    | 52,498,362     | 111,393,638   |
|           | 給食材料費          | 1,710,000      | 1,620,598      | 89,402        |
|           | 光熱水費           | 17,739,000     | 12,279,892     | 5,459,108     |
|           | 旅費交通費          | 15,574,000     | 12,745,502     | 2,828,498     |
|           | 奨学費            | 233,130,000    | 228,330,000    | 4,800,000     |
|           | 通信費            | 34,189,000     | 6,574,938      | 27,614,062    |
|           | 印刷費            | 63,494,000     | 33,248,419     | 30,245,581    |
|           | 出版物費           | 1,111,000      | 798,763        | 312,237       |
|           | 福利費            | 6,291,000      | 5,369,996      | 921,004       |
|           | 報酬・手数・委託料      | 415,829,000    | 327,859,584    | 87,969,416    |
|           | 公租公課           | 130,011,000    | 97,727,245     | 32,283,755    |
|           | 助成費            | 3,376,000      | 3,003,500      | 372,500       |
|           | 保険料            | 2,114,000      | 1,616,147      | 497,853       |
|           | 会費・負担金         | 10,905,000     | 11,005,345     | △100,345      |
|           | 渉外費            | 20,961,000     | 12,365,368     | 8,595,632     |
|           | 会議費            | 42,337,000     | 41,221,311     | 1,115,689     |
|           | 賃借料            | 53,992,000     | 48,899,277     | 5,092,723     |
|           | 広告費            | 73,801,000     | 53,504,501     | 20,296,499    |
|           | 修繕費            | 16,488,000     | 10,564,375     | 5,923,625     |
|           | 車両燃料費          | 702,000        | 559,378        | 142,622       |
|           | 私立大学等経常費補助金返還金 | 800,000        | 0              | 800,000       |
|           | 補助金返還金         | 52,445,000     | 53,243,608     | △798,608      |
|           | 寄付金            | 101,000        | 161,000        | △60,000       |
|           | 雑費             | 27,717,000     | 7,019,604      | 20,697,396    |
|           | 減価償却額          | 144,962,000    | 145,012,719    | △50,719       |
|           | 徴収不能額等         | 3,341,000      | 6,194,641      | △2,853,641    |
|           | 徴収不能引当金繰入額     | 3,341,000      | 6,194,641      | △2,853,641    |
|           | 教育活動支出計        | 62,165,582,000 | 60,925,857,395 | 1,239,724,605 |
| 教育活動収支差額  |                | △846,213,000   | △2,682,962,339 | 1,836,749,339 |
| 教育活動外収支   | 事業活動収入の部       |                |                |               |
|           | 科 目            | 予 算            | 決 算            | 差 異           |
|           | 受取利息・配当金       | 1,490,000      | 17,348,010     | △15,858,010   |
|           | その他の受取利息・配当金   | 1,490,000      | 17,348,010     | △15,858,010   |
|           | その他の教育活動外収入    | 0              | 0              | 0             |
|           | 教育活動外収入計       | 1,490,000      | 17,348,010     | △15,858,010   |
|           | 事業活動支出の部       |                |                |               |
|           | 科 目            | 予 算            | 決 算            | 差 異           |
|           | 借入金等利息         | 207,353,000    | 207,350,379    | 2,621         |
|           | 借入金利息          | 207,353,000    | 207,350,379    | 2,621         |
|           | その他の教育活動外支出    | 0              | 0              | 0             |
|           | 教育活動外支出計       | 207,353,000    | 207,350,379    | 2,621         |
| 教育活動外収支差額 |                | △205,863,000   | △190,002,369   | △15,860,631   |
| 経常収支差額    |                | △1,052,076,000 | △2,872,964,708 | 1,820,888,708 |



# (6) 事業活動収支の状況

|               | 科 目      | 予 算             | 決 算             | 差 異           |
|---------------|----------|-----------------|-----------------|---------------|
|               |          |                 |                 |               |
| 特別収支          | 事業活動収入の部 |                 |                 |               |
|               | 資産売却差額   | 0               | 0               | 0             |
|               | その他の特別収入 | 55,246,000      | 99,266,028      | △44,020,028   |
|               | 施設設備寄付金  | 0               | 10,140,000      | △10,140,000   |
|               | 現物寄付     | 28,000,000      | 38,366,532      | △10,366,532   |
|               | 施設設備補助金  | 27,246,000      | 42,309,000      | △15,063,000   |
|               | 過年度修正額   | 0               | 8,450,496       | △8,450,496    |
|               | 特別収入計    | 55,246,000      | 99,266,028      | △44,020,028   |
|               | 事業活動支出の部 |                 |                 |               |
|               | 資産処分差額   | 20,000,000      | 41,107,335      | △21,107,335   |
|               | 施設処分差額   | 0               | 16,525,681      | △16,525,681   |
|               | 設備処分差額   | 20,000,000      | 24,581,654      | △4,581,654    |
|               | その他の特別支出 | 3,099,000       | 21,186,542      | △18,087,542   |
|               | 過年度修正額   | 3,099,000       | 21,186,542      | △18,087,542   |
|               | 特別支出計    | 23,099,000      | 62,293,877      | △39,194,877   |
| 特別収支差額        |          | 32,147,000      | 36,972,151      | △4,825,151    |
| 〔予備費〕         |          | (173,322,000)   |                 |               |
|               |          | 126,678,000     |                 | 126,678,000   |
| 基本金組入前当年度収支差額 |          | △1,146,607,000  | △2,835,992,557  | 1,689,385,557 |
| 基本金組入額合計      |          | △4,100,000,000  | △3,958,953,231  | △141,046,769  |
| 当年度収支差額       |          | △5,246,607,000  | △6,794,945,788  | 1,548,338,788 |
| 前年度繰越収支差額     |          | △73,800,463,000 | △73,808,158,274 | 7,695,274     |
| 基本金取崩額        |          | 0               | 548,000         | △548,000      |
| 翌年度繰越収支差額     |          | △79,047,070,000 | △80,602,556,062 | 1,555,486,062 |
| (参考)          |          |                 |                 |               |
| 事業活動収入計       |          | 61,376,105,000  | 58,359,509,094  | 3,016,595,906 |
| 事業活動支出計       |          | 62,522,712,000  | 61,195,501,651  | 1,327,210,349 |

## (7) 貸借対照表の状況

## 貸 借 対 照 表

令和7年3月31日

(単位 円)

| 資産の部              |                |                |                |
|-------------------|----------------|----------------|----------------|
| 科 目               | 本 年 度 末        | 前 年 度 末        | 増 減            |
| 固定資産              | 44,731,806,202 | 46,627,898,475 | △1,896,092,273 |
| 有形固定資産            | 42,978,452,215 | 44,355,639,700 | △1,377,187,485 |
| 土地                | 9,876,303,497  | 9,876,303,497  | 0              |
| 建物                | 24,859,665,864 | 25,554,192,041 | △694,526,177   |
| 構築物               | 973,964,917    | 1,096,496,594  | △122,531,677   |
| 教育研究用機器備品         | 5,959,471,613  | 6,394,052,413  | △434,580,800   |
| 管理用機器備品           | 317,730,125    | 260,253,558    | 57,476,567     |
| 図書                | 901,014,586    | 913,377,638    | △12,363,052    |
| 車両                | 60,421,613     | 91,563,959     | △31,142,346    |
| 建設仮勘定             | 29,880,000     | 169,400,000    | △139,520,000   |
| 特定資産              | 628,393,931    | 778,997,360    | △150,603,429   |
| 学校債償還引当特定資産       | 460,000,000    | 480,000,000    | △20,000,000    |
| 借入金返済引当特定資産       | 100,000,000    | 200,000,000    | △100,000,000   |
| 医療機器等整備調整資金引当特定資産 | 25,000,000     | 50,000,000     | △25,000,000    |
| 国際交流推進引当特定資産      | 28,779,484     | 31,365,129     | △2,585,645     |
| 教育研究活性化引当特定資産     | 14,614,447     | 17,632,231     | △3,017,784     |
| その他の固定資産          | 1,124,960,056  | 1,493,261,415  | △368,301,359   |
| 借地権               | 20,000,000     | 20,000,000     | 0              |
| 電話加入権             | 5,065,200      | 5,065,200      | 0              |
| 施設利用権             | 72,779,894     | 87,335,858     | △14,555,964    |
| ソフトウェア            | 443,370,012    | 770,485,767    | △327,115,755   |
| 有価証券              | 11,400,000     | 11,400,000     | 0              |
| 長期貸付金             | 572,065,000    | 598,705,000    | △26,640,000    |
| 保証金               | 100,000        | 100,000        | 0              |
| 預託金               | 179,950        | 169,590        | 10,360         |
| 流動資産              | 15,063,896,003 | 17,161,607,865 | △2,097,711,862 |
| 現金預金              | 4,761,059,520  | 7,641,400,033  | △2,880,340,513 |
| 未収入金              | 9,427,129,860  | 8,653,818,671  | 773,311,189    |
| 貯蔵品               | 448,527,429    | 453,418,604    | △4,891,175     |
| 短期貸付金             | 247,690,000    | 239,805,000    | 7,885,000      |
| 立替金               | 1,865,316      | 1,283,992      | 581,324        |
| 前払金               | 177,623,878    | 171,881,565    | 5,742,313      |
| 資産の部合計            | 59,795,702,205 | 63,789,506,340 | △3,993,804,135 |

(7) 貸借対照表の状況

| 負債の部        |                 |                 |                |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 科 目         | 本 年 度 末         | 前 年 度 末         | 増 減            |
| 固定負債        | 24,741,748,027  | 24,943,718,405  | △201,970,378   |
| 長期借入金       | 16,505,738,000  | 16,498,971,000  | 6,767,000      |
| 学校債         | 400,000,000     | 400,000,000     | 0              |
| 長期未払金       | 809,642,293     | 1,208,539,422   | △398,897,129   |
| 退職給与引当金     | 7,026,367,734   | 6,836,207,983   | 190,159,751    |
| 流動負債        | 8,363,063,252   | 9,318,904,452   | △955,841,200   |
| 短期借入金       | 993,233,000     | 844,346,000     | 148,887,000    |
| 1年以内償還予定学校債 | 60,000,000      | 80,000,000      | △20,000,000    |
| 未払金         | 5,883,160,143   | 6,966,866,307   | △1,083,706,164 |
| 前受金         | 935,796,118     | 920,870,618     | 14,925,500     |
| 預り金         | 490,873,991     | 506,821,527     | △15,947,536    |
| 負債の部合計      | 33,104,811,279  | 34,262,622,857  | △1,157,811,578 |
| 純資産の部       |                 |                 |                |
| 科 目         | 本 年 度 末         | 前 年 度 末         | 増 減            |
| 基本金         | 107,293,446,988 | 103,335,041,757 | 3,958,405,231  |
| 第1号基本金      | 102,982,446,988 | 99,190,041,757  | 3,792,405,231  |
| 第4号基本金      | 4,311,000,000   | 4,145,000,000   | 166,000,000    |
| 繰越収支差額      | △80,602,556,062 | △73,808,158,274 | △6,794,397,788 |
| 翌年度繰越収支差額   | △80,602,556,062 | △73,808,158,274 | △6,794,397,788 |
| 純資産の部合計     | 26,690,890,926  | 29,526,883,483  | △2,835,992,557 |
| 負債及び純資産の部合計 | 59,795,702,205  | 63,789,506,340  | △3,993,804,135 |

(8) 財務状況の年次推移

◆ 資金収支計算書

(単位 千円)

| 科 目    |             | R 02年度     | R 03年度     | R 04年度      | R 05年度     | R 06年度      |
|--------|-------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 収入の部   | 学生生徒等納付金収入  | 5,052,525  | 5,005,350  | 4,958,720   | 4,900,595  | 4,901,380   |
|        | 手数料収入       | 217,243    | 197,544    | 163,773     | 213,713    | 222,436     |
|        | 寄付金収入       | 471,183    | 421,003    | 711,305     | 318,650    | 351,053     |
|        | 補助金収入       | 4,218,954  | 3,548,064  | 4,028,950   | 2,899,873  | 2,064,336   |
|        | 資産売却収入      | 10,800     | 1,006,519  | 36          | 36,334     | 0           |
|        | 付随事業・収益事業収入 | 532,163    | 1,685,673  | 1,790,760   | 1,047,551  | 945,833     |
|        | 医療収入        | 36,647,642 | 42,346,374 | 42,436,092  | 44,694,186 | 48,896,192  |
|        | 受取利息・配当金収入  | 4,314      | 4,666      | 1,692       | 9,091      | 17,348      |
|        | 雑収入         | 754,200    | 1,030,455  | 1,171,918   | 683,512    | 913,203     |
|        | 借入金等収入      | 5,540,000  | 120,000    | 60,000      | 100,000    | 1,060,000   |
|        | 小 計         | 53,449,024 | 55,365,648 | 55,323,247  | 54,903,505 | 59,371,782  |
|        | 前受金収入       | 975,701    | 969,451    | 928,771     | 915,671    | 925,396     |
|        | その他の収入      | 8,326,600  | 9,329,357  | 10,816,390  | 12,094,797 | 9,298,528   |
|        | 資金収入調整勘定    | △9,224,089 | △9,594,106 | △11,293,578 | △9,622,571 | △10,377,884 |
|        | 前年度繰越支払資金   | 5,685,294  | 6,381,963  | 8,614,612   | 8,606,530  | 7,641,400   |
| 収入の部合計 |             | 59,212,530 | 62,452,313 | 64,389,442  | 66,897,932 | 66,859,221  |
| 支出の部   | 人件費支出       | 19,002,810 | 20,691,367 | 21,719,076  | 22,584,047 | 24,561,387  |
|        | 教育研究経費支出    | 1,969,798  | 2,270,809  | 2,538,015   | 2,524,302  | 2,417,498   |
|        | 医療経費支出      | 21,004,507 | 24,411,688 | 25,172,957  | 26,229,521 | 28,040,371  |
|        | 管理経費支出      | 617,832    | 721,644    | 1,211,002   | 798,822    | 805,092     |
|        | 借入金等利息支出    | 269,343    | 255,365    | 238,829     | 222,725    | 207,350     |
|        | 借入金等返済支出    | 1,741,846  | 2,411,846  | 1,291,846   | 1,151,846  | 924,346     |
|        | 施設関係支出      | 4,301,185  | 890,925    | 1,347,987   | 2,343,592  | 1,294,177   |
|        | 設備関係支出      | 3,930,331  | 1,922,877  | 3,239,427   | 2,259,101  | 1,673,464   |
|        | 小 計         | 52,837,653 | 53,576,522 | 56,759,138  | 58,113,956 | 59,923,685  |
|        | 資産運用支出      | 280,000    | 880,000    | 60,000      | 100,000    | 60,000      |
|        | その他の支出      | 4,134,758  | 5,339,048  | 6,728,890   | 7,884,874  | 7,770,608   |
|        | 資金支出調整勘定    | △4,421,844 | △5,957,870 | △7,765,116  | △6,842,298 | △5,656,132  |
|        | 翌年度繰越支払資金   | 6,381,963  | 8,614,612  | 8,606,530   | 7,641,400  | 4,761,060   |
| 支出の部合計 |             | 59,212,530 | 62,452,313 | 64,389,442  | 66,897,932 | 66,859,221  |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

◆ 事業活動収支計算書

(単位 千円)

| 科 目           |           |            | R 02年度      | R 03年度      | R 04年度      | R 05年度      | R 06年度      |
|---------------|-----------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 教育活動収支        | 事業活動収入の部  | 学生生徒等納付金   | 5,052,525   | 5,005,350   | 4,958,720   | 4,900,595   | 4,901,380   |
|               |           | 手数料        | 217,243     | 197,544     | 163,773     | 213,713     | 222,436     |
|               |           | 寄付金        | 450,120     | 420,980     | 712,601     | 318,650     | 342,084     |
|               |           | 經常費等補助金    | 3,817,600   | 3,507,068   | 3,778,499   | 2,724,215   | 2,022,027   |
|               |           | 付随事業収入     | 532,163     | 1,685,673   | 1,790,760   | 1,047,551   | 945,833     |
|               |           | 医療収入       | 36,647,642  | 42,346,374  | 42,436,092  | 44,694,186  | 48,896,192  |
|               |           | 雑収入        | 752,824     | 1,026,335   | 1,166,605   | 668,334     | 912,942     |
|               |           | 教育活動収入計    | 47,470,118  | 54,189,325  | 55,007,050  | 54,567,244  | 58,242,895  |
|               | 事業活動支出の部  | 人件費        | 19,042,112  | 20,772,150  | 21,772,221  | 22,780,784  | 24,751,547  |
|               |           | 教育研究経費     | 26,338,156  | 30,612,367  | 31,630,286  | 33,124,555  | 35,000,887  |
|               |           | （うち教育研究経費） | 2,843,594   | 3,135,818   | 3,377,834   | 3,528,465   | 3,424,868   |
|               |           | （うち医療経費）   | 23,494,561  | 27,476,549  | 28,252,452  | 29,596,090  | 31,576,019  |
|               |           | 管理経費       | 855,432     | 965,985     | 1,094,127   | 1,100,789   | 1,167,229   |
|               |           | 徴収不能額等     | 8,505       | 12,053      | 11,570      | 36,020      | 6,195       |
|               |           | 教育活動支出計    | 46,244,205  | 52,362,555  | 54,508,204  | 57,042,148  | 60,925,857  |
| 教育活動収支差額      |           | 1,225,912  | 1,826,770   | 498,846     | △2,474,904  | △2,682,962  |             |
| 教育活動外収支       | 収入の部      | 受取利息・配当金   | 4,314       | 4,666       | 1,692       | 9,091       | 17,348      |
|               |           | 教育活動外収入計   | 4,314       | 4,666       | 1,692       | 9,091       | 17,348      |
|               | 支出の部      | 借入金等利息     | 269,343     | 255,365     | 238,829     | 222,725     | 207,350     |
|               |           | 教育活動外支出計   | 269,343     | 255,365     | 238,829     | 222,725     | 207,350     |
|               | 教育活動外収支差額 | △265,029   | △250,699    | △237,137    | △213,634    | △190,002    |             |
| 經常収支差額        |           |            | 960,883     | 1,576,071   | 261,709     | △2,688,537  | △2,872,965  |
| 特別収支          | 収入の部      | 資産売却差額     | 245         | 6,519       | 0           | 0           | 0           |
|               |           | その他の特別収入   | 448,806     | 90,206      | 294,392     | 266,230     | 99,266      |
|               |           | 特別収入計      | 449,051     | 96,725      | 294,392     | 266,230     | 99,266      |
|               | 支出の部      | 資産処分差額     | 12,495      | 3,476       | 98,469      | 39,288      | 41,107      |
|               |           | その他の特別支出   | 950         | 12,783      | 415,504     | 60,224      | 21,187      |
|               |           | 特別支出計      | 13,445      | 16,260      | 513,974     | 99,512      | 62,294      |
|               | 特別収支差額    | 435,606    | 80,465      | △219,581    | 166,718     | 36,972      |             |
| 基本金組入前当年度収支差額 |           |            | 1,396,489   | 1,656,536   | 42,128      | △2,521,819  | △2,835,993  |
| 基本金組入額合計      |           |            | △6,978,340  | △6,081,641  | △3,004,045  | △4,510,381  | △3,958,953  |
| 当年度収支差額       |           |            | △5,581,851  | △4,425,105  | △2,961,917  | △7,032,201  | △6,794,946  |
| 前年度繰越収支差額     |           |            | △57,133,914 | △62,674,017 | △63,814,041 | △66,775,958 | △73,808,158 |
| 基本金取崩額        |           |            | 41,747      | 3,285,081   | 0           | 0           | 548         |
| 翌年度繰越収支差額     |           |            | △62,674,017 | △63,814,041 | △66,775,958 | △73,808,158 | △80,602,556 |

(参考)

|         |            |            |            |            |            |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 事業活動収入計 | 47,923,483 | 54,290,716 | 55,303,135 | 54,842,565 | 58,359,509 |
| 事業活動支出計 | 46,526,993 | 52,634,180 | 55,261,007 | 57,364,384 | 61,195,502 |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

## ◆ 貸借対照表

(単位 千円)

| 資産の部              |            |            |            |            |            |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 科 目               | R 02年度     | R 03年度     | R 04年度     | R 05年度     | R 06年度     |
| 固定資産              | 51,017,525 | 49,205,685 | 47,930,859 | 46,627,898 | 44,731,806 |
| 有形固定資産            | 44,426,170 | 43,386,954 | 44,018,297 | 44,355,640 | 42,978,452 |
| 土 地               | 8,830,037  | 9,820,000  | 9,929,564  | 9,876,303  | 9,876,303  |
| 建 物               | 24,457,590 | 26,299,812 | 25,490,715 | 25,554,192 | 24,859,666 |
| 構築物               | 1,375,582  | 1,272,408  | 1,186,182  | 1,096,497  | 973,965    |
| 教育研究用機器備品         | 4,571,321  | 4,874,952  | 6,126,274  | 6,394,052  | 5,959,472  |
| 管理用機器備品           | 176,188    | 165,119    | 236,924    | 260,254    | 317,730    |
| 図 書               | 928,822    | 936,663    | 923,112    | 913,378    | 901,015    |
| 車 両               | 23,201     | 18,000     | 124,811    | 91,564     | 60,422     |
| 建設仮勘定             | 4,063,428  | 0          | 715        | 169,400    | 29,880     |
| 特定資産              | 4,478,266  | 3,910,856  | 2,106,015  | 778,997    | 628,394    |
| 学校債償還引当特定資産       | 760,000    | 700,000    | 500,000    | 480,000    | 460,000    |
| 借入金返済引当特定資産       | 1,300,000  | 800,000    | 500,000    | 200,000    | 100,000    |
| 医療機器等整備調整資金引当特定資産 | 2,350,000  | 2,350,000  | 1,050,000  | 50,000     | 25,000     |
| 国際交流推進引当特定資産      | 36,085     | 33,993     | 32,452     | 31,365     | 28,779     |
| 教育研究活性化引当特定資産     | 32,181     | 26,863     | 23,563     | 17,632     | 14,614     |
| その他の固定資産          | 2,113,088  | 1,907,875  | 1,806,548  | 1,493,261  | 1,124,960  |
| 借地権               | 20,000     | 20,000     | 20,000     | 20,000     | 20,000     |
| 電話加入権             | 5,103      | 5,103      | 5,103      | 5,065      | 5,065      |
| 施設利用権             | 131,004    | 116,448    | 101,892    | 87,336     | 72,780     |
| ソフトウェア            | 1,381,975  | 1,208,529  | 1,059,423  | 770,486    | 443,370    |
| 有価証券              | 11,400     | 11,400     | 11,400     | 11,400     | 11,400     |
| 長期貸付金             | 563,150    | 545,940    | 608,560    | 598,705    | 572,065    |
| 保証金               | 200        | 200        | 0          | 100        | 100        |
| 預託金               | 256        | 256        | 170        | 170        | 180        |
| 流動資産              | 15,432,332 | 17,928,184 | 19,660,983 | 17,161,608 | 15,063,896 |
| 現金預金              | 6,381,963  | 8,614,612  | 8,606,530  | 7,641,400  | 4,761,060  |
| 未収入金              | 8,163,652  | 8,523,876  | 10,257,427 | 8,653,819  | 9,427,130  |
| 貯蔵品               | 345,827    | 395,461    | 417,738    | 453,419    | 448,527    |
| 短期貸付金             | 147,515    | 222,570    | 203,800    | 239,805    | 247,690    |
| 有価証券              | 240,000    | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 立替金               | 1,506      | 1,041      | 1,681      | 1,284      | 1,865      |
| 前払金               | 151,870    | 170,624    | 173,807    | 171,882    | 177,624    |
| 資産の部合計            | 66,449,857 | 67,133,869 | 67,591,843 | 63,789,506 | 59,795,702 |

(単位 千円)

| 負債の部        |               |               |               |               |               |
|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 科 目         | R 02年度        | R 03年度        | R 04年度        | R 05年度        | R 06年度        |
| 固定負債        | 27, 673, 522  | 26, 438, 104  | 25, 869, 687  | 24, 943, 718  | 24, 741, 748  |
| 長期借入金       | 19, 407, 009  | 18, 375, 163  | 17, 343, 317  | 16, 498, 971  | 16, 505, 738  |
| 学校債         | 580, 000      | 440, 000      | 380, 000      | 400, 000      | 400, 000      |
| 長期未払金       | 1, 180, 969   | 1, 036, 614   | 1, 506, 898   | 1, 208, 539   | 809, 642      |
| 退職給与引当金     | 6, 505, 544   | 6, 586, 327   | 6, 639, 471   | 6, 836, 208   | 7, 026, 368   |
| 流動負債        | 8, 426, 296   | 8, 689, 190   | 9, 673, 453   | 9, 318, 904   | 8, 363, 063   |
| 短期借入金       | 2, 231, 846   | 1, 031, 846   | 1, 031, 846   | 844, 346      | 993, 233      |
| 1年以内償還予定学校債 | 180, 000      | 260, 000      | 120, 000      | 80, 000       | 60, 000       |
| 未払金         | 4, 579, 051   | 5, 950, 367   | 7, 124, 300   | 6, 966, 866   | 5, 883, 160   |
| 前受金         | 991, 801      | 974, 651      | 939, 171      | 920, 871      | 935, 796      |
| 預り金         | 443, 598      | 472, 326      | 458, 136      | 506, 822      | 490, 874      |
| 負債の部合計      | 36, 099, 818  | 35, 127, 294  | 35, 543, 140  | 34, 262, 623  | 33, 104, 811  |
| 純資産の部       |               |               |               |               |               |
| 科 目         | R 02年度        | R 03年度        | R 04年度        | R 05年度        | R 06年度        |
| 基本金         | 93, 024, 056  | 95, 820, 616  | 98, 824, 661  | 103, 335, 042 | 107, 293, 447 |
| 第 1 号基本金    | 89, 566, 056  | 92, 299, 616  | 94, 848, 661  | 99, 190, 042  | 102, 982, 447 |
| 第 4 号基本金    | 3, 458, 000   | 3, 521, 000   | 3, 976, 000   | 4, 145, 000   | 4, 311, 000   |
| 繰越収支差額      | △62, 674, 017 | △63, 814, 040 | △66, 775, 958 | △73, 808, 158 | △80, 602, 556 |
| 翌年度繰越収支差額   | △62, 674, 017 | △63, 814, 040 | △66, 775, 958 | △73, 808, 158 | △80, 602, 556 |
| 純資産の部合計     | 30, 350, 039  | 32, 006, 575  | 32, 048, 703  | 29, 526, 883  | 26, 690, 891  |
| 負債及び純資産の部合計 | 66, 449, 857  | 67, 133, 869  | 67, 591, 843  | 63, 789, 506  | 59, 795, 702  |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

(9) 財務比率の状況(主要比率)

| 比 率        | 算 式                                               | 評 | R 02年度 | R 03年度 | R 04年度 | R 05年度 | R 06年度 |
|------------|---------------------------------------------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人件費比率      | $\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$             | ▼ | 40.1   | 38.3   | 39.6   | 41.7   | 42.5   |
| 人件費依存率     | $\frac{\text{人 件 費}}{\text{学生生徒等納付金}}$            | ▼ | 376.9  | 415.0  | 439.1  | 464.9  | 505.0  |
| 教育研究経費比率   | $\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$       | △ | 55.5   | 56.5   | 57.5   | 60.7   | 60.1   |
| 医療経費比率     | $\frac{\text{医 療 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$           | △ | 49.5   | 50.7   | 51.4   | 54.2   | 54.2   |
| 管理経費比率     | $\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$           | ▼ | 1.8    | 1.8    | 2.0    | 2.0    | 2.0    |
| 借入金等利息比率   | $\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{経 常 収 入}}$       | ▼ | 0.6    | 0.5    | 0.4    | 0.4    | 0.4    |
| 事業活動収支差額比率 | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$ | △ | 2.9    | 3.1    | 0.1    | -4.6   | -4.9   |
| 基本金組入後収支比率 | $\frac{\text{事 業 活 動 支 出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$ | ▼ | 113.6  | 109.2  | 105.7  | 114.0  | 112.5  |
| 学生生徒等納付金比率 | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経 常 収 入}}$          | ～ | 10.6   | 9.2    | 9.0    | 9.0    | 8.4    |
| 寄付金比率      | $\frac{\text{寄 付 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$         | △ | 1.0    | 0.9    | 1.4    | 0.7    | 0.7    |
| 経常寄付金比率    | $\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経 常 収 入}}$        | △ | 0.9    | 0.8    | 1.3    | 0.6    | 0.6    |
| 補助金比率      | $\frac{\text{補 助 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$         | △ | 8.8    | 6.5    | 7.3    | 5.3    | 3.5    |
| 経常補助金比率    | $\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経 常 収 入}}$        | △ | 8.0    | 6.5    | 6.9    | 5.0    | 3.5    |
| 基本金組入率     | $\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$   | △ | 14.6   | 11.2   | 5.4    | 8.2    | 6.8    |
| 減価償却額比率    | $\frac{\text{減 価 償 却 額}}{\text{経 常 支 出}}$         | ～ | 7.2    | 7.7    | 7.4    | 7.9    | 7.7    |
| 経常収支差額比率   | $\frac{\text{経 常 収 支 差 額}}{\text{経 常 収 入}}$       | △ | 2.0    | 2.9    | 0.5    | -4.9   | -4.9   |
| 教育活動収支差額比率 | $\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$          | △ | 2.6    | 3.4    | 0.9    | -4.5   | -4.6   |

評価：△高い値が良い ▼低い値が良い ～どちらともいえない

参考：新学校法人会計基準の財務比率に関するガイドライン（日本私立大学連盟）



| 比 率        | 算 式                                             | 評 | R 02年度 | R 03年度 | R 04年度 | R 05年度 | R 06年度 |
|------------|-------------------------------------------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| 固定資産構成比率   | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$                | ▼ | 76.8   | 73.3   | 70.9   | 73.1   | 74.8   |
| 有形固定資産構成比率 | $\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$              | ▼ | 66.9   | 64.6   | 65.1   | 69.5   | 71.9   |
| 特定資産構成比率   | $\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$                | △ | 6.7    | 5.8    | 3.1    | 1.2    | 1.1    |
| 流動資産構成比率   | $\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$                | △ | 23.2   | 26.7   | 29.1   | 26.9   | 25.2   |
| 固定負債構成比率   | $\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$   | ▼ | 41.6   | 39.4   | 38.3   | 39.1   | 41.4   |
| 流動負債構成比率   | $\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$   | ▼ | 12.7   | 12.9   | 14.3   | 14.6   | 14.0   |
| 内部留保資産比率   | $\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$   | △ | -37.6  | -33.6  | -36.7  | -40.5  | -46.3  |
| 運用資産余裕比率   | $\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$ | △ | -37.2  | -27.7  | -30.7  | -30.7  | -31.5  |
| 純資産構成比率    | $\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$    | △ | 45.7   | 47.7   | 47.4   | 46.3   | 44.6   |
| 繰越収支差額構成比率 | $\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$ | △ | -94.3  | -95.1  | -98.8  | -115.7 | -134.8 |
| 固定比率       | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$                | ▼ | 168.1  | 153.7  | 149.6  | 157.9  | 167.6  |
| 固定長期適合率    | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$  | ▼ | 87.9   | 84.2   | 82.8   | 85.6   | 87.0   |
| 流動比率       | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$               | △ | 183.1  | 206.3  | 203.2  | 184.2  | 180.1  |
| 総負債比率      | $\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$                 | ▼ | 54.3   | 52.3   | 52.6   | 53.7   | 55.4   |
| 負債比率       | $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$                 | ▼ | 118.9  | 109.8  | 110.9  | 116.0  | 124.0  |
| 前受金保有率     | $\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$                | △ | 643.5  | 883.9  | 916.4  | 829.8  | 508.8  |
| 基本金比率      | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$             | △ | 94.3   | 95.4   | 94.8   | 95.6   | 97.3   |
| 減価償却比率     | $\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$      | ～ | 61.7   | 61.5   | 62.2   | 63.4   | 65.6   |
| 積立率        | $\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$               | △ | 19.9   | 21.4   | 17.5   | 13.0   | 7.9    |

# (10) 借入金の状況

(単位:千円)

| 科 目   | R02年度     | R03年度   | R04年度  | R05年度   | R06年度     |
|-------|-----------|---------|--------|---------|-----------|
| 長期借入金 | 5,500,000 | 0       | 0      | 0       | 1,000,000 |
| 学校債   | 40,000    | 120,000 | 60,000 | 100,000 | 60,000    |
| 合 計   | 5,540,000 | 120,000 | 60,000 | 100,000 | 1,060,000 |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

# (11) 寄付金の受入状況

(単位:千円)

| 科 目   | R01年度   | R02年度   | R03年度   | R04年度   | R05年度   |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 特別寄付金 | 330,921 | 225,190 | 202,220 | 547,787 | 183,470 |
| 一般寄付金 | 439,840 | 222,483 | 218,253 | 163,518 | 135,180 |
| 現物寄付金 | 51,562  | 2,447   | 507     | 1,296   | 0       |
| 合 計   | 822,323 | 450,120 | 420,980 | 712,601 | 318,650 |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

# (12) 補助金の受入状況

(単位:千円)

| 科 目         | R01年度     | R02年度     | R03年度     | R04年度     | R05年度     |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 国庫補助金       | 1,372,568 | 1,748,322 | 1,374,712 | 1,485,818 | 1,617,226 |
| 地方公共団体補助金   | 359,735   | 2,069,279 | 2,132,357 | 2,292,681 | 989,131   |
| 若手・女性研究者奨励金 | 0         | 0         | 0         | 0         | 400       |
| 合 計         | 1,732,303 | 3,817,600 | 3,507,068 | 3,778,499 | 2,606,757 |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

# (13) 学納金の状況

## ◆ 大学院

(単位:円)

| 研究科名                               | 年 度             | 納入金   | 入学金     | 授業料     | 実 験<br>実習費 | 教育充実費   | 計         |
|------------------------------------|-----------------|-------|---------|---------|------------|---------|-----------|
| 医学研究科                              | H16年度～<br>H19年度 | 初年度   | 200,000 | 300,000 | 200,000    | —       | 700,000   |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 300,000 | 200,000    | —       | 500,000   |
|                                    | H20年度～          | 初年度   | 200,000 | 300,000 | —          | —       | 500,000   |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 300,000 | —          | —       | 300,000   |
|                                    | R3年度～           | 初年度   | 200,000 | 200,000 | —          | 100,000 | 500,000   |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 200,000 | —          | 100,000 | 300,000   |
| 看護学研究科                             | H19年度～<br>H26年度 | 初年度   | 300,000 | 600,000 | —          | —       | 900,000   |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 600,000 | —          | —       | 600,000   |
| 看護学研究科<br>(修士論文コース)                | H27年度～          | 初年度   | 300,000 | 600,000 | —          | 100,000 | 1,000,000 |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 600,000 | —          | 100,000 | 700,000   |
| 看護学研究科<br>(高度実践看護師(専門看護師〔CNS〕)コース) | H27年度～          | 初年度   | 300,000 | 600,000 | 50,000     | 100,000 | 1,050,000 |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 600,000 | 100,000    | 100,000 | 800,000   |
| 看護学研究科<br>(高度実践看護師(診療看護師〔NP〕)コース)  | H27年度～          | 初年度   | 300,000 | 600,000 | 100,000    | 100,000 | 1,100,000 |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 600,000 | 200,000    | 100,000 | 900,000   |

## ◆ 学部

(単位:円)

| 学部名      | 年 度    | 納入金   | 入学金       | 授業料       | 教 育<br>充実費 | 実 験<br>実習費 | 施 設<br>維持費 | 計          |
|----------|--------|-------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 医学部医学科   | H18年度  | 初年度   | 1,000,000 | 2,000,000 | 5,000,000  | 1,000,000  | 1,500,000  | 10,500,000 |
|          |        | 2年度以降 | —         | 2,000,000 | 1,000,000  | 1,000,000  | 1,500,000  | 5,500,000  |
|          | H19年度～ | 初年度   | 1,500,000 | 3,000,000 | 4,000,000  | —          | 1,000,000  | 9,500,000  |
|          |        | 2年度以降 | —         | 3,000,000 | 1,500,000  | —          | 1,200,000  | 5,700,000  |
|          | H29年度～ | 初年度   | 1,500,000 | 3,000,000 | 2,700,000  | —          | 1,000,000  | 8,200,000  |
|          |        | 2年度以降 | —         | 3,000,000 | 1,200,000  | —          | 1,000,000  | 5,200,000  |
| 看護学部看護学科 | H19年度～ | 初年度   | 300,000   | 1,000,000 | 200,000    | 170,000    | —          | 1,670,000  |
|          |        | 2年度以降 | —         | 1,000,000 | 300,000    | 220,000    | —          | 1,520,000  |

# (13) 外部資金の受入状況

## ◆ 科学研究費助成事業

| 年 度    | 新 規                |             |                            | 継 続 注2)     |                             | 計          |                             |
|--------|--------------------|-------------|----------------------------|-------------|-----------------------------|------------|-----------------------------|
|        | 申請件数<br>(件)<br>注1) | 採 択 注1) 注2) |                            | 継続件数<br>(件) | 直接経費<br>(間接経費)<br>(円)       | 全件数<br>(件) | 直接経費<br>(間接経費)<br>(円)       |
|        |                    | 件 数<br>(件)  | 直接経費<br>(間接経費)<br>(円)      |             |                             |            |                             |
| R 02年度 | 216                | 60          | 80,800,000<br>(24,240,000) | 85          | 88,300,000<br>(26,490,000)  | 145        | 169,100,000<br>(50,730,000) |
| R 03年度 | 200                | 47          | 71,170,000<br>(21,210,000) | 107         | 117,900,000<br>(35,070,000) | 154        | 189,070,000<br>(56,280,000) |
| R 04年度 | 200                | 54          | 73,950,000<br>(21,750,000) | 103         | 119,600,000<br>(35,880,000) | 157        | 193,550,000<br>(57,630,000) |
| R 05年度 | 177                | 53          | 74,980,000<br>(22,200,000) | 104         | 119,900,000<br>(35,970,000) | 157        | 194,880,000<br>(58,170,000) |
| R 06年度 | 164                | 57          | 96,100,000<br>(28,830,000) | 110         | 123,800,000<br>(37,140,000) | 167        | 219,900,000<br>(65,970,000) |

注1) : 各年度11月までの申請件数

注2) : 採択欄及び継続欄の件数及び交付額は、交付申請額（転入、転出又は追加採択を含む）

(15) 財産目録

|          |                 |
|----------|-----------------|
| I 資産総額   | 59,795,702,205円 |
| 内 1 基本財産 | 43,152,236,529円 |
| 2 運用財産   | 16,643,465,676円 |
| II 負債総額  | 33,104,811,279円 |
| III 正味財産 | 26,690,890,926円 |

[1] 資 産

1 基本財産

|                      | (単位 m <sup>2</sup> ) | (単位 円)         |
|----------------------|----------------------|----------------|
| (1) 土 地              | 265,099.52           | 9,586,717,799  |
| 校舎敷地                 | 29,922.14            | 306,200,429    |
| 病院敷地                 | 55,546.21            | 535,650,927    |
| メディカルセンター敷地          | 15,549.44            | 989,962,873    |
| メディカルクリニック敷地         | 1,284.81             | 430,213,005    |
| 特高変電所敷地              | 1,890.00             | 20,825,453     |
| 課外活動施設敷地             | 1,112.00             | 12,252,859     |
| 雁又グラウンド              | 11,169.00            | 575,436,014    |
| 駐車場                  | 86,803.93            | 4,336,200,207  |
| 眼科クリニックM i R A I 駐車場 | 147.56               | 89,248,619     |
| 寅山グラウンド              | 56,010.00            | 2,027,810,709  |
| 保育所敷地                | 1,581.00             | 80,013,000     |
| 車庫棟敷地                | 2,026.13             | 33,317,029     |
| その他                  | 2,057.30             | 149,586,675    |
| (2) 建 物              | 218,751.87           | 24,859,665,864 |
| 1号館(大学本館)            | 18,031.25            | 2,193,985,848  |
| 2号館(研究棟)             | 16,924.83            | 350,133,739    |
| 3号館(基礎科学棟)           | 3,176.60             | 60,714,533     |
| 4号館(看護学部棟)           | 3,767.03             | 282,121,960    |
| 7号館(医心館)             | 3,400.71             | 416,943,391    |
| アメニティ棟               | 1,178.62             | 334,796,095    |
| 車庫棟                  | 533.26               | 37,325,092     |
| 5号館(総合実験研究棟)         | 4,092.06             | 412,624,517    |
| 5号館(動物実験センター)        | 898.27               | 14,617,794     |
| 6号館(体育館・運動療育センター)    | 7,076.11             | 1,049,873,441  |
| 中央棟                  | 86,341.17            | 13,714,302,819 |
| C棟                   | 16,929.68            | 818,459,075    |
| D棟                   | 11,326.03            | 338,694,320    |
| ドクターヘリ格納庫(燃料庫含む)     | 354.85               | 84,054,640     |
| 立体駐車場                | 22,407.36            | 755,255,821    |
| メディカルセンター            | 16,792.38            | 2,997,767,456  |
| メディカルクリニック           | 2,714.63             | 169,449,160    |
| クラブハウス               | 1,152.74             | 24,003,554     |
| 新ガスガバナー室             | 52.64                | 13,338,607     |
| 守衛所(大学本館前)           | 6.60                 | -              |
| 寅山グラウンド・雁又グラウンド      | 133.04               | 3,132,123      |
| 保育所                  | 362.13               | 70,508,585     |
| スターバックス              | 228.68               | 182,876,225    |
| 救急・災害管理棟             | 871.20               | 534,687,069    |

(単位 円)

|               |         |               |
|---------------|---------|---------------|
| (3) 構築物       | 549件    | 973,964,917   |
| バスロータリー建築工事 他 | 549件    | 973,964,917   |
| (4) 図 書       |         | 901,014,586   |
| 一般教育及び専門図書    | 72,408冊 | 578,414,899   |
| 学術雑誌製本図書      | 22,092冊 | 308,418,945   |
| 視聴覚図書         | 716点    | 14,180,742    |
| (5) 教育研究用機器備品 | 17,153点 | 5,959,471,613 |
| 情報通信システム更新 他  | 17,153点 | 5,959,471,613 |
| (6) 管理用機器備品   | 723点    | 317,730,125   |
| 絵画・陶器・像 他     | 70点     | 124,180,819   |
| 机・事務機器 他      | 653点    | 193,549,306   |
| (7) 車 両       | 18台     | 60,421,613    |
| (8) 建設仮勘定     |         | 29,880,000    |
| (9) ソフトウェア    |         | 443,370,012   |
| (10) 借地権      |         | 20,000,000    |

## 2 運用財産

(単位 円)

|                   |            |               |
|-------------------|------------|---------------|
| (1) 預金・現金         |            | 4,761,059,520 |
| ア 預 金             |            | 4,722,574,008 |
| 普通預金              |            | 2,348,373,671 |
| 振替口座              |            | 2,594,268     |
| 定期預金              |            | 2,371,606,069 |
| イ 現 金             |            | 38,485,512    |
| (2) 積立金           |            | 628,393,931   |
| 学校債償還引当特定資産       |            | 460,000,000   |
| 借入金返済引当特定資産       |            | 100,000,000   |
| 医療機器等整備調整資金引当特定資産 |            | 25,000,000    |
| 国際交流推進引当特定資産      |            | 28,779,484    |
| 教育研究活性化引当特定資産     |            | 14,614,447    |
| (3) 有価証券          |            | 11,400,000    |
| 株券 他              |            | 11,400,000    |
| (4) 不動産           |            | 289,585,698   |
| 土 地               | 27,238.66㎡ | 289,585,698   |
| (5) 電話加入権         | 134本       | 5,065,200     |
| (6) 施設利用権         | 4点         | 72,779,894    |
| (7) 保証金           |            | 100,000       |
| (8) 預託金           |            | 179,950       |
| (9) 長期貸付金         |            | 572,065,000   |
| (10) 貯蔵品          |            | 448,527,429   |
| (11) 未収入金         |            | 9,427,129,860 |
| (12) 前払金          |            | 177,623,878   |
| (13) 立替金          |            | 1,865,316     |
| (14) 短期貸付金        |            | 247,690,000   |

(単位 円)

|               |                |
|---------------|----------------|
| (1) 固定負債      | 24,741,748,027 |
| イ 長期借入金       | 16,505,738,000 |
| ロ 学校債         | 400,000,000    |
| ハ 退職給与引当金     | 7,026,367,734  |
| ニ 長期未払金       | 809,642,293    |
| (2) 流動負債      | 8,363,063,252  |
| イ 短期借入金       | 993,233,000    |
| ロ 前受金         | 935,796,118    |
| ハ 未払金         | 5,883,160,143  |
| ニ 1年以内償還予定学校債 | 60,000,000     |
| ホ 預り金         | 490,873,991    |

## 〔3〕 借用財産

|        |            |
|--------|------------|
| (1) 土地 | 18,883.41㎡ |
|--------|------------|

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 19 日

学校法人 愛知医科大学

理 事 会 御中

評議員会 御中

常勤監事

山口 悦郎 

監 事

林 清博 

私たちは、私立学校法の一部を改正する法律（令和 5 年法律第 21 号）による改正前の私立学校法第 37 条第 3 項に基づく監査報告を行うため、学校法人愛知医科大学の令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会、評議員会及び常任理事会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産又は理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以 上





## 5 当面の課題



## 5 当面の課題

### <医学部>

- ・ 医学教育分野別評価における年次報告への対応  
2019（令和1）年度に受審した医学教育分野別評価の年次報告書を作成していくため、部分的適合と判定された項目はもちろんのこと、適合と判断された項目についても更なる発展を期すため議論を継続していきます。  
また、次回2026（令和8）年度受審に対応できるよう、カリキュラムの見直し等必要な施策を実施していきます。
- ・ 新たな医学教育モデル・コア・カリキュラムに対応した新カリキュラムの実施  
2022（令和4）年度に改定された医学教育モデル・コア・カリキュラムに対応した新たなカリキュラムを編成し、2024（令和6）年度1学年次から適用しており、今後しばらくは学年により新旧カリキュラムが混在する教育課程の適切な運営に万全を期していきます。
- ・ 医師国家試験対策のための強化及び学生支援の充実  
医師国家試験合格率安定維持のための方策を更に推進していきます。
- ・ 国際交流事業の更なる推進  
医学部の国際交流事業については、一部協定校との交換留学が再開し、既にコロナ前のアクティビティーを取り戻しています。今後は、派遣学生及び留学生へのサポート体制の更なる充実に課題と捉え、外部資金の獲得、危機管理体制の充実などを目指していきます。
- ・ 卒前・卒後教育のシームレスな教育体制の構築  
卒前・卒後教育、更には専門医教育までのシームレス化、また愛知医科大学病院への帰局者数を増加させるため、医学部卒前・卒後医学教育連携支援委員会において、新たな教育体制・卒業生フォローアップ体制の構築に向けた検討を進めていきます。
- ・ 入学者選抜制度を見直し優秀な学生を獲得  
今後、18歳人口減少に伴う大学間の競争激化に対応し、医学部のみならず、大学全体として、志願者確保のための学生募集を強化していかなければなりません。加えて、新たな学科の新設を意識した柔軟かつ包括的な入学者選抜体制の構築についても将来的には必要になることから、複数学部の出願から入学手続までの一連の入学者選抜業務をシステム化する準備を本格的に進め、次年度中の導入を目指していきます。  
また、より多くの優秀な学生を獲得するために、アドミッションセンターとの連携の下、広報や入学者選抜制度の改善始め、高等学校の教育現場に出向いての出前講義、キャリア教育、さらには、インターンシップを積極的に受け入れ高大連携の強化を図る等、従来以上に多様な活動を展開していきます。
- ・ 学納金に係る学資負担者への支援  
近年、学納金の納入時に民間の教育ローンを利用する者が増加傾向であるため、学納金に係る経済的な負担を軽減させるための方策等を検討していきます。  
学生が課外活動で使用している施設のうち、体育館については昭和57年に竣工しており、著しく老朽化が進んでいます。より快適な課外活動を支援するため、各施設の整備を適宜進めていきます。

### <看護学部>

- ・ カリキュラムの運用に向けた課題  
eラーニングシステム（AIDLE-K）や講義資料ペーパーレス化等のICTの効果的な利用方法を継続的に検討することと併せて、ピアサポートの拡充を検討していきます。

看護学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂内容の確認と現行カリキュラムとの比較、並びに2022（令和4）年度カリキュラムの完成年度を迎えての評価を行い、喫緊の課題に対応するため2026（令和8）年度カリキュラムを検討していきます。

- ・ 看護師・保健師国家試験の合格率100%継続に向けた対策・サポートの充実化

令和6年度、看護師・保健師国家試験ともに合格率100%（新卒者）を達成しました。これを継続すべく、看護学部父母会の支援により実施している国家試験対策講座及び模擬試験を毎年学生の意見を取り入れながら実施方法を検討し、また、模擬試験結果をアドバイザー教員に加えて保護者と情報共有する等を実施し、大学のサポートの充実化を図っていきます。

- ・ 学生募集活動について

令和6年度入学者選抜（令和5年度実施）から令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）にかけて入学試験種別7種のうち6種において志願者が増加しました。しかしながら、少子化等により継続的な志願者の確保が今後さらに困難となっていくことが予想されることから、現在実施している学生募集企画の有効性、効率性を検証し、それぞれの内容の見直し、変更等を進めると共に新たな企画の導入を検討していきます。

- ・ 大学入学共通テスト併用型選抜の新規導入とその検証について

令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）において、新たに「大学入学共通テスト併用型選抜」を導入し、一般選抜の志願者の約6割の方からの出願がありました。今後、当該選抜からの入学生の入学後の動向について継続した分析を行い、その入試区分の妥当性等の検証を行っていきます。

- ・ F D活動の更なる強化

引き続き、教員の教育及び研究能力向上を図るため、テーマ・内容や開催時期等を検討し、より効果的なFDセミナーを企画・運営していきます。大学院セミナーについては、令和7年度開設した博士後期課程における教員の研究指導力の向上に焦点を当てたテーマで開催します。

また、関連する委員会と合同開催するFDセミナーをより効果的なものとするため、各委員会との連携をさらに強化していきます。

- ・ 研究活動について

研究助成費等による人的資本投資による研究能力開発及び研究活動を引き続き促進していくとともに、研究環境の向上を目指していきます。

- ・ 看護学研究科における教育・研究指導体制の充実

大学院生の研究支援体制については大学院生の意見を聴取し、修士課程および博士後期課程の各領域で検討を行います。特に博士後期課程は開設年度のため、より丁寧に意見聴取を行い、指導体制を確立していきます。

大学院共同研究室の環境や大学院での学修について、年2回の院生懇談会（6月・1月）とアンケート調査（令和7年1月）により、大学院生の意見を聴取し、環境整備について対応してきております。また、博士後期課程の大学院生受け入れのため、医心館に大学院生研究室を設置のうえ備品等を整備し、大学院生が研究を行える環境を整えましたが、引き続き、博士後期課程完成年度である令和10年まで計画的に研究室を整備していきます。

統計セミナーは隔月で計5回開催し、内容は参加者からの希望に沿い決定しています。多くの参加者（看護学研究科・医学研究科・教員含む）があるとともに、大学院生からの希望も多いため、今後も継続していきます。

看護学研究科の教育体制については、博士後期課程完成年度である令和10年度を目標に、修士課程と博士後期課程の間に一貫性をもった教育体制を構築できるよう、専攻分野の編成等の

検討を行っていきます。

- ・ 国際交流事業の発展

国際的な視野を多くの学生が持てるよう、参加しやすい学内プログラムを充実させていきます。併せて、短期留学プログラムと学内プログラムとの効果的な連動を整備していきます。

また、令和7年度に博士後期課程が開設され、看護学研究科と学術国際交流委員会がより連携を図りながら、大学院生の国際交流の機会を充実させることを検討していきます。

- ・ ヘルスケア共創センターの構築

令和7年度、看護実践研究センターと看護連携型ユニフィケーション推進事業を整理・統合し、医療・看護を取り巻く状況変化に柔軟に対応するヘルスケアを共創していくことを目的に設置されたヘルスケア共創センターの体制を構築していきます。

これまでの看護職者のキャリア支援部門や地域連携・支援部門に加え、ユニフィケーション推進部門、研究支援部門が加わり、4部門での企画・運営を行っていきます。これまでの資源を最大限に活用しながら、効果的に各事業活動を展開していく体制を整備していきます。

#### <大学病院>

- ・ 全職員が高い医療安全に対する意識を常に持ち、安心・安全に職務に従事できる環境整備を継続することで医療安全管理能力に裏打ちされた組織としての総合的診療能力の更なる向上を目指していきます。
- ・ 法人との連携の下、病院経営データの集計・分析・評価を行うチームを編成し、各診療科や部門を巡回しながら経営基盤強化を進めていきます。また、職員が保険診療や診療報酬制度の理解をさらに深め、病院経営の意識向上を図っていきます。
- ・ 臨床研究および先端医療開発の推進のため、本学に設置された研究支援組織、体制の有効活用とともに、臨床医の研究成果及び社会貢献性を検証した上で、これらに対するサポート体制等の環境整備を行っていきます。
- ・ 有能な医療人育成のため、卒後研修、専門医研修及び看護教育の充実や実習環境の持続的な整備により業務に関するモチベーションを向上させ、スキルアップを支援するトレーニングを更に強化していきます。
- ・ 地域医療連携推進プロジェクトに基づき、円滑な入退院調整のための病病連携や紹介患者増加のための病診連携の強化を進める。ついては、医療連携センターの前方連携・後方連携体制を整備するとともに、入退院支援センターをはじめとする院内運用の改善を推進していきます。
- ・ 増加する救急車受入・高齢患者需要に適切に対応するため、心不全包括管理センター、骨盤・四肢外傷センターをはじめとする救急関連各種センター及び経過観察病棟（TACU）を活用した救急医療体制をさらに充実させ、メディカルセンターを含めた後方連携病院への円滑な転院搬送を推進していきます。
- ・ 医師の働き方改革の実現に向け、医師の勤務時間管理の徹底および病院職員を含めたワークシェアリング及びタスクシフトを推進し、不要な業務の見直し及びインフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジーによる会議の効率化により業務負担を軽減していきます。
- ・ リハビリテーション医療需要増大に応えるため、プロリハを中心とした最新設備と高度な能力を有するセラピストによる積極的リハビリテーション治療戦略を実践し、関連診療科との連携により飛躍的な診療報酬増加を達成します。
- ・ 医療収入の予算達成のため、診療単価の向上や患者数の維持・増加に向けた体制強化を行っ

ていきます。そのために、がん患者、救急患者、紹介患者増加への施策実行が必要となります。

#### <メディカルセンター>

- ・ 50周年事業であるリハビリテーションの充実化として理学療法士等を増員し100名体制としていきます。
- ・ 電子カルテのセキュリティ対策としてデータセンタのOSを更新していきます。
- ・ 設置後20年を経過した高圧受変電設備を整備し電源供給信頼度の確保を行っていきます。
- ・ ベッドコントロール機能を高めスムーズな入退院支援を行い、病床稼働率の向上を目指していきます。
- ・ 救急体制を整理し365日二次救急における不応需率の低減を図っていきます。
- ・ 新人・異動者の教育体制を整備し、新人教育、スキルアップ、認定資格取得、研究を推進していきます。
- ・ 休床病床の再開に向けた運用・体制を検討、整備していきます。

#### <眼科クリニックM i R A I >

- ・ 今後、愛知医科大学眼科クリニックMiRAIでは、最先端の医療提供と研究開発を継続するとともに、地域医療への貢献を目指します。特に、近視進行抑制の臨床研究を通じて、この分野でのリーダーとしての地位を確立することが重要な課題です。また、日帰り手術の実施数増に努め、収益体制の安定化を図ると共に医療安全のさらなる向上、職員教育および育成にも注力していきます。

#### <大学全体>

- ・ 開学から50余年が経過した本学のキャンパス内には、老朽化した建物や設備が複数点在しており、経年劣化による様々な不具合や陳腐化によるサービスの低下等が懸念されますが、その反面で建替えも容易ではないことから、今後の施設計画においては延命化を軸とした修繕、保全、更新及び改修の重要度が更に高まっていくことが考えられます。開院から早くも10年が経過した中央棟もその例外ではなく、エアコン、電気機器類、内装、水廻り等において日常的な修繕のほか、計画的な更新の時期も順次迎えており、キャンパス内の修繕範囲や規模は経年と共に今後も増加していくことになります。それに輪をかける形で、足元の物価上昇によって資材や人件費等の建築コストも大きく上昇しており、直近工事においては入札不落も発生するなど、その影響はすでに実務にも及んできております。

こういった状況の中で、大学や病院を利用する学生、患者、教職員等の満足度を維持しつつ、建物や設備の維持管理に係る支出を極力抑えていくために、より効率的な修繕計画の策定、延命化や小規模化等の設備の最適化、各種補助金の活用等、今後の建物や設備の在り方について、これまで以上に戦略的かつ持続可能なプランを念頭に進めていかなければなりません。

防災関係では、能登半島地震をはじめ、地震が群発しており、有事の備えが必要となります。大規模地震発生時に被害を最小限に抑え、中核事業の継続および早期復旧ができるよう体制を整備していきます。

- ・ 令和7年4月1日から施行された私立学校法を受け、学校法人愛知医科大学寄附行為を大幅に改正しました。これにより、理事会と評議員会の権限関係や理事と評議員の兼職禁止など、理事会と評議員会が相互にけん制しあいながらも、建設的に協力し、時には議論しあい、充実した納得感のある学校法人運営を目指すことが求められていることから、理事会及び評議員会

を適切に運営していくことが課題であると考えます。

- ・ 大学評価受審に向けての対応

大学評価については、令和2年度の受審結果に対する指摘事項について、令和6年度に改善報告書を大学基準協会に提出し、「改善が認められた」との結果を得ました。

次回の大学評価受審は令和9年度となりますが、令和7年度から本学では第4期となる認証評価がスタートしますので、第4期の認証評価に係る大学基準、評価項目等を確認し、適切に受審ができるよう、令和7年度から学内体制等を含め準備していきます。

- ・ 大学の組織的支援を得ながら、研究助成費等による人的資本投資により、研究能力開発及び研究活動を促進していきます。
- ・ 研究者データベースについて、臨床医の公開率向上に向けて、入力アナウンスとサポートを充実させていきます。
- ・ 2025年度から新たに公募を行う競争的研究費の受給者に対して、学術論文及び根拠データを学術雑誌へ掲載後、即時に機関リポジトリ等で掲載（即時オープンアクセス）することが義務化されたことにより、機関リポジトリの2025年度運用開始に向け、運用方法を確立する必要があります。
- ・ 医学・看護学教育においてアクティブ・ラーニングや、反転授業等様々な形態の授業が推し進められています。授業改善及び学修指導等の支援において、より効果的に展開される学修支援システムの見直しが当面の課題となっています。
- ・ eラーニングシステム（授業支援システム（AIDLE-K））においては、医学部及び看護学部の教務部門と連携し、更なる機能拡充による利便性の向上や利活用の促進を図っていきます。
- ・ 学内情報システムをより安全で快適に利用できるよう、現状のシステムの問題点の洗い出し、改善点を利用者にわかりやすく説明していきます。

また、現在の学内LANは平成8年に敷設が開始され、一番古い個所では28年経過しています。教育・研究活動を支障なく安全に継続するためには、学内LANの更新を計画的に進めていく必要があります。

|         |                         |
|---------|-------------------------|
| 【発行年月日】 | 令和7年5月31日               |
| 【発行】    | 学校法人愛知医科大学<br>理事長 祖父江 元 |
| 【編集責任者】 | 法人本部長 岩船 徹雄             |
| 【企画・編集】 | 財務・管理室                  |